

事業者及び市町村アンケート結果

令和6年7月24日

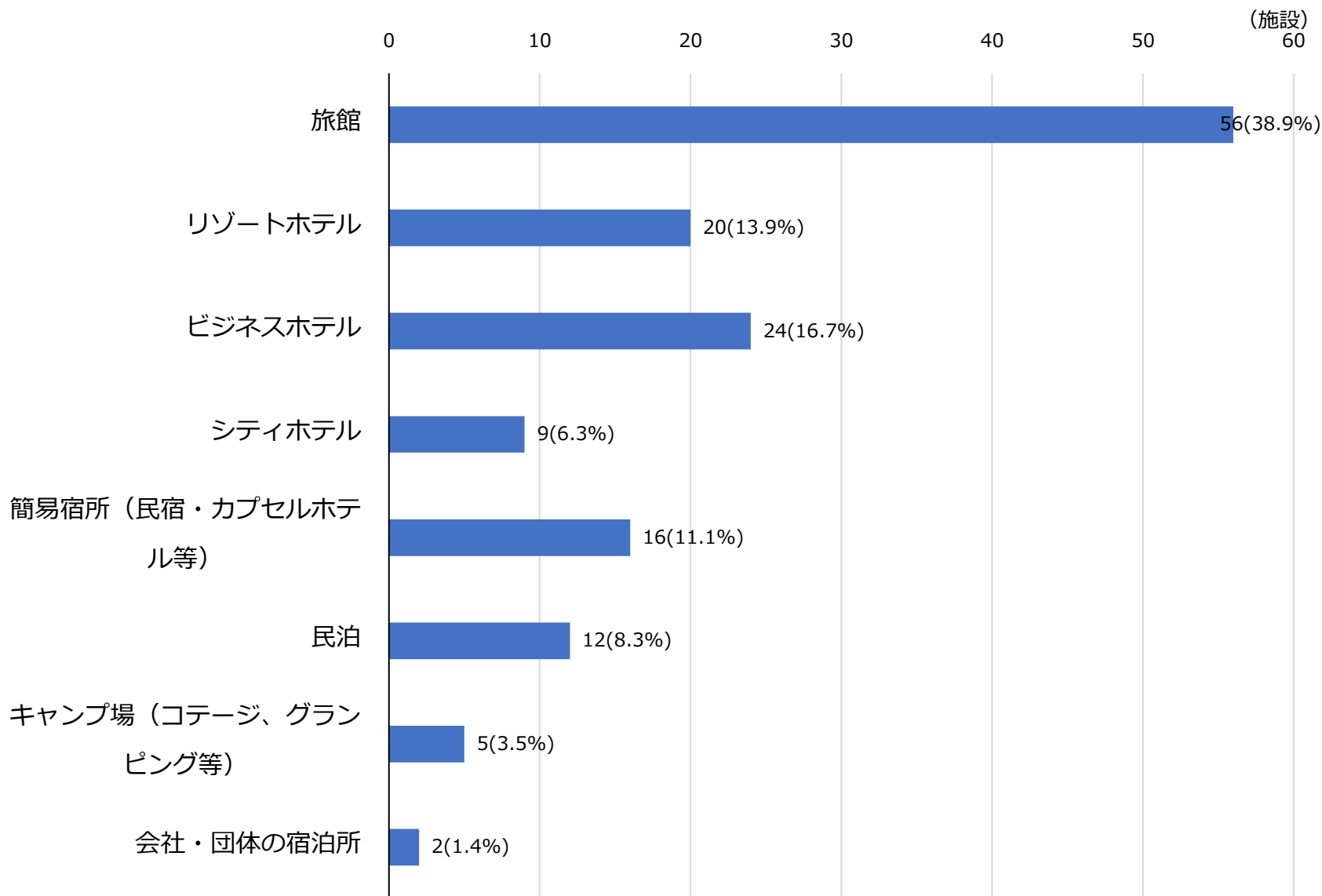
目次

- 1 宿泊事業者アンケート結果 2
- 2 市町村アンケート結果 5 8
- 3 旅行事業者アンケート結果 . . . 6 8

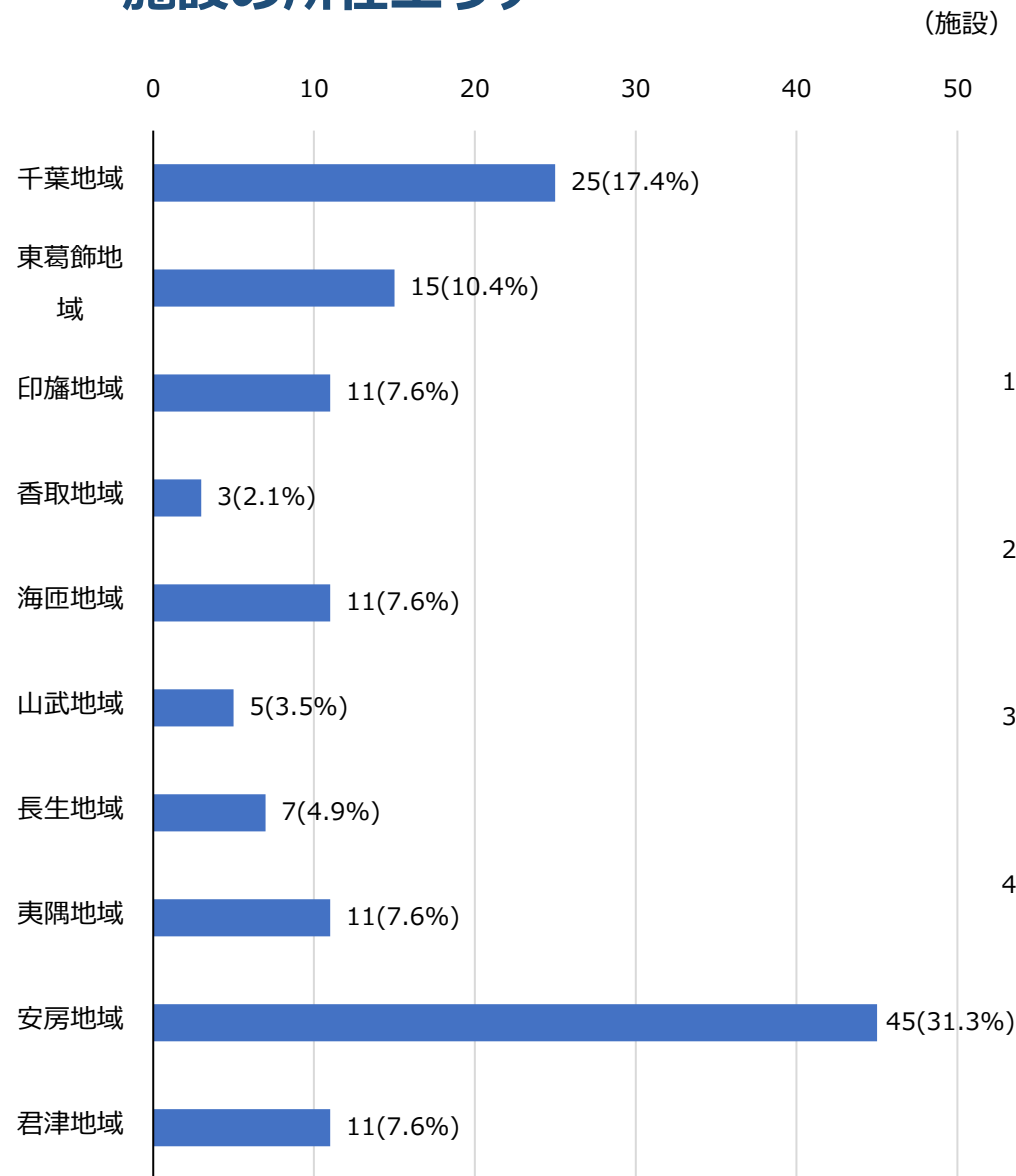
1. 宿泊事業者アンケート結果

① 回答施設の情報

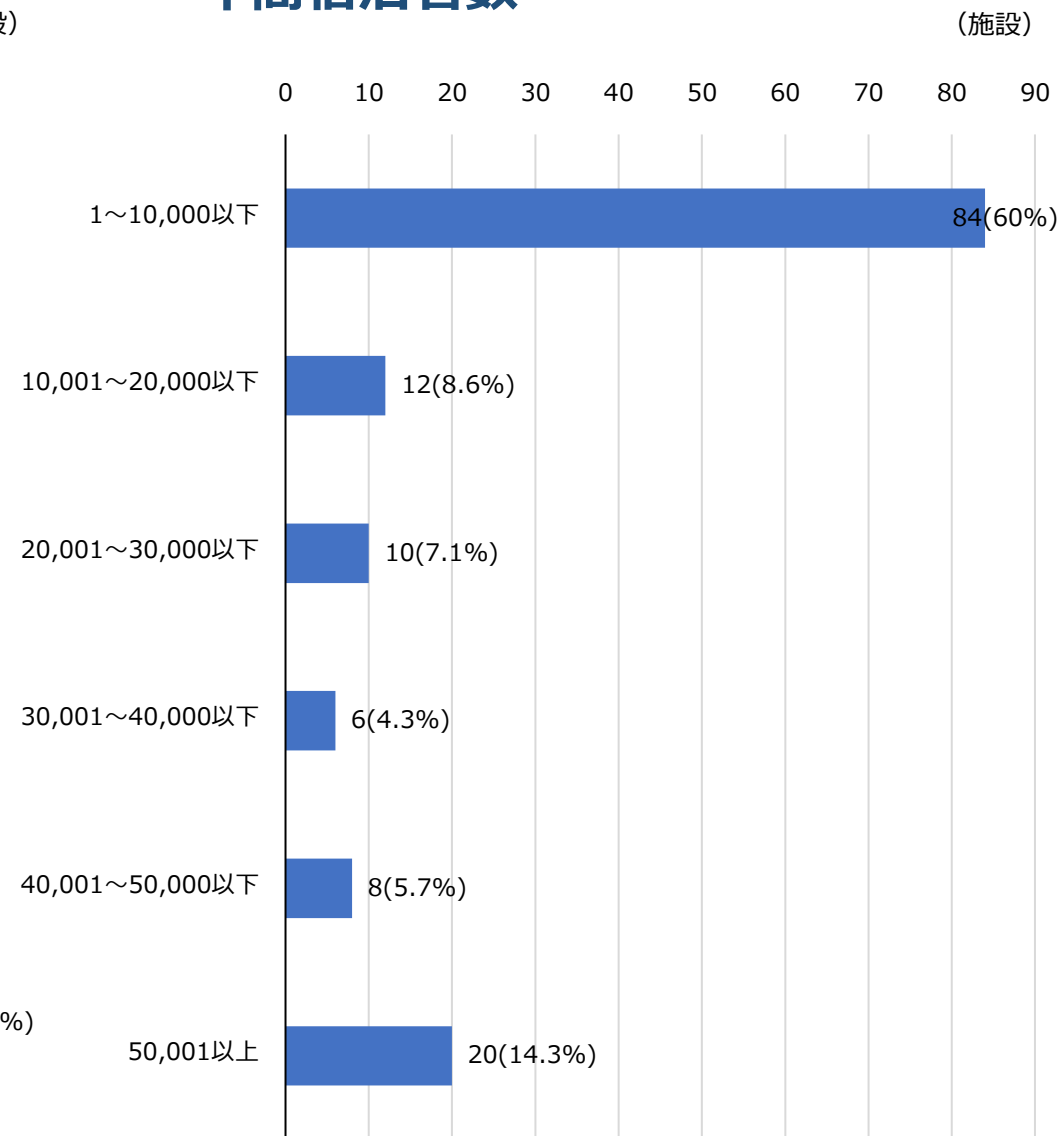
宿泊施設タイプ



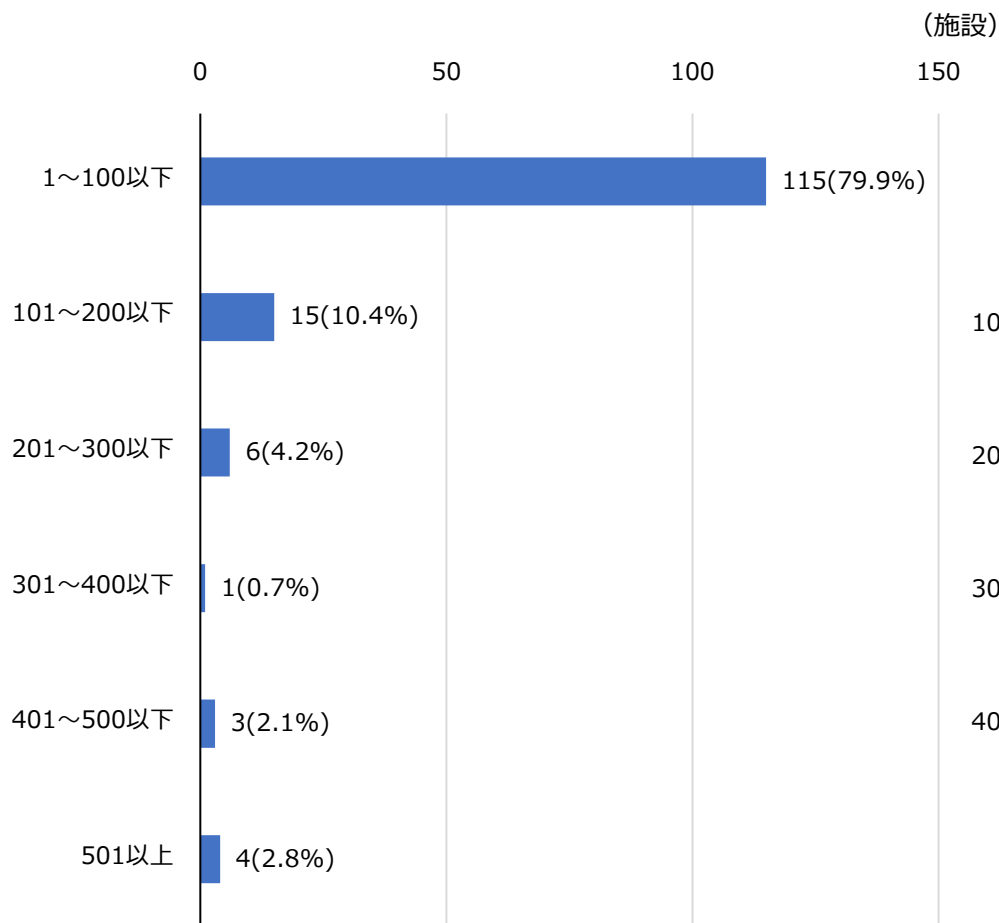
施設の所在エリア



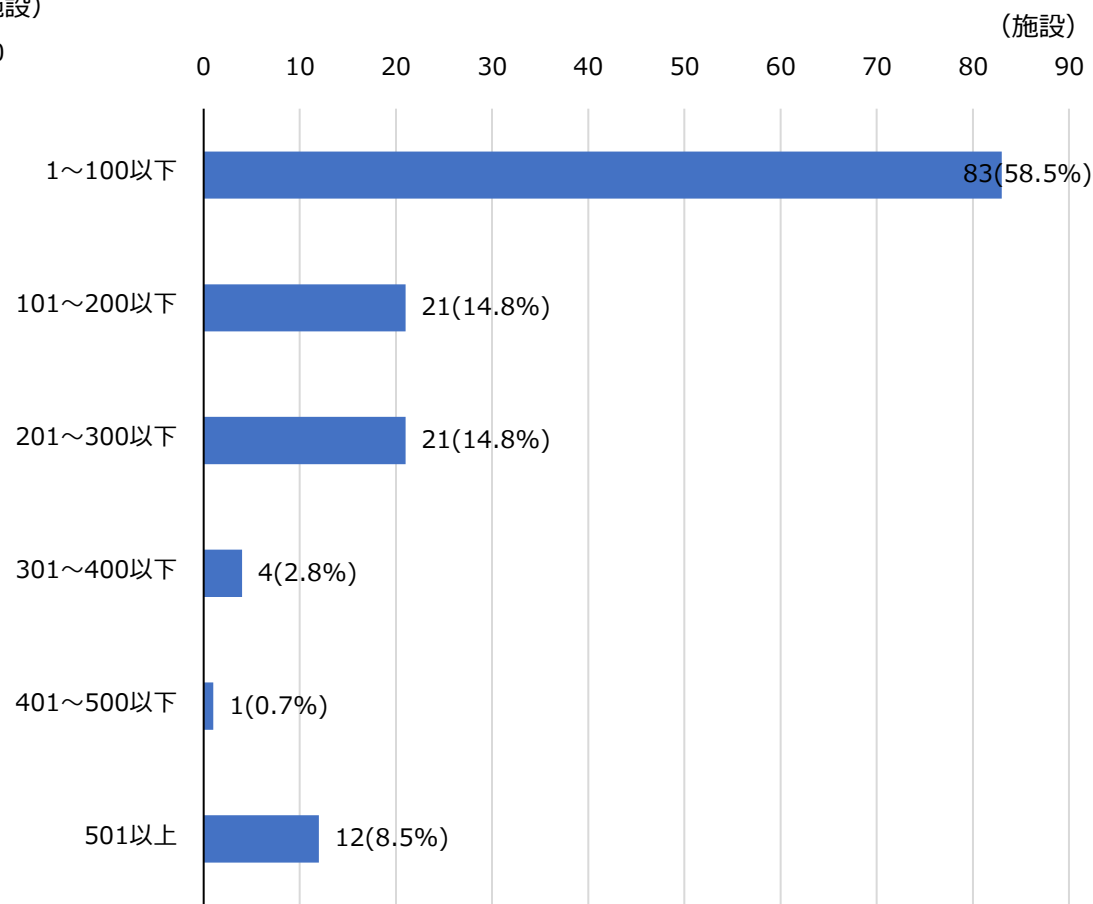
年間宿泊者数



客室数

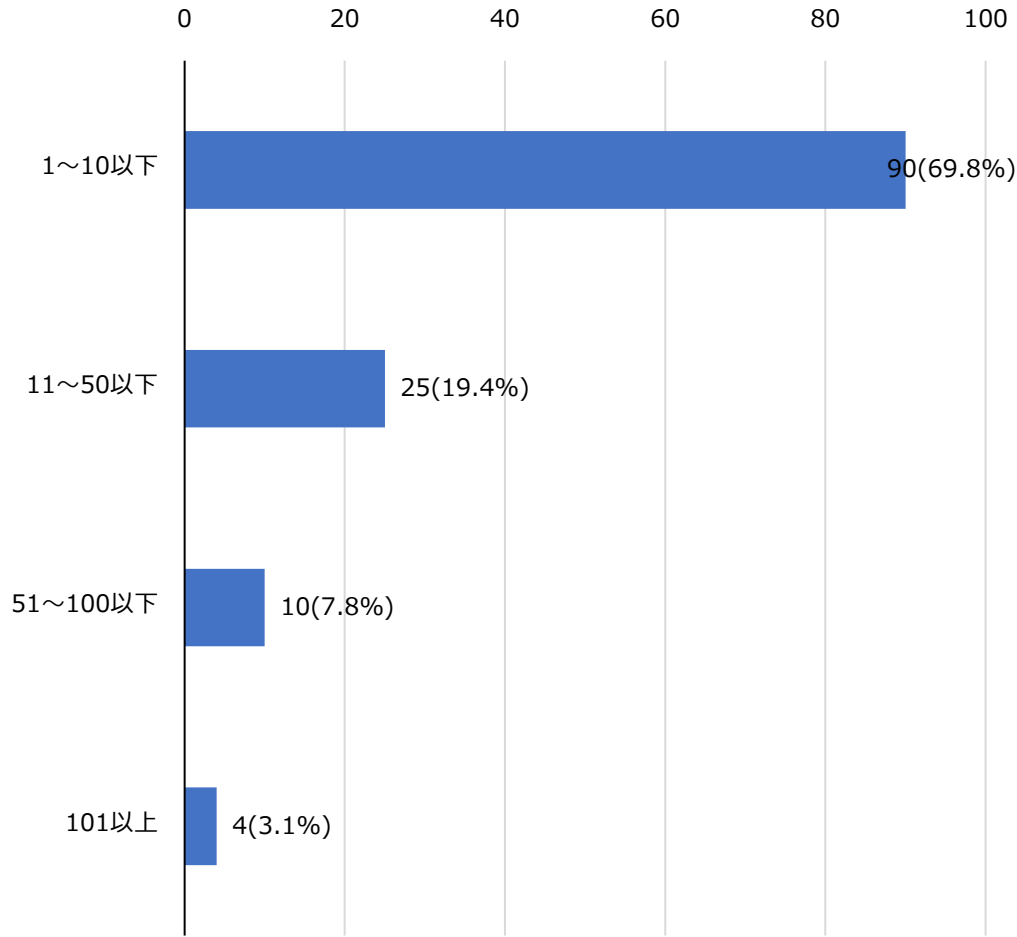


収容人数



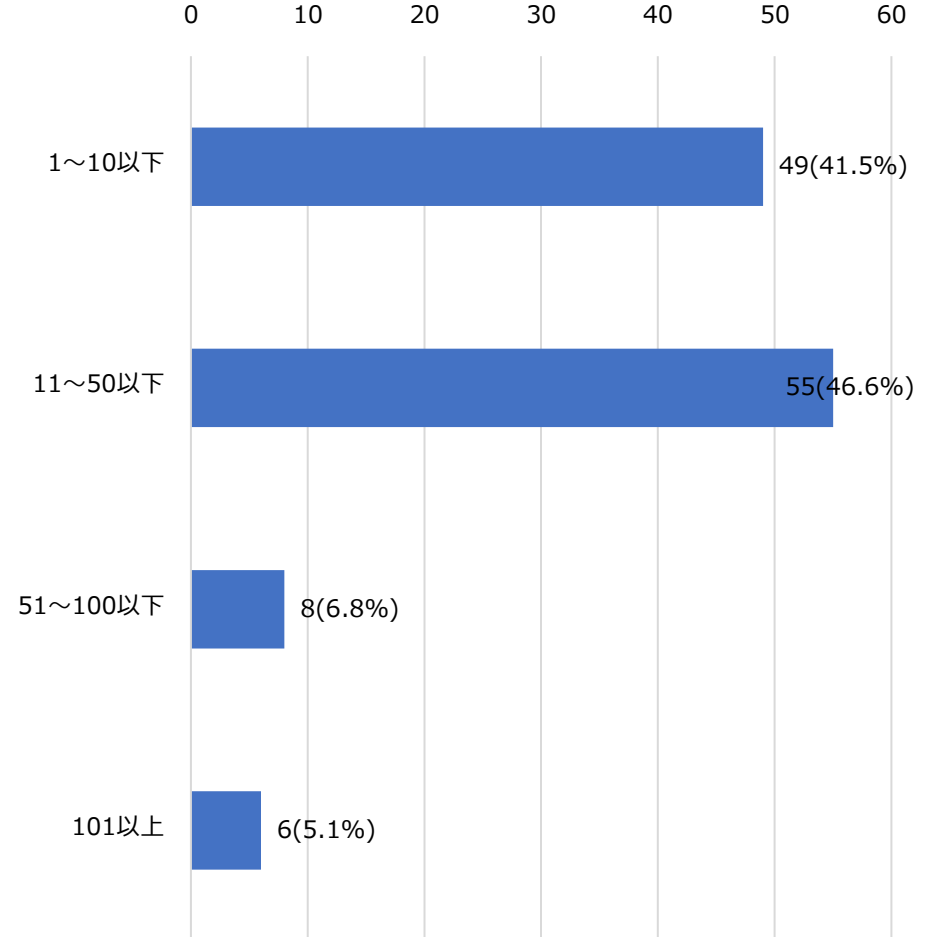
正規雇用者数

(施設)

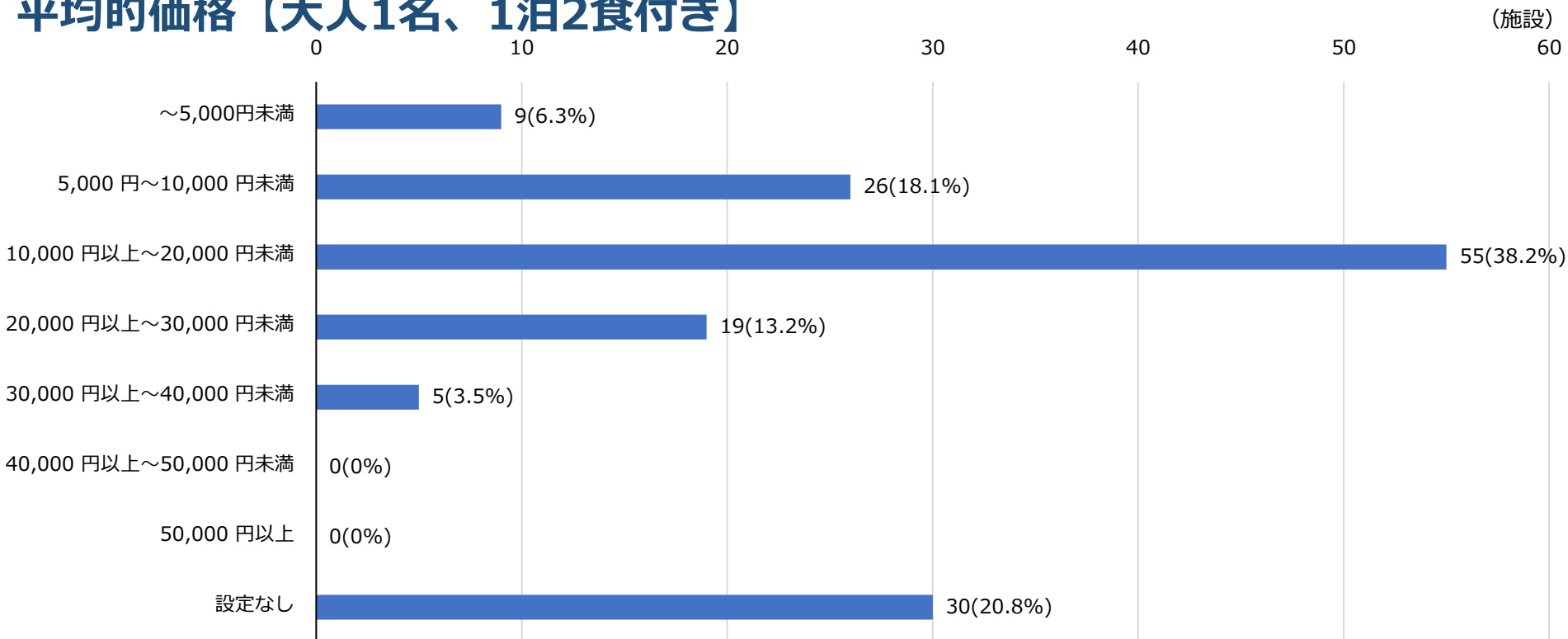


非正規雇用者数

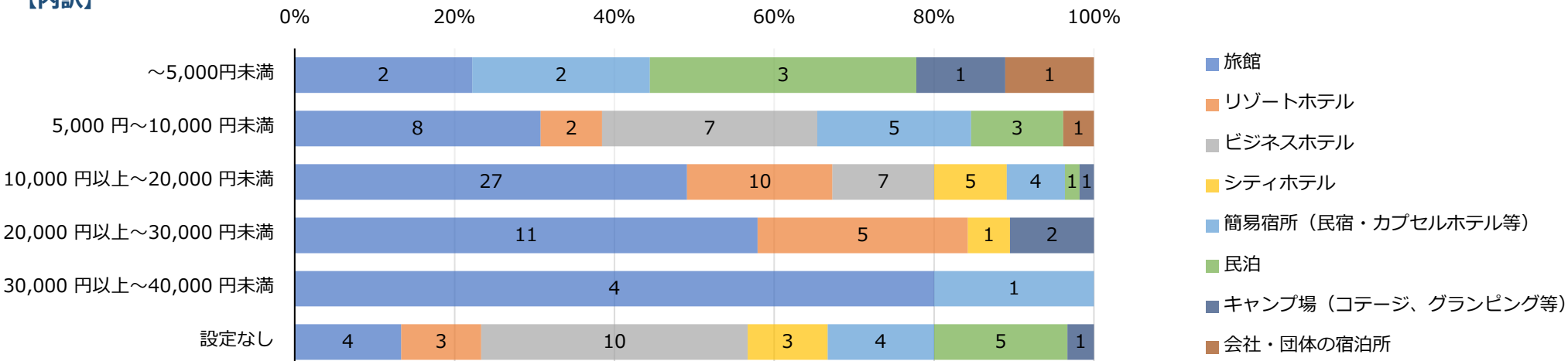
(施設)



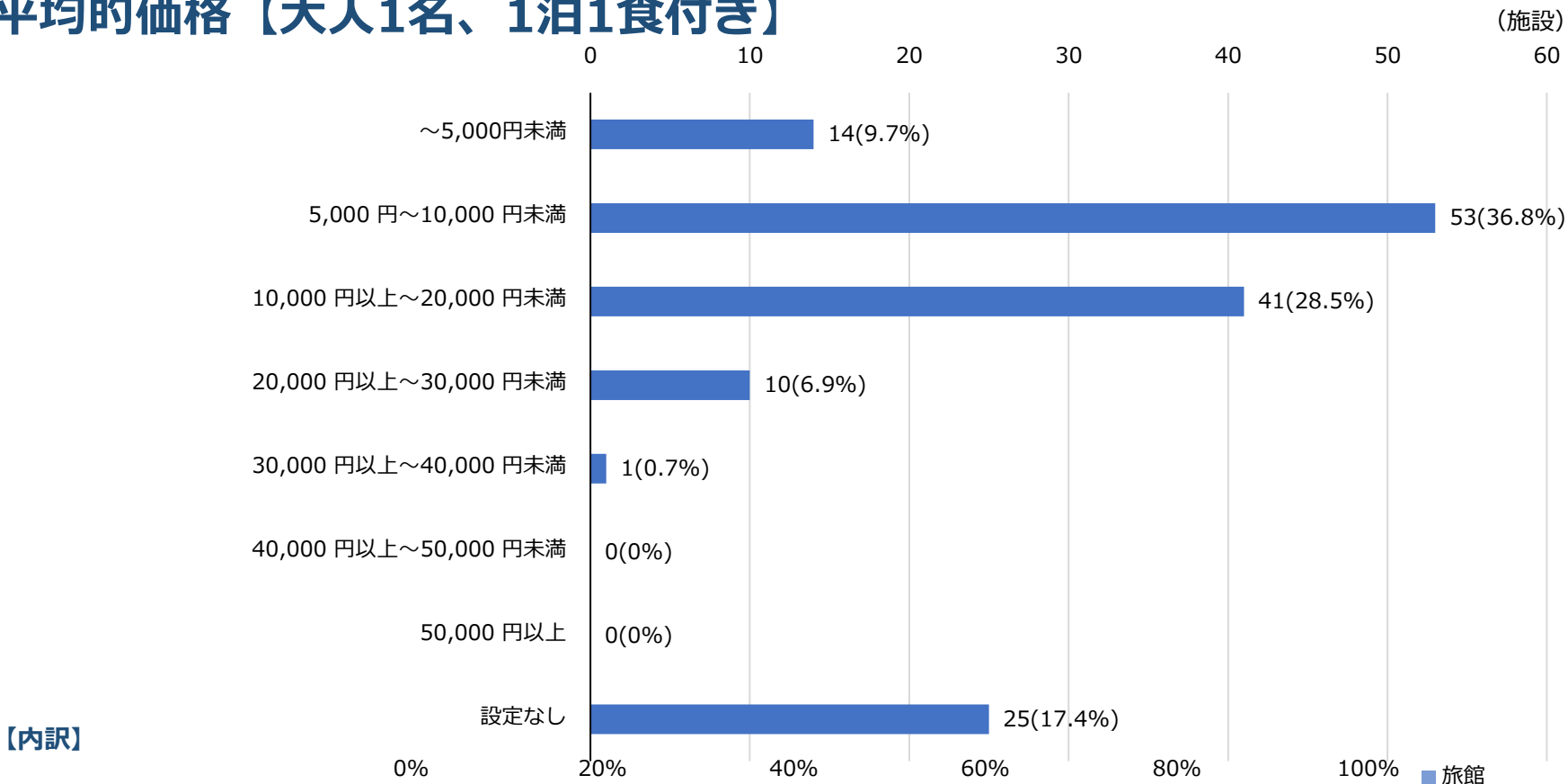
平均的価格【大人1名、1泊2食付き】



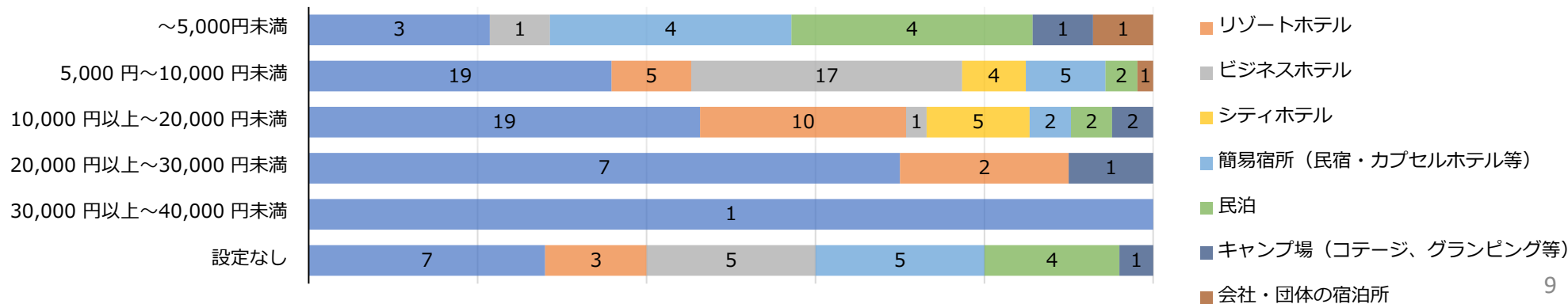
【内訳】



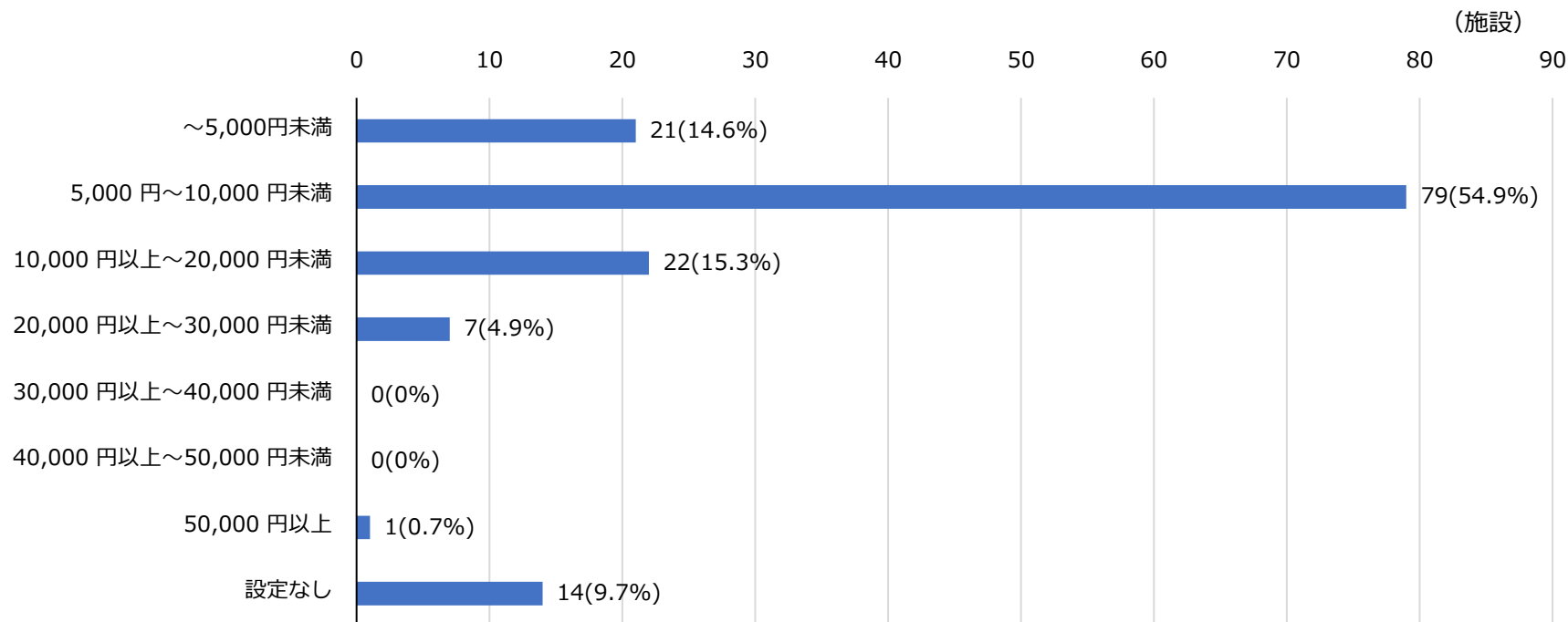
平均的価格【大人1名、1泊1食付き】



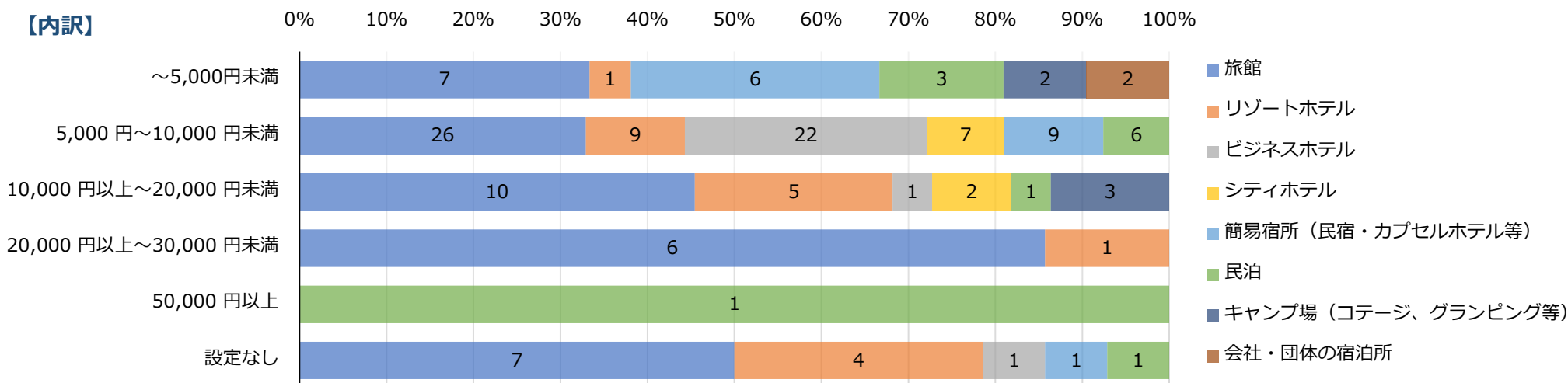
【内訳】



平均的価格【大人1名、素泊まり】

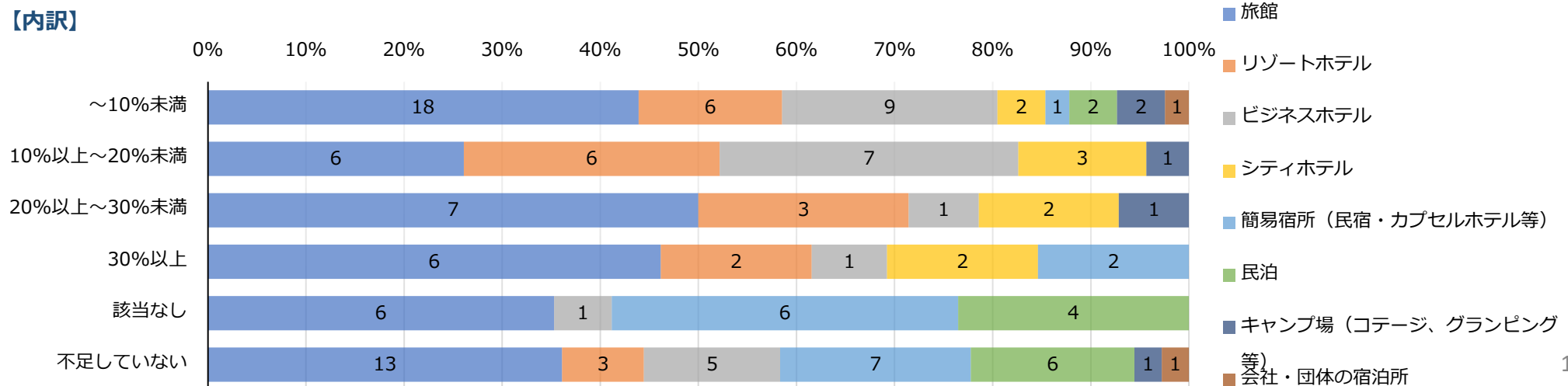
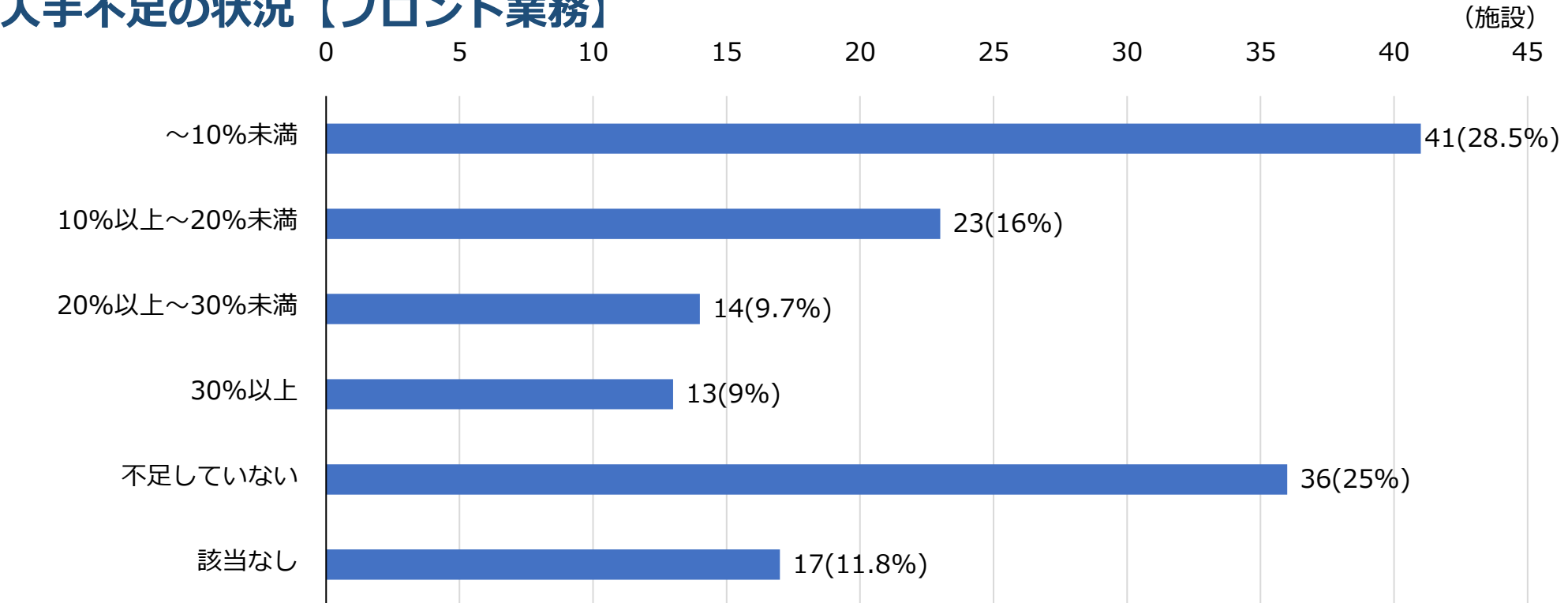


【内訳】



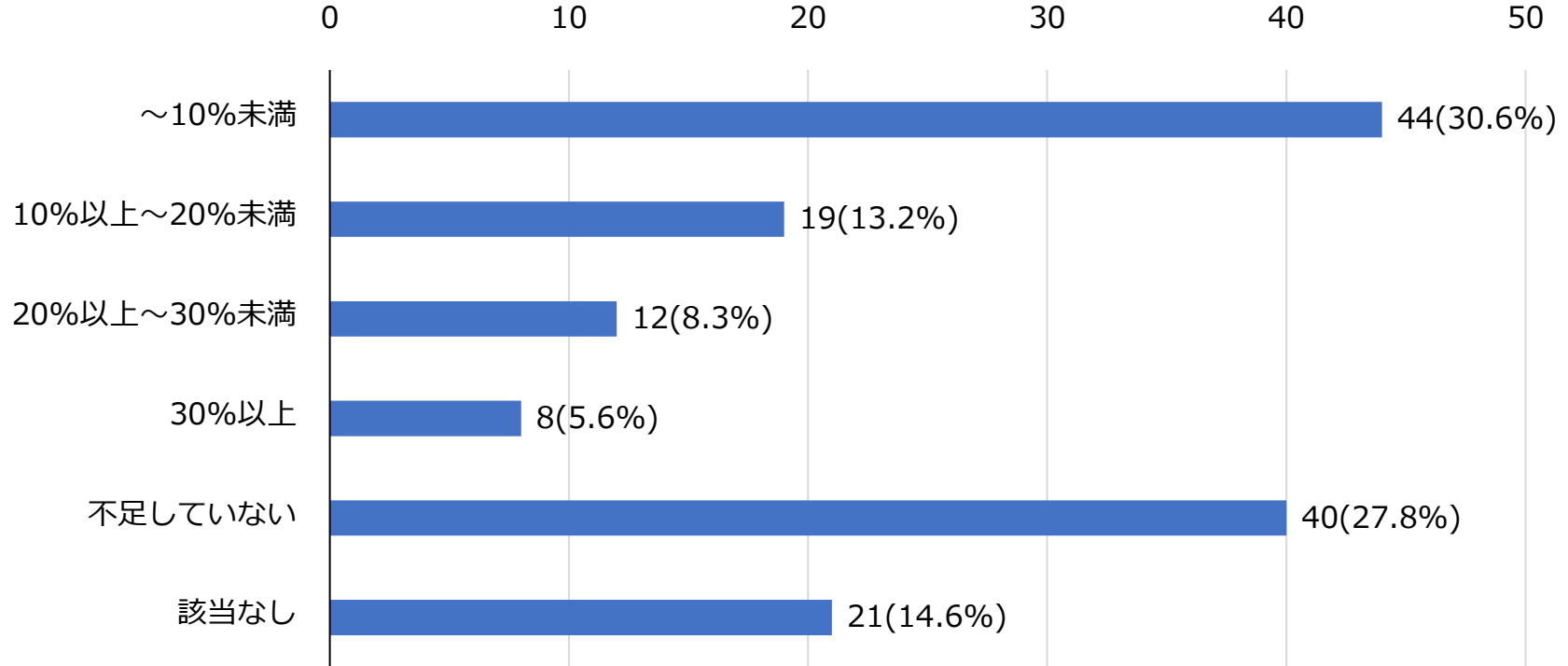
② 回答施設の課題

人手不足の状況【フロント業務】

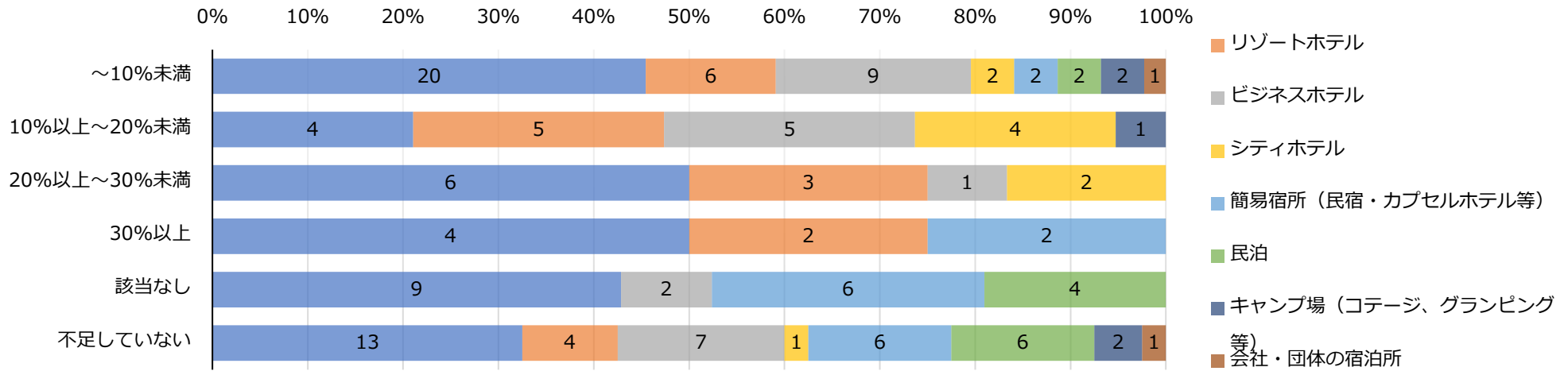


人手不足の状況【予約・デスク業務】

(施設)



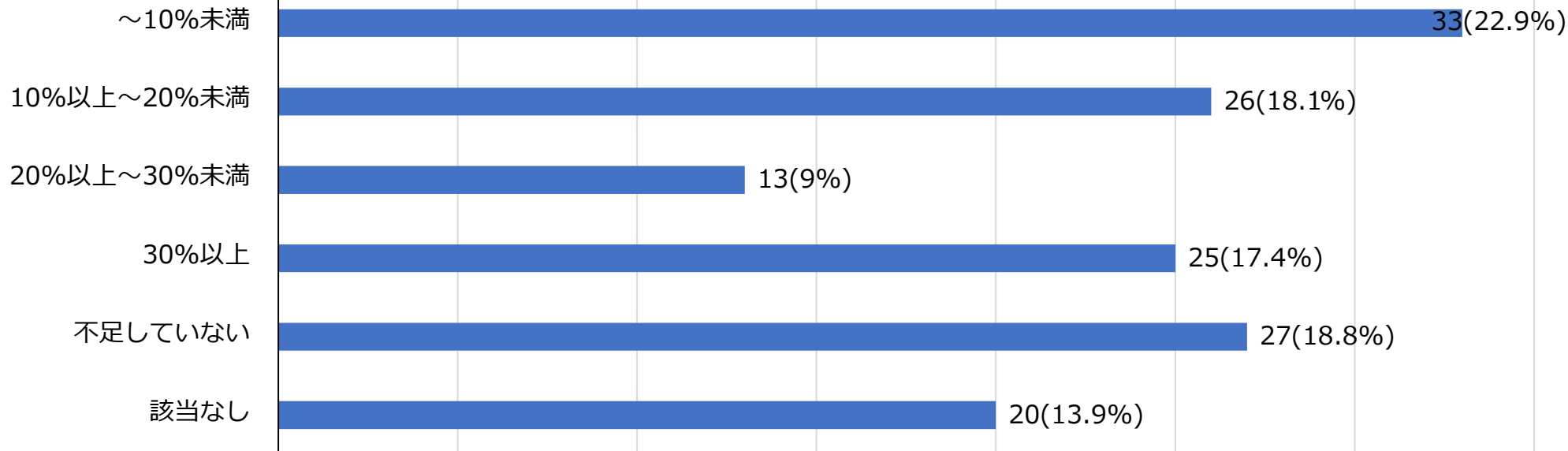
【内訳】



人手不足の状況【清掃業務】

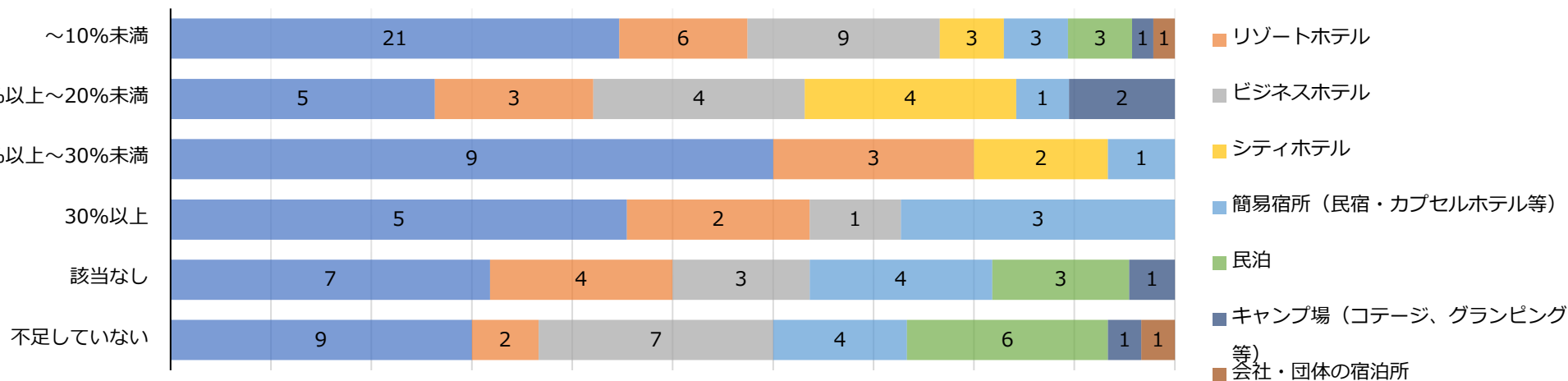
(施設)

0 5 10 15 20 25 30 35



【内訳】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



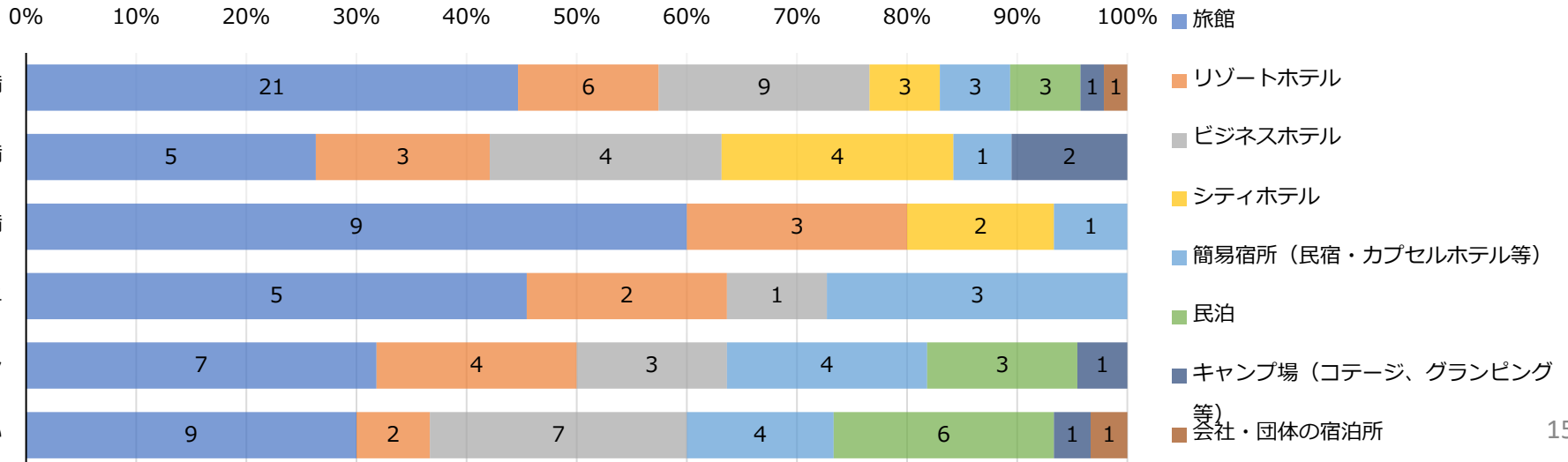
人手不足の状況【食事の準備・配膳】

(施設)

0 5 10 15 20 25 30



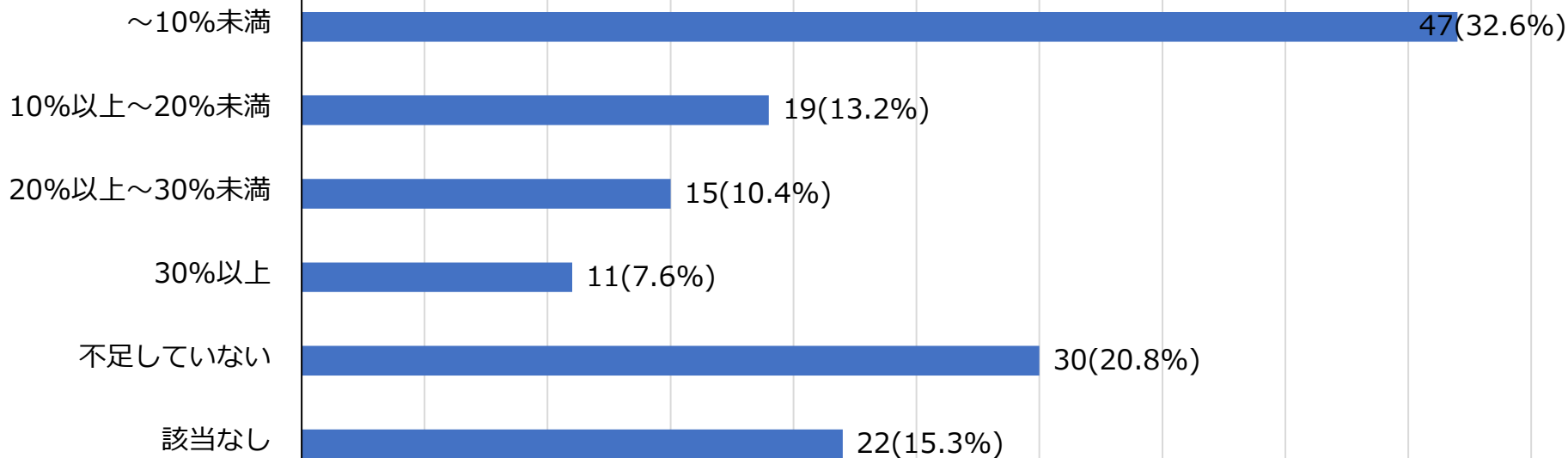
【内訳】



人手不足の状況【その他バックサポート業務】

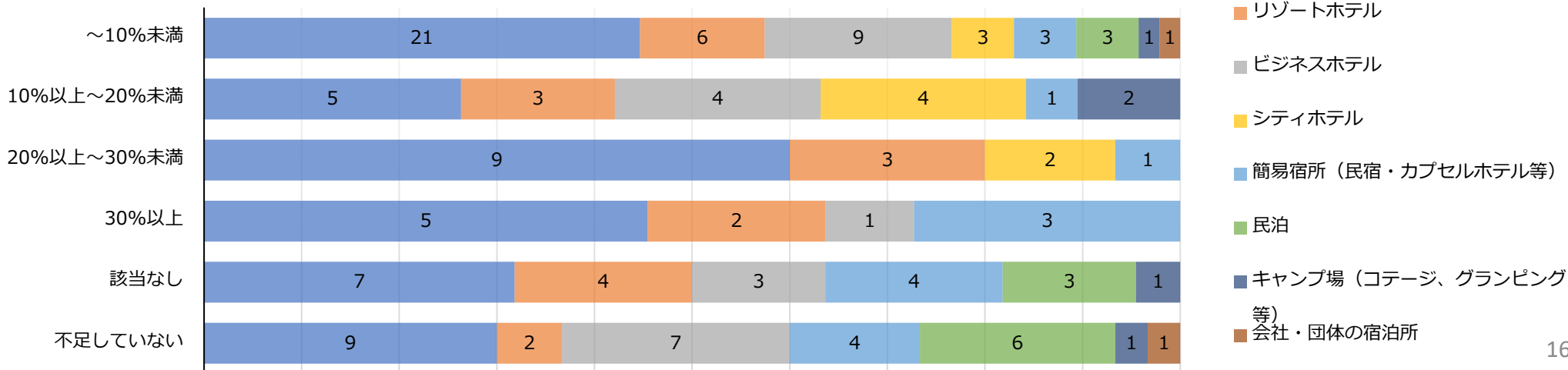
(施設)

0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50



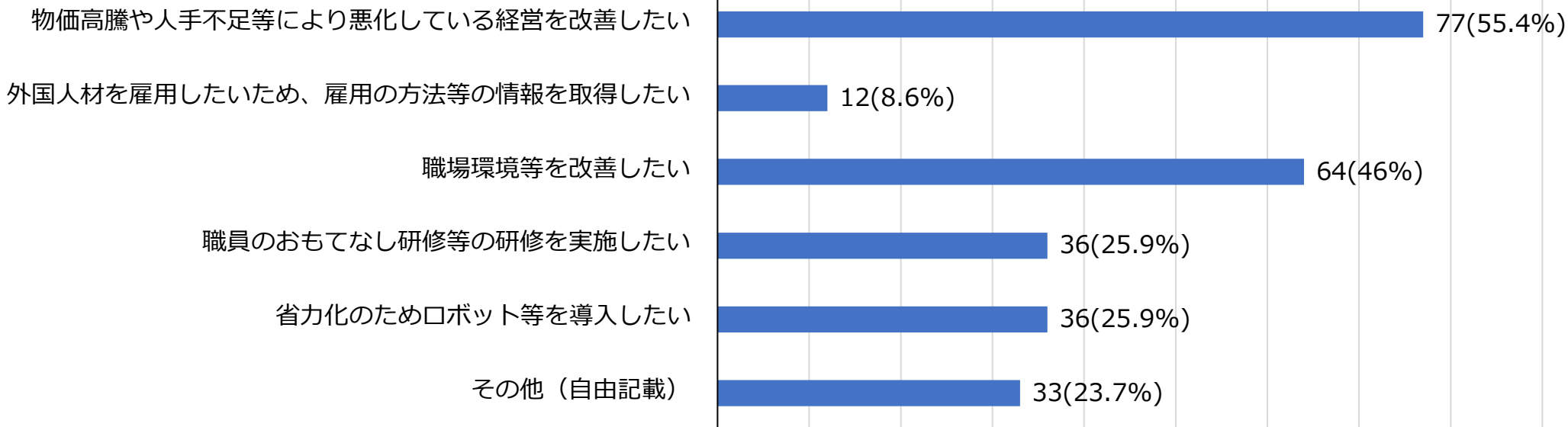
【内訳】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



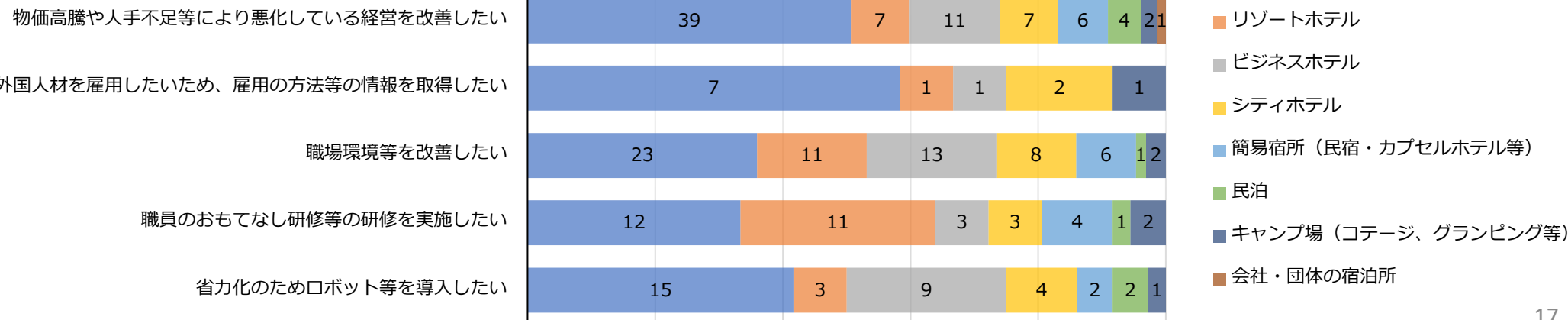
宿泊施設の課題【観光人材の確保・育成・定着】

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 (施設)



【内訳】

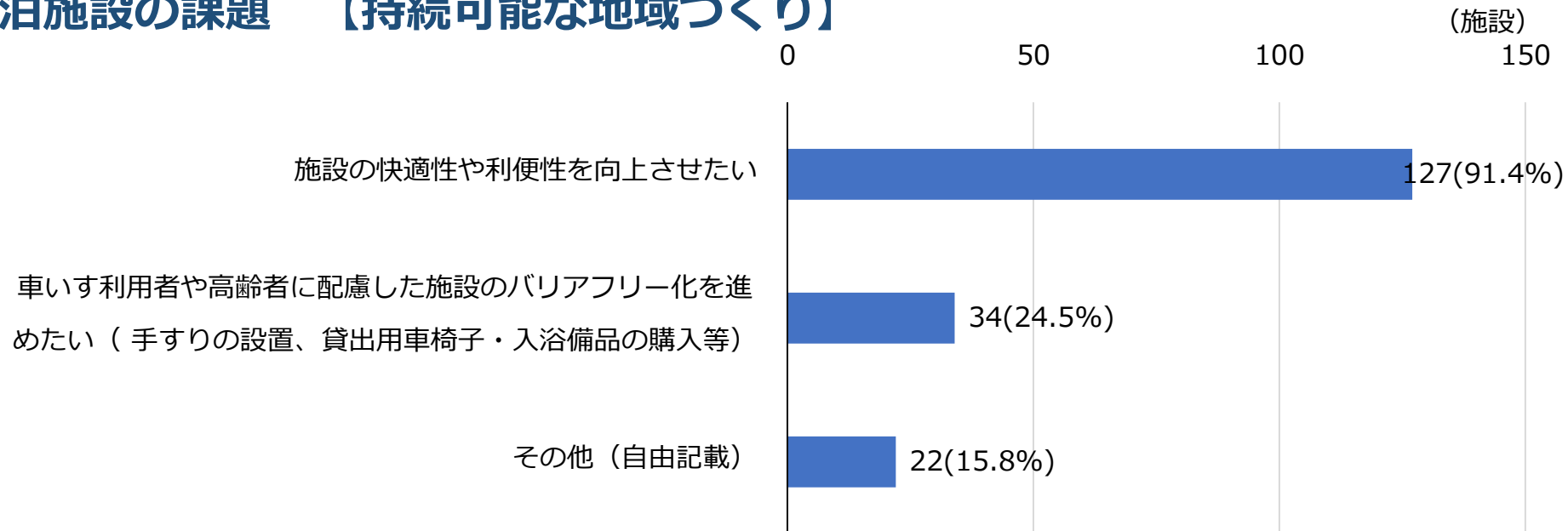
0% 20% 40% 60% 80% 100%



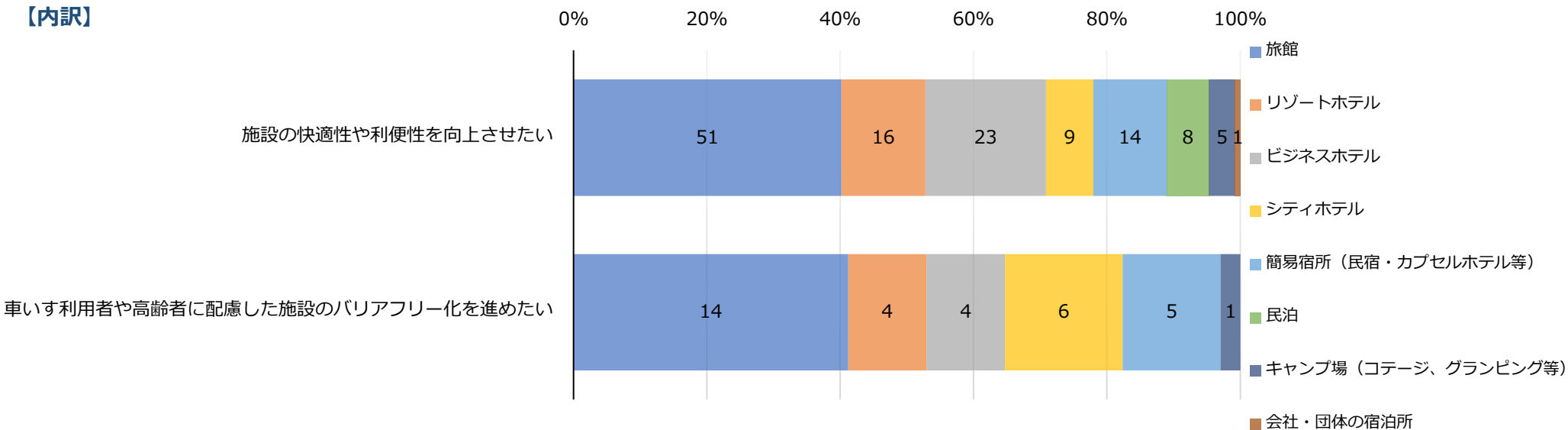
その他自由記載 【観光人材の確保・育成・定着】

- ・従業員の高齢化、若返りをしたい
- ・社員寮がない為、積極的に外国人の採用に踏み切れない。市内のアパートに住んでもらうための補助金があれば助かります。
- ・調理師を含め従業員の高齢化に対する対策
- ・施設整備
- ・人材を確保し、育成したい
- ・大学との請負業務のため、何とも言えない
- ・施設の立地場所により、求人依頼を出しても適任求人応募者が少ない。
- ・宿泊客を増やし売上を上げていくことが必要
- ・経営者が高齢になった時にどうするか？
- ・食材の高騰により宿泊料金、特に朝夕食付きを値上げしたいが不可能、値上げすると予約が入らない
- ・人事考課を導入したい（給料の明確化）
- ・Webからの予約率が高い、Webページ更新、OTA操作、SNS発信などのWeb関連業務の増加と対応
- ・地元の学生がアルバイトのメインですが、人口が減り、アルバイトをする学生も減っている中で、働きたいと思っもらえる施設づくり
- ・当該エリアではホテル間の情報共有組織(例：UG会がない。地元出身者の就労(Iターン含)。

宿泊施設の課題 【持続可能な地域づくり】



【内訳】



その他自由記載 【持続可能な地域づくり】

- ・ 近隣観光地・観光施設の新設及び増加施設利用の動機付けとなる観光素材に乏しい
- ・ 観光資源として裏山、みかん畑、野菜畑の整備を行いたい
- ・ 設備の老朽化による施設の劣化を改修したい。
- ・ 脱炭素に向けた省エネ設備の導入
- ・ 施設、設備などの経年劣化を改善したい
- ・ 施設の老朽化に伴い、施設の改修が必要と感じている。
- ・ 観光資源を守りつつ、インフラ整備
- ・ 魅力のある観光地にするためのリソースを作る
- ・ 千葉県全体の登録施設のグレードアップとして次の宿泊に繋げる為に県内の登録店のメンバーリストに宿泊すると特典ありのように輪を持ち信頼関係を築くと良いのではと考えます。
来て下さったお客様の満足度は非常に高いと感じておりますが、洋間やベッドの導入など更なる施設の利便性向上のための資金を調達したい。
- ・ 修繕をしながら営業を継続する事
- ・ エレベータ（2階）を設置したい
- ・ 地産地消の強化

宿泊施設の課題 【インバウンドの推進】

(施設)

0 10 20 30 40 50 60



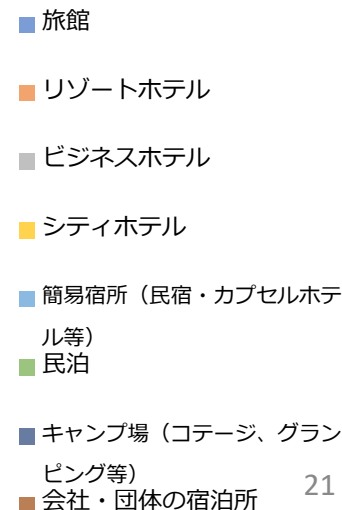
【内訳】

0% 20% 40% 60% 80% 100%

外国人向けの情報発信を行いたい

外国人向けの施設整備

外国人対応できる職員がいない、少ないため増やしたい



その他自由記載 【インバウンドの推進】

- ・近隣観光地・観光施設の新設及び増加（施設利用の動機付けとなる観光素材に乏しい）
- ・家族経営であるため、自身で外国人対応できるようになりたい
- ・主要な玄関口（空港や駅）からの交通手段の確保（地域としての課題になるかもしれませんが）
- ・インバウンド需要の獲得に向けた施策は必要ない
- ・外国人の方にご利用いただくことは考えていません。
- ・宿泊施設だけでなく、市内の売店、飲食店でも外国人対応ができるようにならなければいけないので、そちらも同時に対策を進めてほしい。別の税を徴収して。
- ・スタッフに英語以外の言語対応が可能な人材を充実させたい。
- ・インバウンド客は無い
- ・当施設はインバウンド需要は無いと思いますが、近年の予約状況を見ると、在日中国人の利用が増えている傾向にある。
- ・外国人のマナーを改善して頂きたい。
- ・私は上記のような事の手間無しの企業とtie upしています。その場での金銭のやり取りなく宿泊時に早々入金完了メールがきて安心です。外国人の方でもその企業のメール画面でのやりとりでコミュニケーションOKです。
- ・外国人は公共交通機関で来られるため、当旅館までの路線バス本数が1日2本と少ない為、改善していただきたい。
- ・外国人が魅力を感じられるような名所を地域全体で作りに出せるかが課題
- ・英語対応、館内W i F i、ネット予約からのオンライン決済等は出来ているが銚子までの来場者数が少ない、行政でもっとPRしてほしい。
- ・従業員外国人の寮を整備したい
- ・南京虫などを持ち込まれ被害がありましたので、躊躇しております
- ・地域柄か売り上げが大きく低迷しています。ニュースではインバウンドで旅行宿泊業の業績は好調と聞きますが、当旅館においてはインバウンドの利用はほとんどないため業績向上となっておりません。この秋からゼロゼロ融資の返済が始まり、預貯金もほとんど使い果たし、自転車操業的な運営を強いられる予測です。旅行支援で値段が安い時にだけ顧客は増えましたが、今年は良くありません。能登の地震や千葉県のスロースリップ地震など旅行に関して少しネガティブな風潮が宿泊者の気持ちにあるとも思います。売上向上に関して先行き不安です。
- ・ある意味競合とする東京、神奈川に比べ認知が低い。
- ・成田空港には近いが、インバウンド客が少ない。送迎の問題が無い団体客やバスツアーなどを誘客したい

その他自由記載 【デジタル技術の活用】

(施設)

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

アプリ、ウェブサイトの活用等による効果的な情報提供を行いたい

87(62.6%)

デジタル技術を活用した業務効率化を進めたい

68(48.9%)

その他 (自由記載)

20(14.4%)

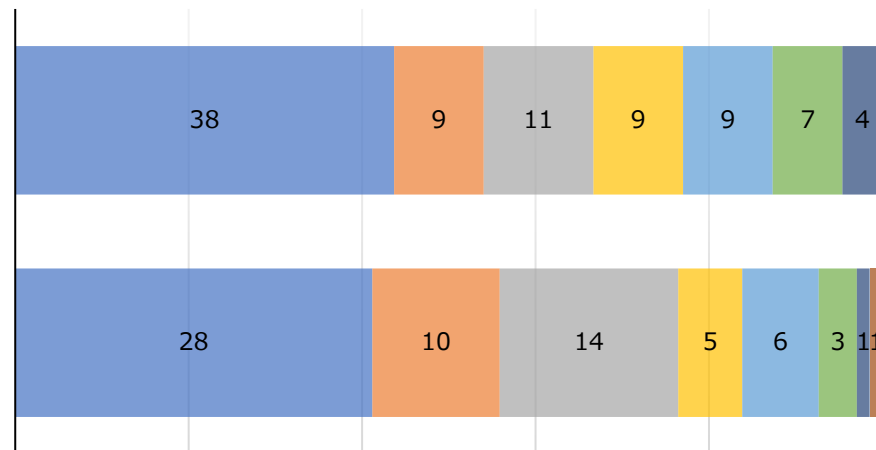
【内訳】

0% 20% 40% 60% 80% 100%

アプリ、ウェブサイトの活用等による効果的な情報提供を行いたい

デジタル技術を活用した業務効率化を進めたい

- 旅館
- リゾートホテル
- ビジネスホテル
- シティホテル
- 簡易宿所 (民宿・カプセルホテル等)
- 民泊
- キャンプ場 (コテージ、グランピング等)
- 会社・団体の宿泊所



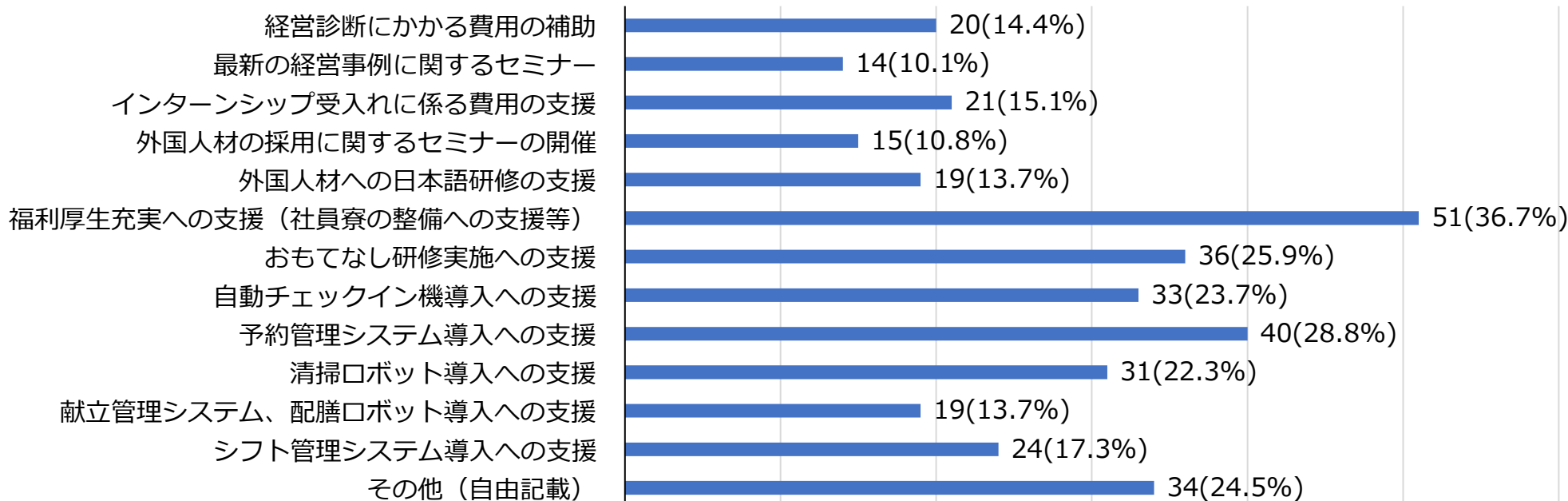
その他自由記載 【デジタル技術の活用】

- ・多様化するシステム（精算手段等）に、ソフト面の教育等が追い付かない
- ・ウェブサイトを自身で制作、運用しているので現時点では問題なし
- ・会計システムは導入していますが、その他システム等の導入、利用は考えていません。
- ・デジタル活用の為の柔軟な補助金が欲しい。
- ・SNSインフルエンサーの活用
- ・直近で予約システム導入したが電話予約との併用で、予約の確認作業が大変である。
- ・人材がいらない

③ 宿泊税の使途のイメージについて

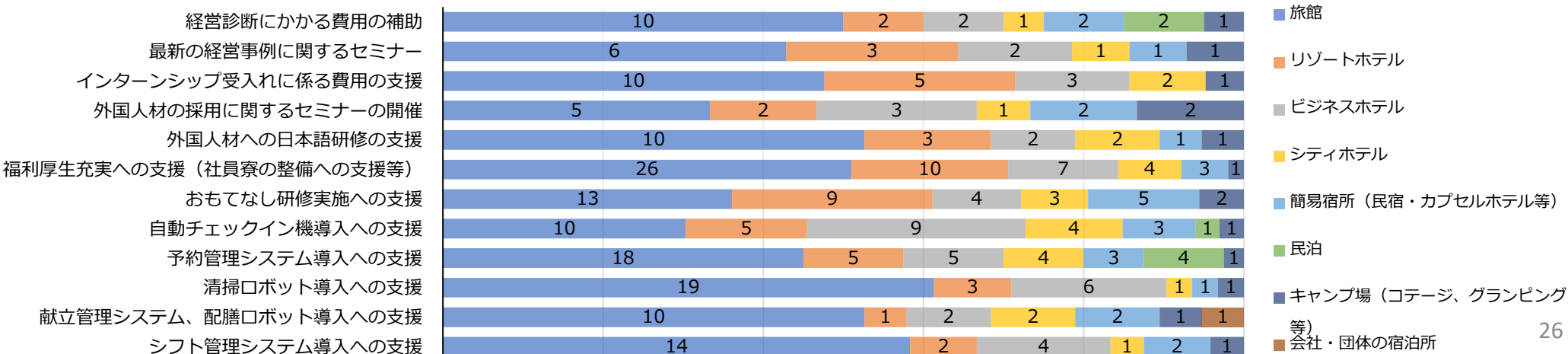
宿泊税を活用したい事業 【観光人材の確保・育成・定着】

0 10 20 30 40 50 (施設) 60



【内訳】

0% 20% 40% 60% 80% 100%

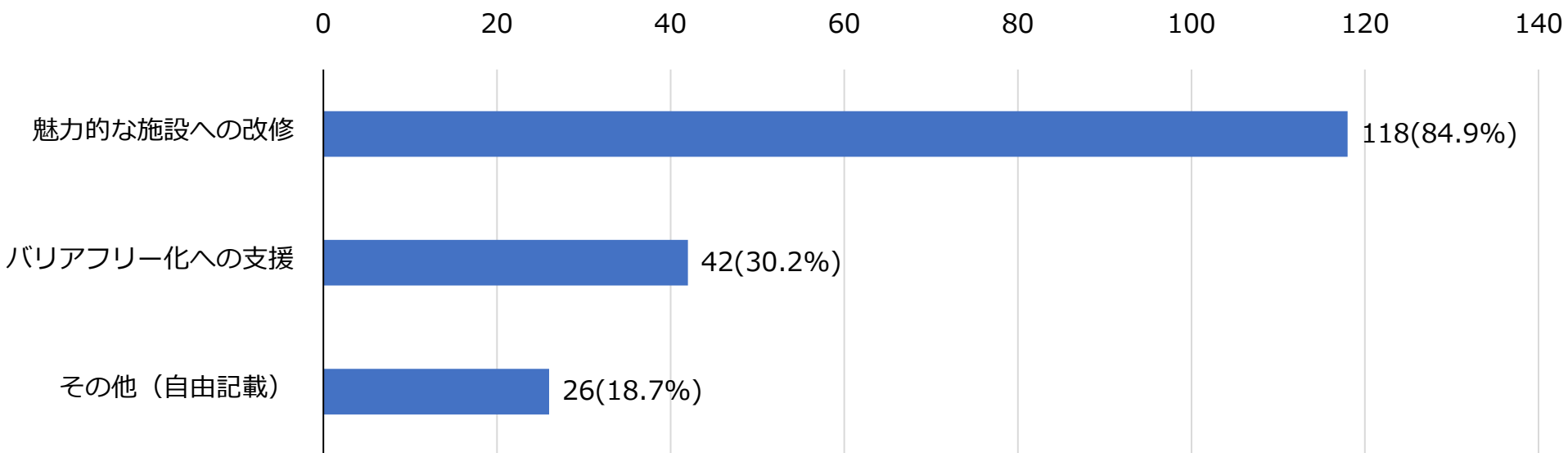


その他自由記載 【観光人材の確保・育成・定着】

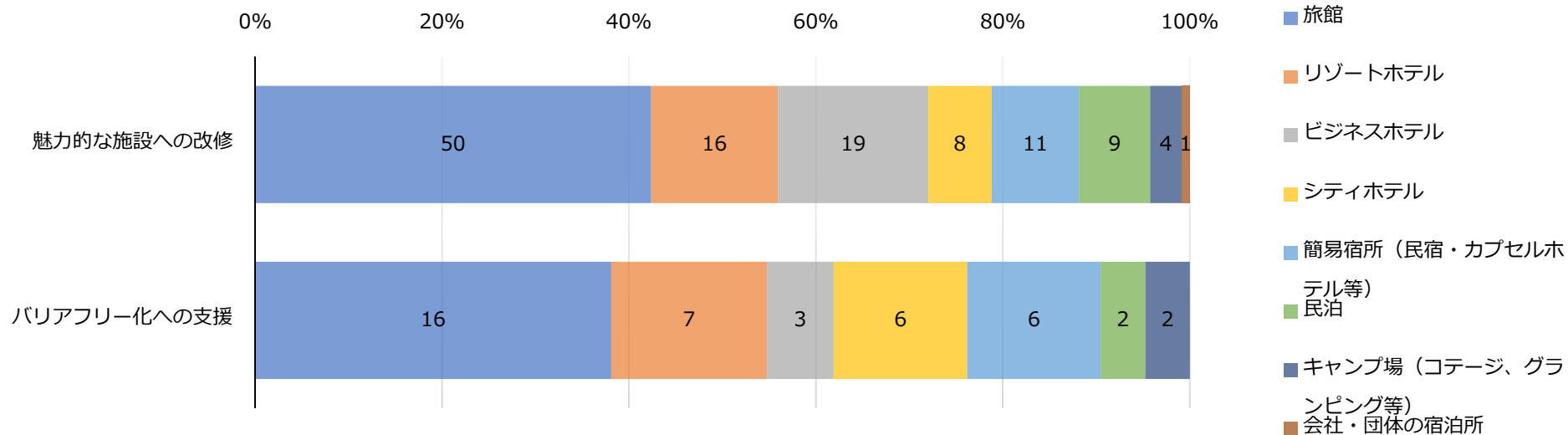
- ・大規模宿泊施設に対する施策が多く感じます。この中に活用したいと思える事業がありません。不要
- ・そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・当施設は、普通のご家族、学生・生徒の対外試合のための宿泊、合宿等が主なお客様であり、宿泊料金値上げも躊躇する状況ですので、宿泊税の導入はご勘弁いただきたいと考えています。
- ・千葉市内にホテル専門学校などの設立
- ・大学施設のため何とも言えない
- ・宿泊税からの人材確保がイメージできません
- ・人材確保に関する活用に関して、広く使用出来る範囲を設定していただきたい。(現状思いつかない物でも今後活用出来る様に)
- ・上記の項目的な事ではなくて、抜本的な魅力ある大型施設を造るとか意図的に名所を作りあげるとか、将来的に働きたい、働けると思わせなければ人材は観光業に集まってこないと思います。
- ・上記は宿泊税を使途して行うことではない。使い道や使い方がわからないのなら徴収するべきではない。
- ・千葉県独自の宿泊税の導入には反対、必要なら全国一律で行うべき、今現在もお客様は税込価格での選択なので安くても施設の充実度を求めます。
- ・若い人材の確保を目的として奨学金返済の補助をお願いしたい
- ・支援は中小企業に限定せず大企業にも拡げていただきたい。
- ・人手不足の現場が宿泊税を活用したITで省力化がはかれる事は大変ありがたい事です。皆に公平で、できるだけ簡素なルール作りをお願い致します。

宿泊税を活用したい事業 【持続可能な観光地づくり】

(施設)



【内訳】

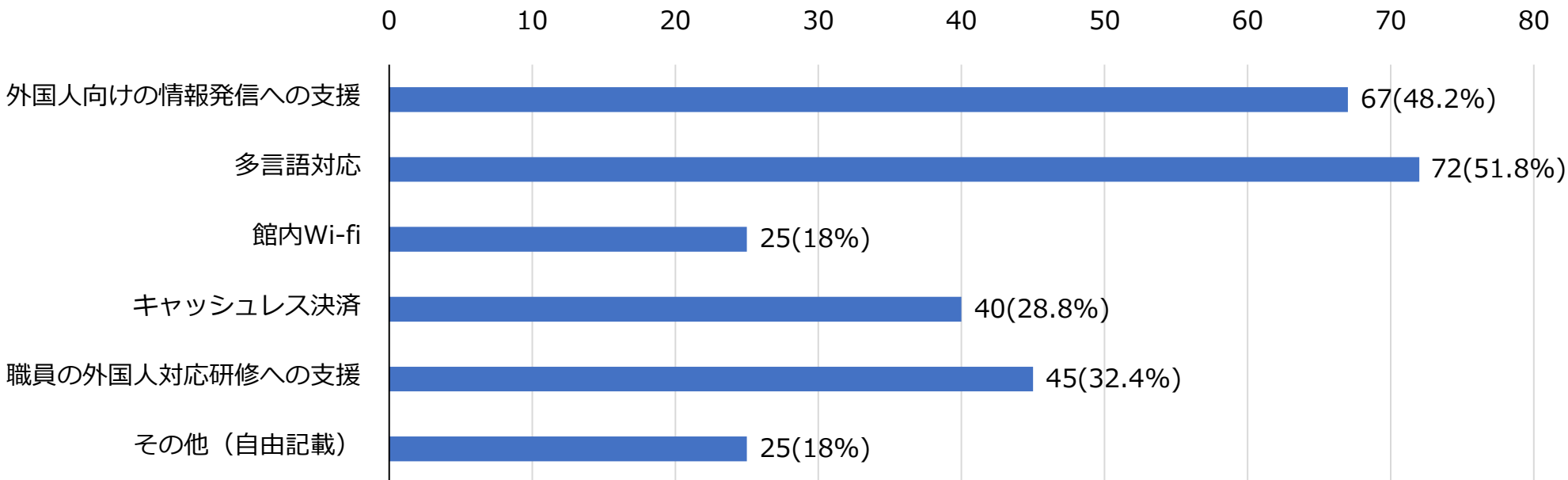


その他自由記載【持続可能な観光地づくり】

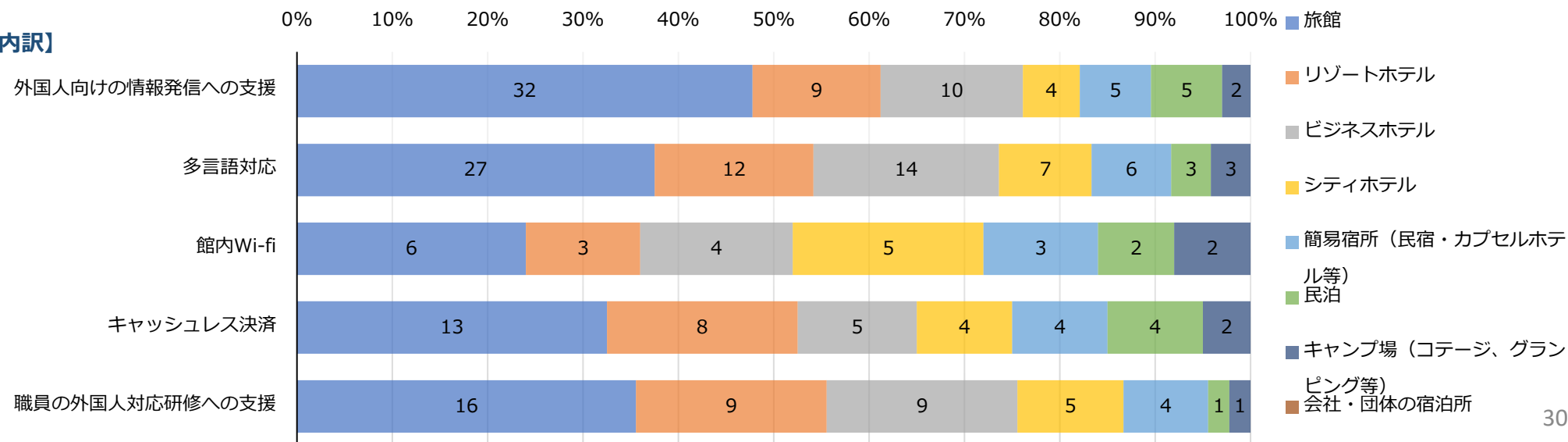
- ・観光地づくりに結びつく税金の活路が想像できない（当施設の場合）
- ・そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・上記項目の全てを実施したいと思いついてはいますが、宿泊税でというのは考えられません。
- ・施設改修への3/4位の補助金があれば助かります。
- ・エリア全体でのWifiスポットの充実
- ・鉄道本数を増やす。交通網の充実
- ・認知度を上げるための事業【宣伝・PR等】を行い、先ずは来て頂けるお客様の母数を増やすことが先かと思えます。
- ・千葉市内に観光名所、施設などの増やす。
- ・地域全体として、災害時の避難所等の整備。
- ・市町村単位では無く、観光客目線に立った周遊ガイドのシステム化(文化財の説明をQRコード読み取りなどで多言語化され、気に入った施設に電子マネーで寄付を募る等、地域の文化財を継続して守っていくためのシステム化など
- ・観光地の整備、標識・看板等の整備、地域観光PR
- ・上記は宿泊税を使途して行うことではない。使い道や使い方がわからないのなら徴収するべきではない。
- ・無農薬野菜の提供で敷地内の畑で野菜を育て提供している。食事で使用する電解水素水のカートリッジ、機器の負担支援
- ・地産地消の補助
- ・地元の人が、地元呼びたくなる観光地づくりへの施策やイベント、計画作り、NPOとの連携
- ・観光資源の維持管理 新たな観光資源の開発
- ・災害時復興支援や見舞金・現在も高騰し続けている電気、ガス、水道費等に対する補助・館内設備更新時に使用できる補助金・災害時受け入れ可能にするためにも災害時使用設備への補助【非常用バッテリー・災害時備蓄食料・AEDやその他簡易医療キット・毛布やリネン等】
- ・オフシーズンを無くす為の観光事業支援
- ・千葉市内に観光名所、施設などの増やす。

宿泊税を活用したい事業 【インバウンドの推進に関する事業】

(施設)



【内訳】



その他自由記載 【インバウンドの推進に関する事業】

- ・そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・外国人のご宿泊は考えておりません。
- ・交通インフラの再構築
- ・宿泊税は必要ないと思います
- ・認知度を上げるための事業【宣伝・PR等】を行い、先ずは来て頂けるお客様の母数を増やすことが先かと思います。
- ・千葉市内に観光名所、施設などの増やす。
- ・大学施設のため、何とも言えない
- ・インバウンド需要はない
- ・安全面や衛生面での協力体制
- ・魅力ある観光地にする事が先決と思います
- ・上記は宿泊税を使途して行うことではない。使い道や使い方がわからないのなら徴収するべきではない。
- ・大手ネット予約サイトと契約していますのでキャッシュレス決済の場合2%の追加手数料が負担、その分の支援。
- ・成田に近いことを旅行会社やバス会社等へアピールして団体客誘致、二次交通の課題改善への提案等
- ・各地域に魅力のある観光スポットを創出することの方がインバウンドを促すには、大切なのでそのために税金を使うように政策をお願いしたい。

宿泊税を活用したい事業【デジタル技術に関する事業】

(施設)

0 20 40 60 80 100 120

アプリ、ウェブサイトの活用にかかる経費の支援

96(69.1%)

デジタル技術を活用した業務効率化への支援

65(46.8%)

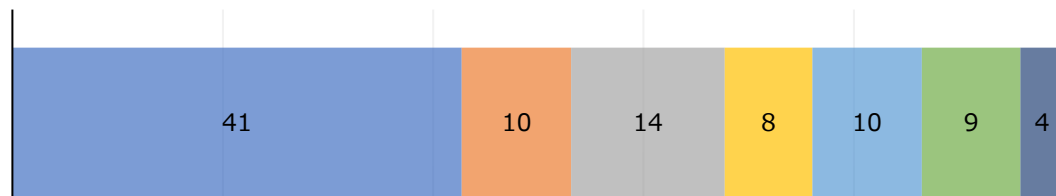
その他 (自由記載)

26(18.7%)

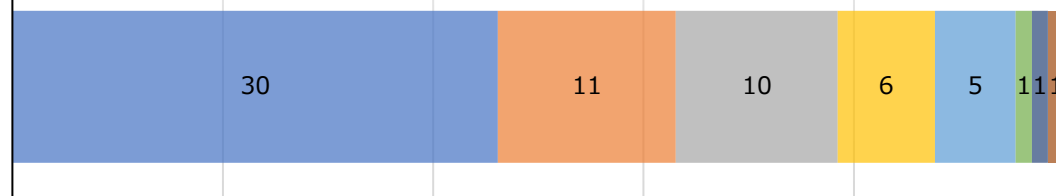
【内訳】

0% 20% 40% 60% 80% 100%

アプリ、ウェブサイトの活用にかかる経費の支援



デジタル技術を活用した業務効率化への支援

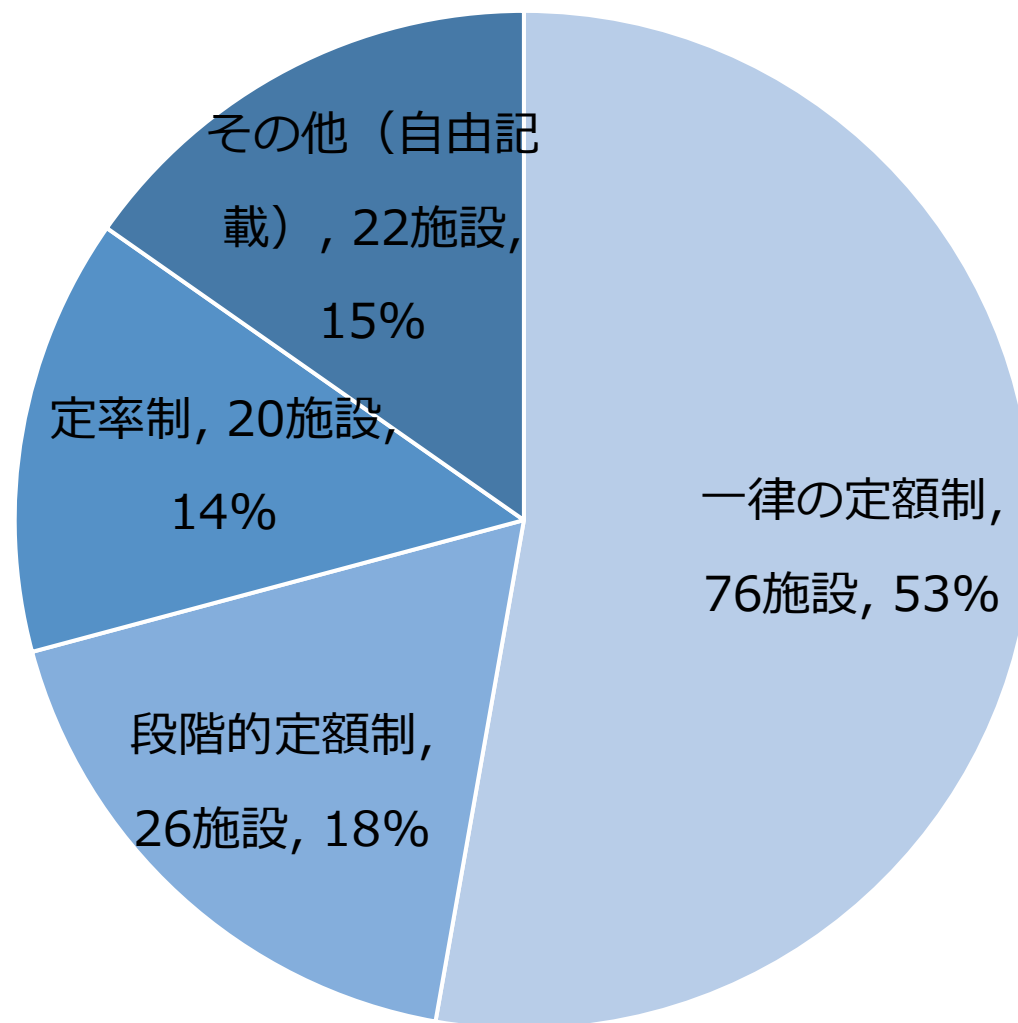


その他自由記載 【デジタル技術の活用に関する事業】

- ・そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・デジタル技術の活用は必須と思いますが、宿泊税でとは考えいません。
- ・「支援」はあくまで「現金」と言う考えです。セミナーの開催や講師派遣ではありません。
- ・県側のデジタルポータルサイトでの情報発信
- ・宿泊税は必要ないと思います
- ・費用がかからない方法があります。
- ・デジタル技術の活用に関しては、月額・年額費用のサブスク料金などのシステムが増えて来ており、その様な契約体系にも対応した使い道にして欲しい
- ・上記は宿泊税を使途して行うことではない。使い道や使い方がわからないのなら徴収するべきではない。
- ・宿泊税に対応する会計システムの導入費用

④ 宿泊税の税制度設計について (たたき台)

宿泊税の税率設定について

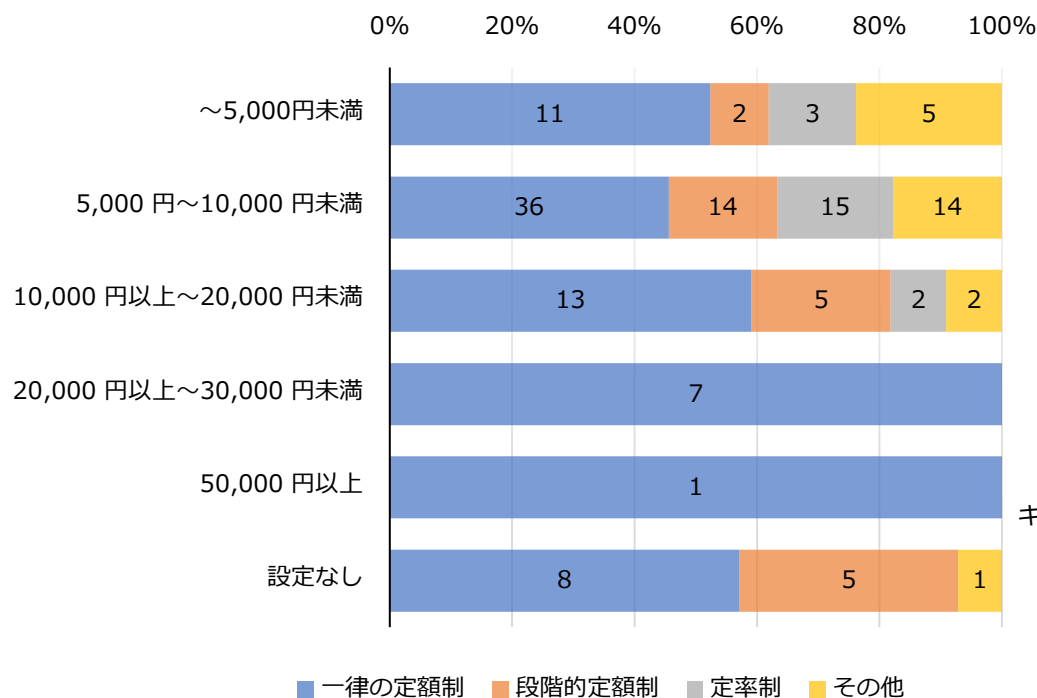


■ 一律の定額制 ■ 段階的定額制 ■ 定率制 ■ その他（自由記載）

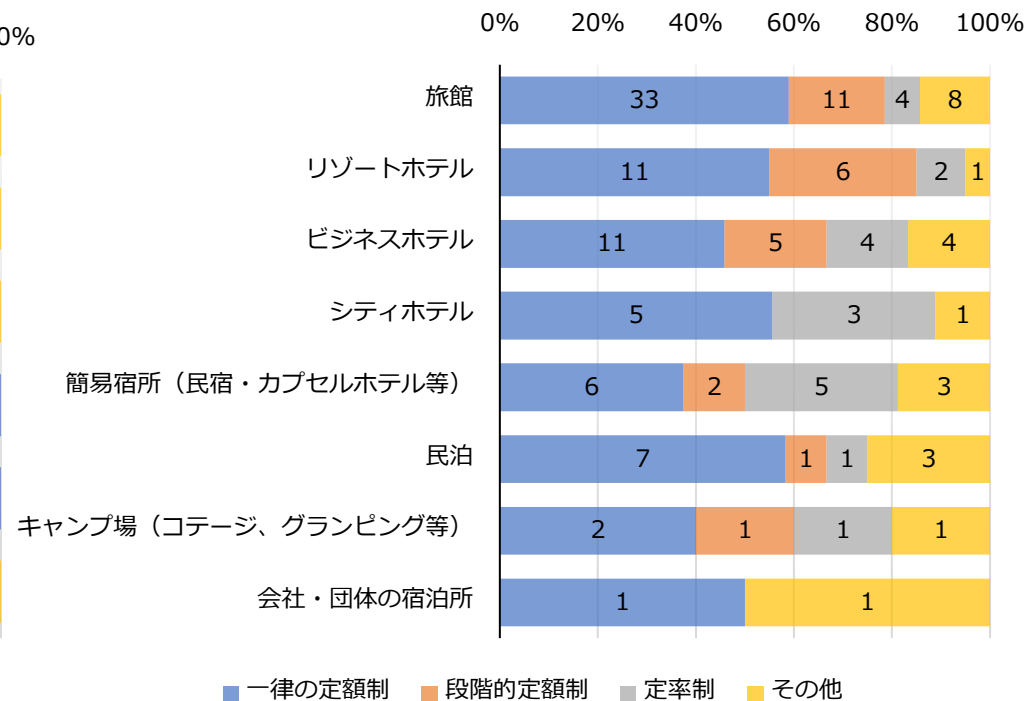
【宿泊税の税率設定】クロス集計（価格帯別・施設タイプ別）

素泊まりの場合の平均的価格

価格別



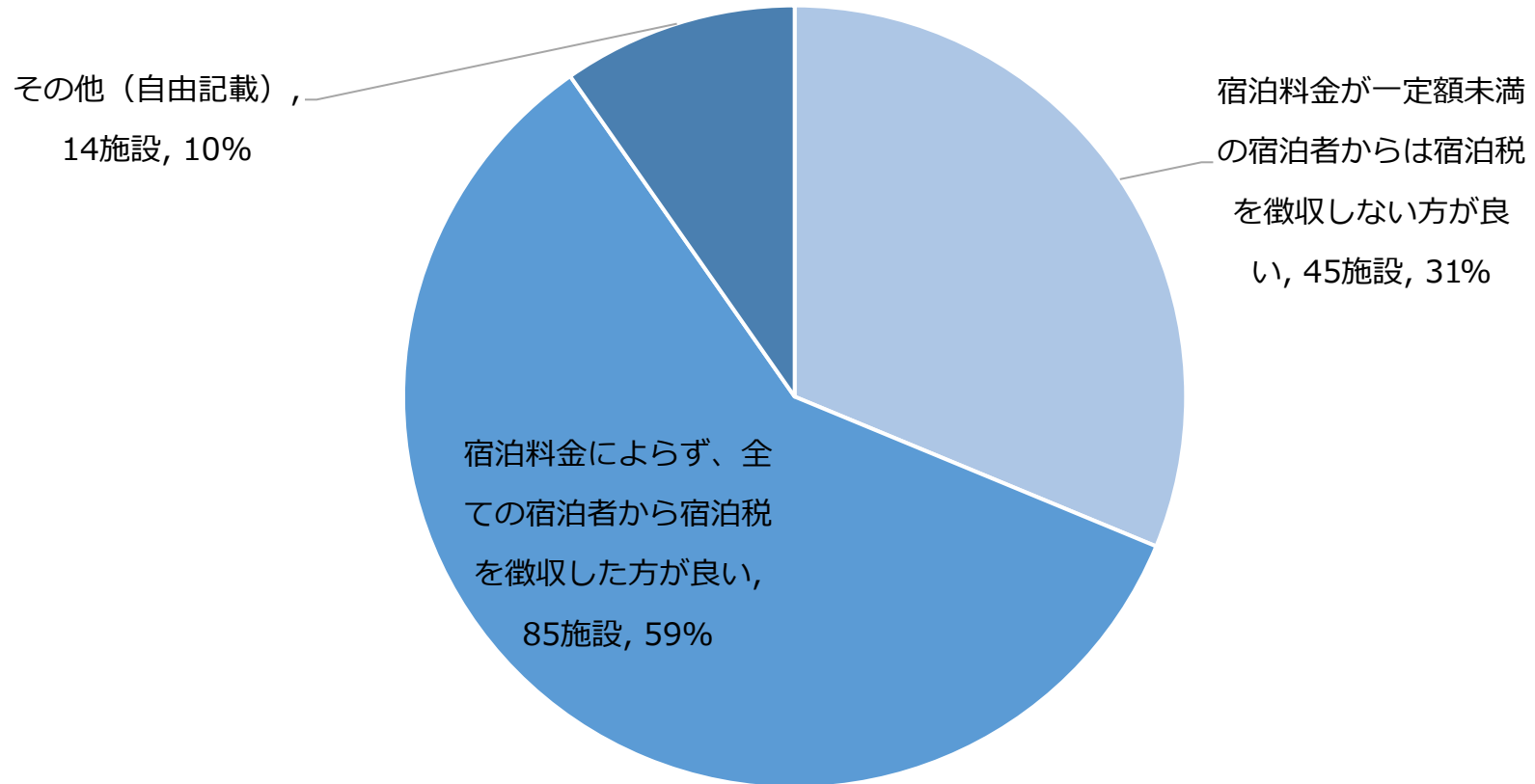
施設別



その他自由記載 【宿泊税の税率設定】

- ・あえて徴収するなら100円定額制
- ・安い宿泊代の宿では宿泊税を設けてほしくない(例えば1泊7000円以下の宿など)
- ・そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・導入しないほうがよい
- ・観光人材の確保・育成・定着に関する事業。で、ご回答いたしました通り、当施設の状況では、宿泊税について検討することはあまり現実的ではありません。
- ・会計システムの無料改修ができれば、定率制が一番不公平感がないと思います。
- ・1万円未満は無料など、低金額には免除をお願いしたい。
- ・1万円以下は税金無し
- ・宿泊税は必要ないと思います
- ・宿泊税はあり得ない
- ・宿泊税導入自体反対。舞浜と外房地区では違いすぎる。
- ・やらない
- ・お客様からいただくことになると思いますので、それぞれの宿泊施設でお客様のためになるような支援を県から受けられるのかによります。
- ・民泊は非課税
- ・システム次第
- ・1万円以上は宿泊税無料にした方が、施設の客単価アップにつながると思う。それでも単価の低い方が止まりたい方に宿泊税をと徴収した方が分かりやすいと思います。
- ・宿泊税導入の目的をもっと浸透させる事が大事だと思います
- ・なぜ宿泊税の徴収が必要なのか改めて説明するべき。まわりがやってるから千葉県もやるという感じしか受け取れない。
- ・誘導アンケートのようにならにに使ったらわからないからアンケートとっているのか？もともと何に対して必要性があるのか？
- ・千葉県独自の宿泊税の導入は反対、やるなら全国一律で行うべき、その場合閣議決定が必要になると思うが・・・

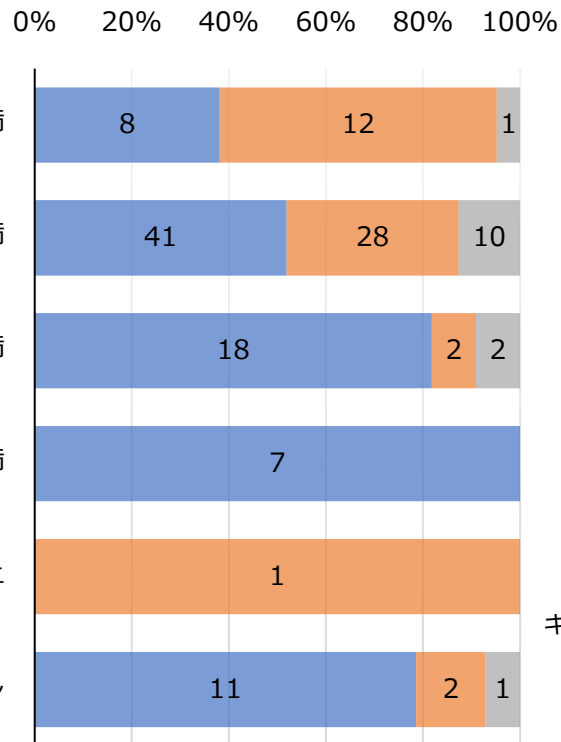
宿泊料金が一定額未満の宿泊者から宿泊税を徴収しないことについて



- 宿泊料金が一定額未満の宿泊者からは宿泊税を徴収しない方が良い
- 宿泊料金によらず、全ての宿泊者から宿泊税を徴収した方が良い
- その他（自由記載）

【一定額未満の宿泊客から宿泊税を徴収しないこと】クロス集計（価格帯別・施設タイプ別）

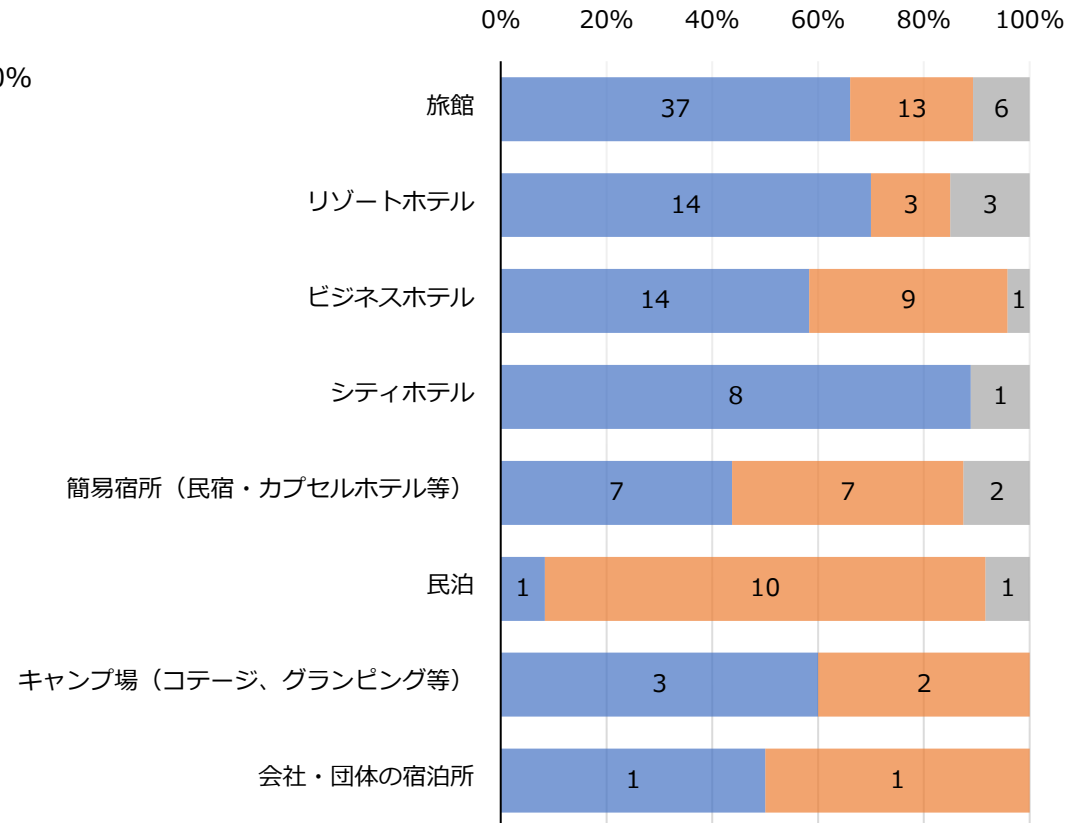
価格帯別



素泊まりの場合の平均的価格

- 宿泊料金によらず、全ての宿泊者から宿泊税を徴収した方が良い
- 宿泊料金が一定額未満の宿泊者からは宿泊税を徴収しない方が良い
- その他

施設タイプ別

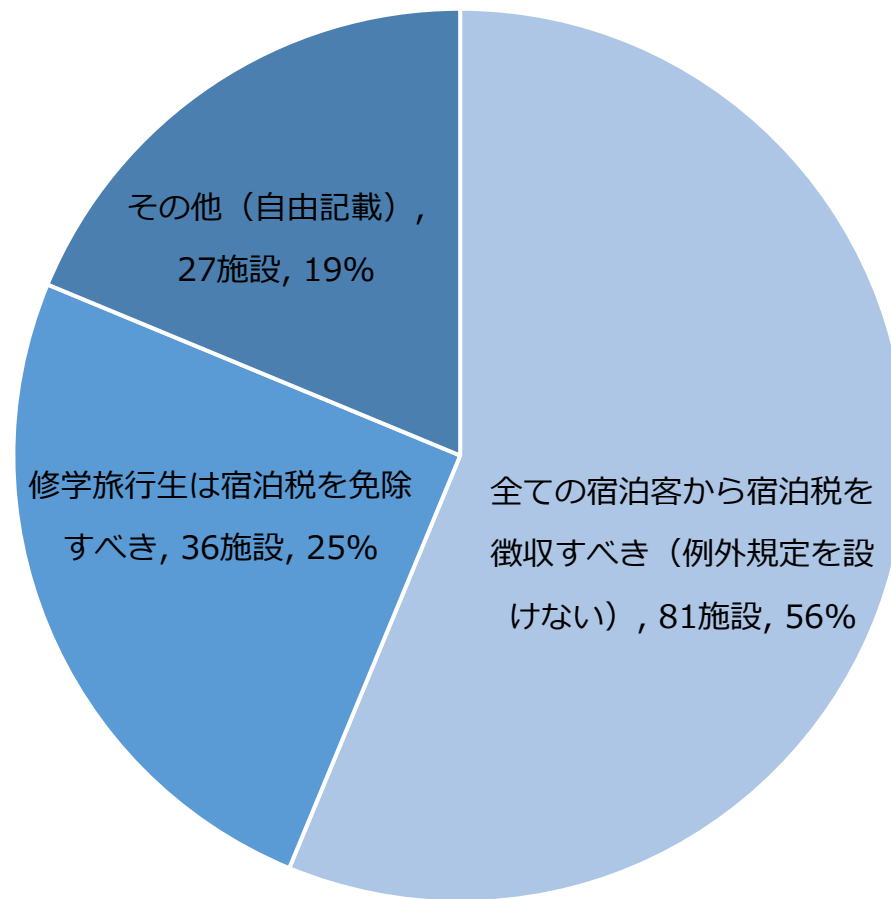


- 宿泊料金によらず、全ての宿泊者から宿泊税を徴収した方が良い
- 宿泊料金が一定額未満の宿泊者からは宿泊税を徴収しない方が良い
- その他

その他自由記載 【一定額未満の宿泊客から宿泊税を徴収しないこと】

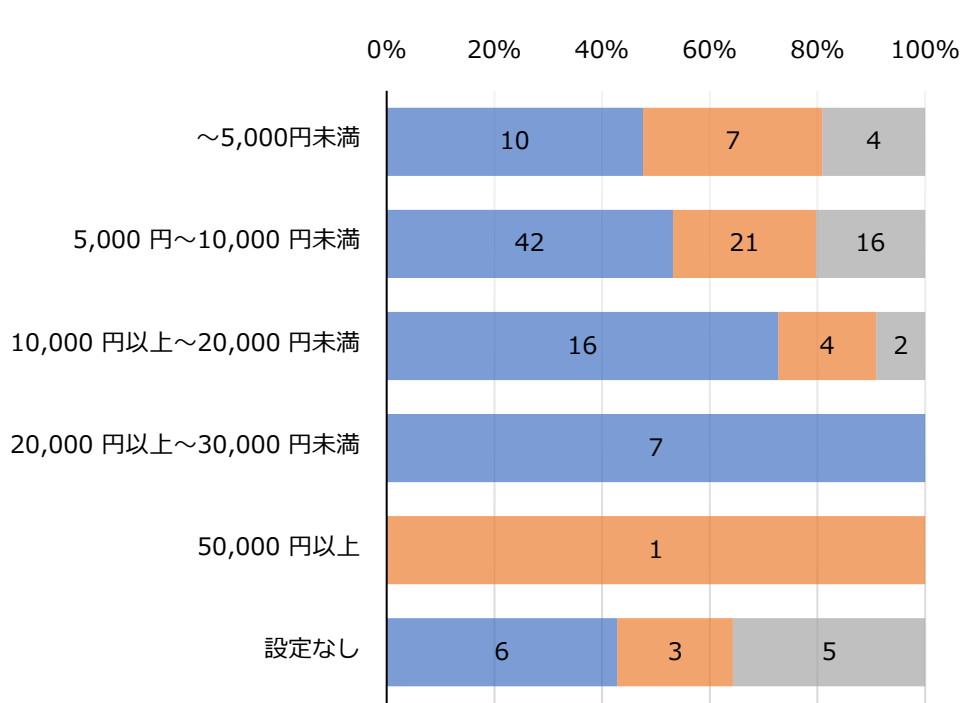
- ・少しでも徴収業務の煩雑を避けたい
- ・そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・徴収希望しない
- ・上記の回答に同じ。
- ・宿泊税は必要ないと思います
- ・平等であってほしい
- ・計算が面倒なため、一律徴収にしてほしい
- ・前記にもあるように、一定にして、高額の方にはかけない方がグレードアップとなり宿泊施設はありがたいです。
- ・入湯税同様に、大人(中学生以上)を対象に徴収した方が良い
- ・まだ千葉県は宿泊税の導入は反対。浦安など必要な市単位でやれば良いだけ。
- ・宿泊料金が2万円未満なら徴収しない方が良い、本来宿泊税の導入はオーバーツーリズムで困っている県が独自に行うべき（例、富士山周辺県、京都等）千葉県はそれに該当しない。
- ・学生は徴収しない
- ・1万円未満は無料など、低金額には免除をお願いしたい。申告は年2回ほどの申告でお願いしたい。
- ・宿泊料金1万円未満の宿は対象外にしてほしいです。手間が増えるのは間違いなく、望めるリターンはホテルなどと比べ、かなり限定的です。

特定の宿泊客から宿泊税を徴収しないことについて



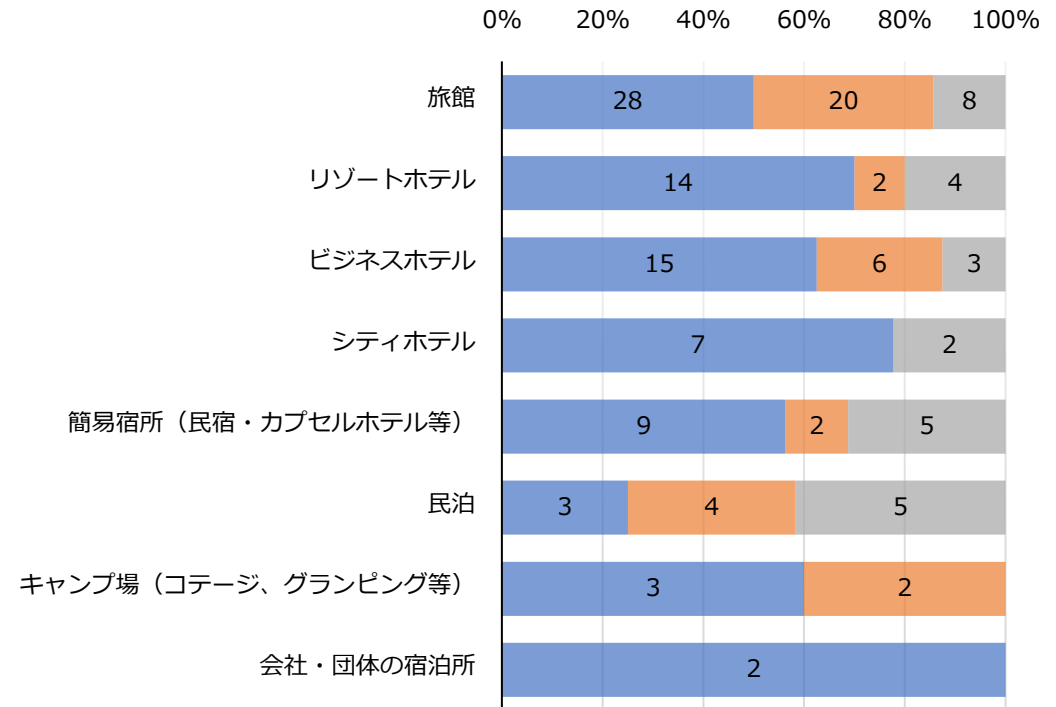
【特定の宿泊客から宿泊税を徴収しないこと】クロス集計（価格帯別・施設タイプ別）

価格帯別



- 全ての宿泊客から宿泊税を徴収すべき（例外規定を設けない）
- 修学旅行生は宿泊税を免除すべき
- その他

施設タイプ別



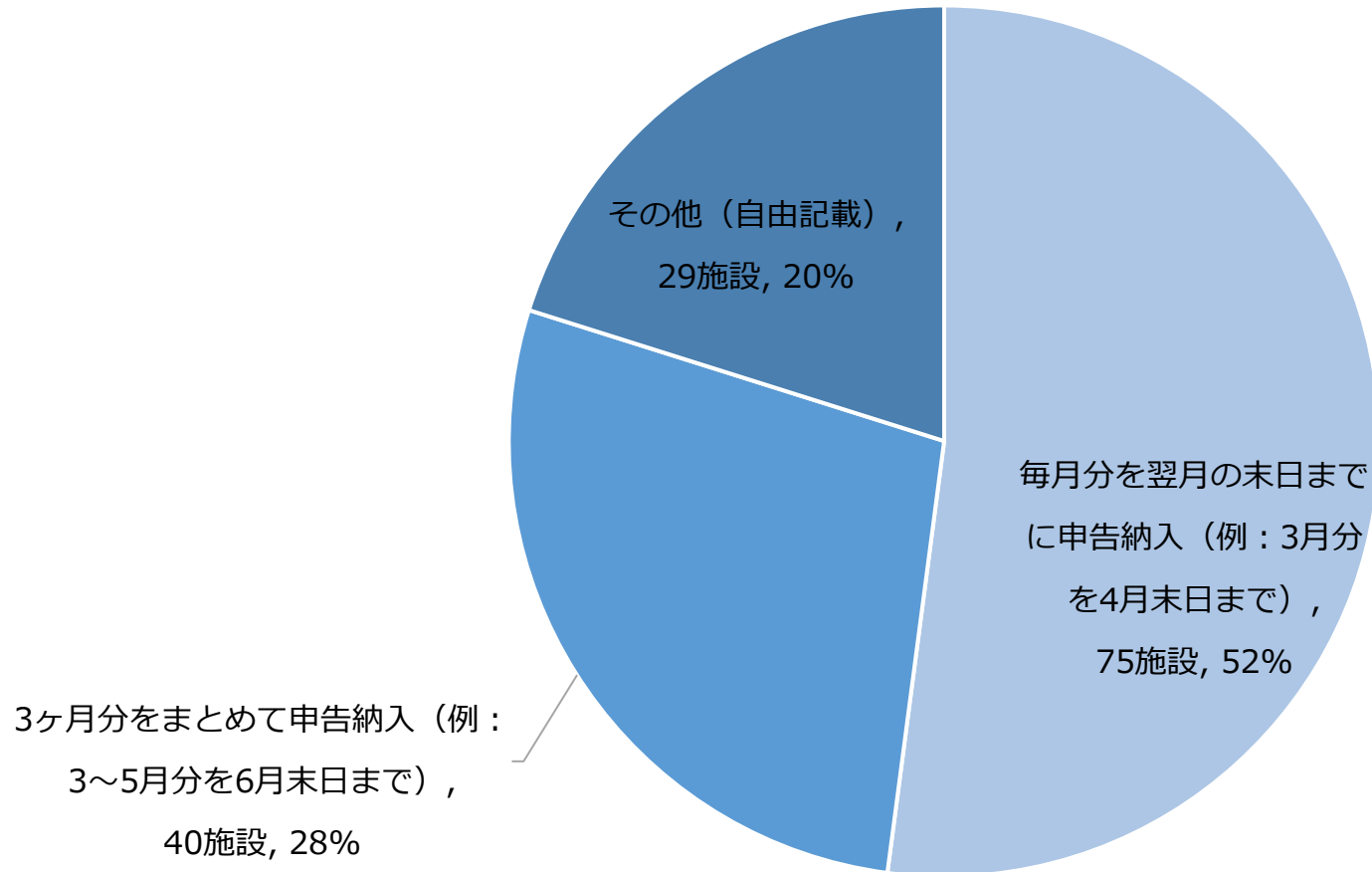
- 全ての宿泊客から宿泊税を徴収すべき（例外規定を設けない）
- 修学旅行生は宿泊税を免除すべき
- その他

素泊まりの場合の平均的価格

その他自由記載 【特定の宿泊客から宿泊税を徴収しないこと】

- ・ 1年分をまとめて
- ・ そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・ 高校生以下は免除にした方がよい。
- ・ すべて徴収すべきでない
- ・ 上記の回答に同じ。
- ・ 免除規定があってもよい
- ・ 修学旅行生及び引率する教員は宿泊税を免除すべき
- ・ 1万円未満や子供からは徴収しないなど、低金額には免除をお願いしたい。
- ・ シニア、身体障害のある方は宿泊税を免除
- ・ 宿泊税は必要ないと思います
- ・ 修学旅行以外でも学生の旅行は免除
- ・ 例外規定を設ける
- ・ やらない
- ・ 国内旅行者には、さらなる税金は負担になるので、外国人のみにする。
- ・ 小学生以下、65歳以上の宿泊者免除
- ・ 未成年者は免除にすべき
- ・ 修学旅行・学生スポーツ大会等は申請して免除
- ・ 小学生以下は対象外にする
- ・ 県として宿泊税を徴収しない。
- ・ 18歳未満は免除すべき
- ・ 本来宿泊税は目的税なので環境の保全、海岸清掃などの人件費等に充てるべき（地域通貨発行で有償ボランティアとして清掃依頼）
- ・ 地域柄、海外への修学旅行の際の前後泊利用や、宿泊を伴う高校の勉強合宿などの教育旅行も多くあり、「修学旅行」の定義付けが難しいので、除外規定を設けない方が助かります。
- ・ 高校生以下及び障害者は免除で良いのではないかと。

申告納期限について

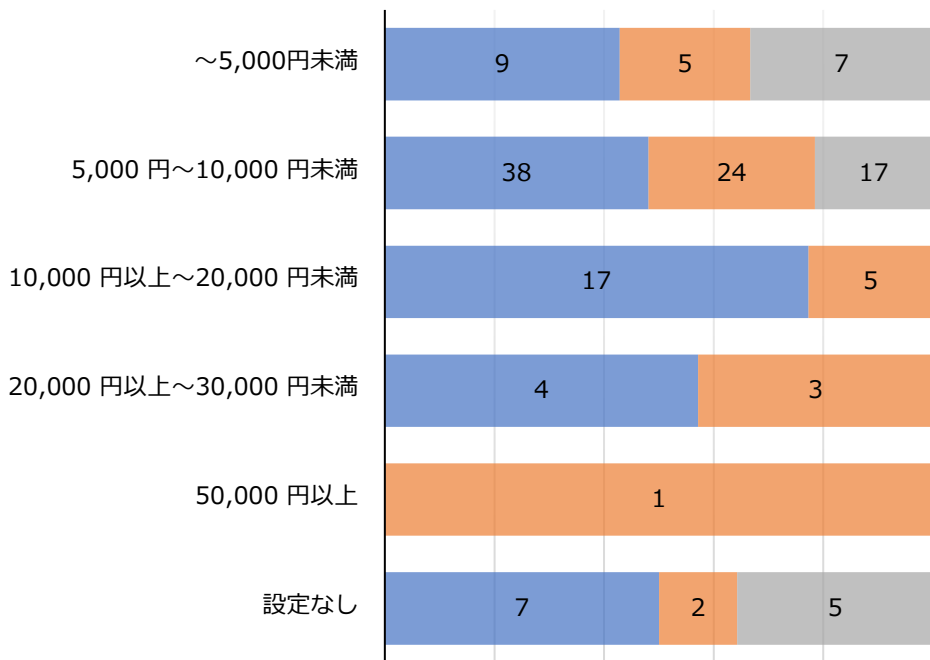


- 毎月分を翌月の末日までに申告納入（例：3月分を4月末日まで）
- 3ヶ月分をまとめて申告納入（例：3～5月分を6月末日まで）
- その他（自由記載）

【申告納期限】クロス集計（価格帯別・施設タイプ別）

価格帯別

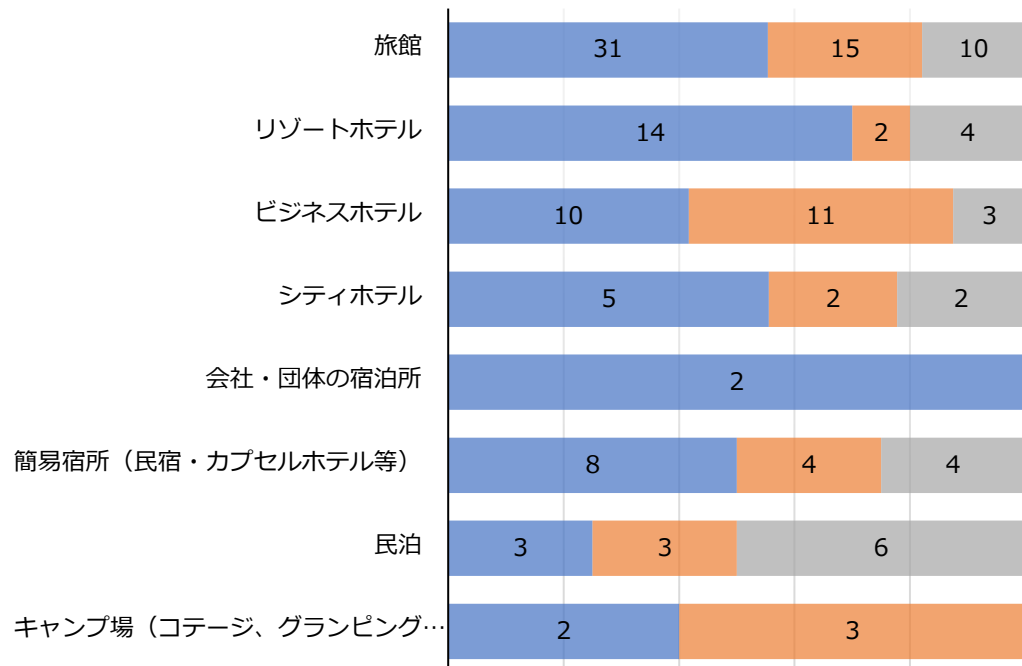
0% 20% 40% 60% 80% 100%



- 毎月分を翌月の末日までに申告納入（例：3月分を4月末日まで）
- 3ヶ月分をまとめて申告納入（例：3～5月分を6月末日まで）
- その他

施設別

0% 20% 40% 60% 80% 100%



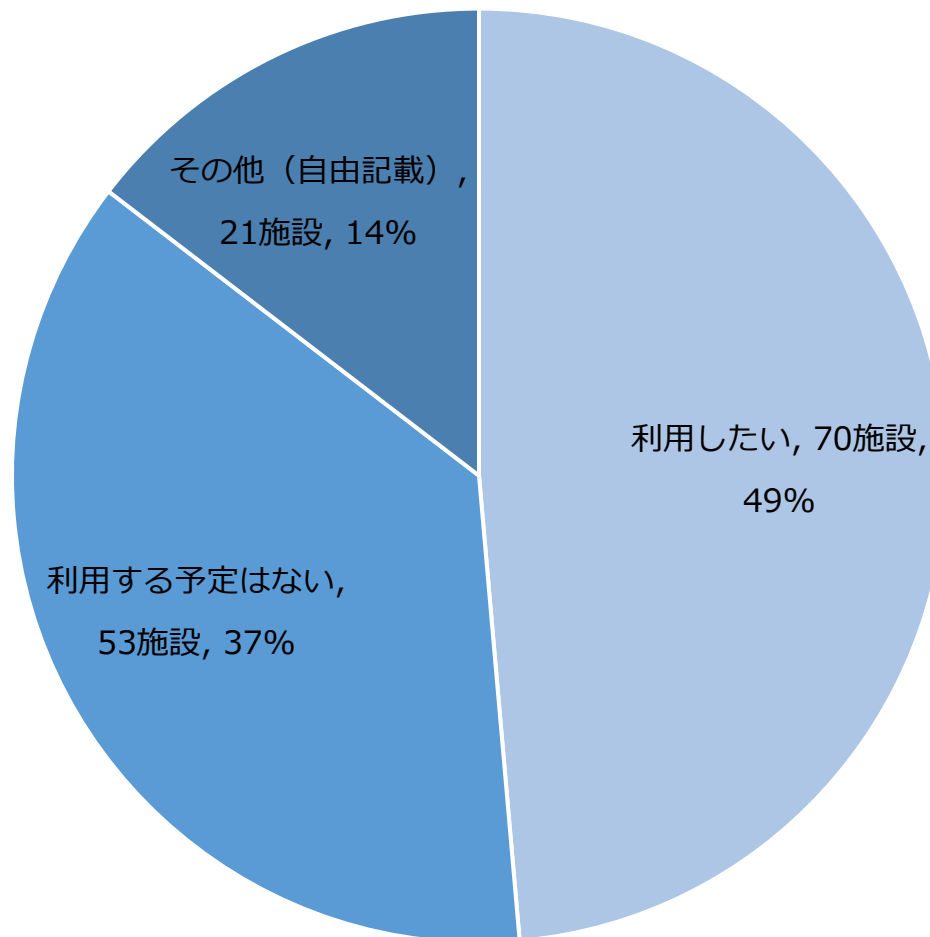
- 毎月分を翌月の末日までに申告納入
- 3ヶ月分をまとめて申告納入
- その他

※ 本ページの平均的価格

その他自由記載 【申告納期限】

- ・今以上の業務負荷（徴収、集計、納税業務）は避けたい
- ・消費税と一緒に
- ・1年分をまとめて
- ・そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・不明
- ・現時点では何とも言えない。
- ・徴収希望しない
- ・出来得れば、このような負荷はご勘弁いただければ、と思います。
- ・6月12月年2回
- ・1年分を申告納入
- ・年2回ほどの申告でお願いしたい。
- ・半年分をまとめて申告納入
- ・作業の手間が労働時間を増やす
- ・特に意見はありません。
- ・1年に1回ぐらい煩雑さを避けてもらいたい
- ・民泊は県から2ヶ月毎に一度延べ人数延べ日数の報告して集計が出るのでまとめてで良いと思います。
- ・手間を省くため、まとめて1年分とすべき
- ・月末締め申告の翌月末納入
- ・客単価が低いため、できればお客様から宿泊税は取りたくないです
- ・1年分をまとめて申告納入
- ・県として宿泊税を徴収するべきではない。
- ・1年にまとめて
- ・宿泊税有りきの前提には反対
- ・2か月分でも良い
- ・本社で管理しているのでホテルの方では対応については分かりません。
- ・半年分ずつの納入

「eLTAX」での宿泊税の電子申告について

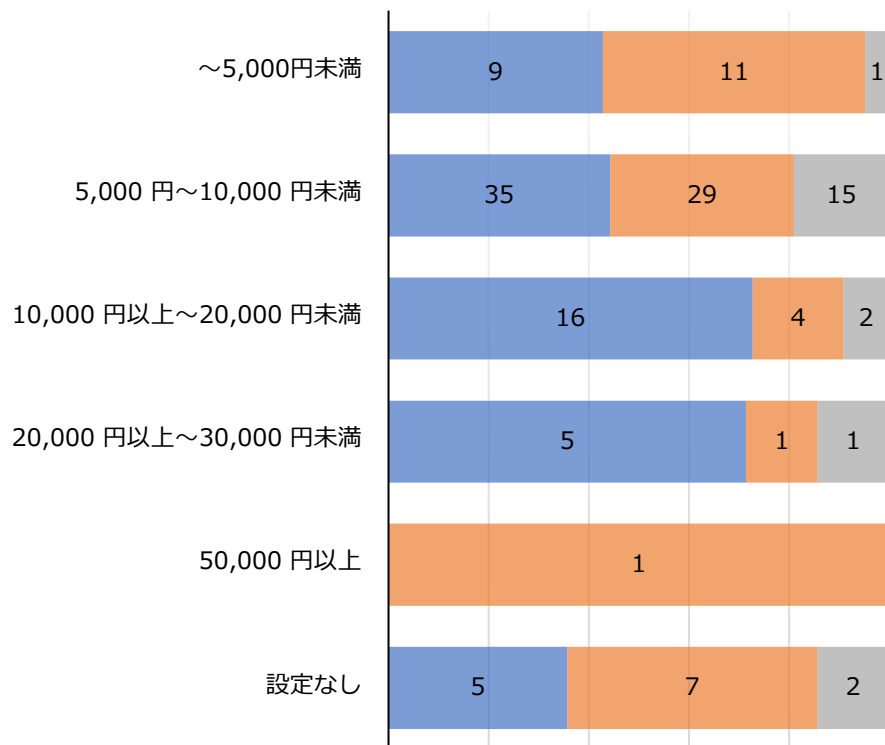


■ 利用したい ■ 利用する予定はない ■ その他（自由記載）

【「eLTAX」での電子申告について】クロス集計（価格帯別・施設タイプ別）

価格帯別

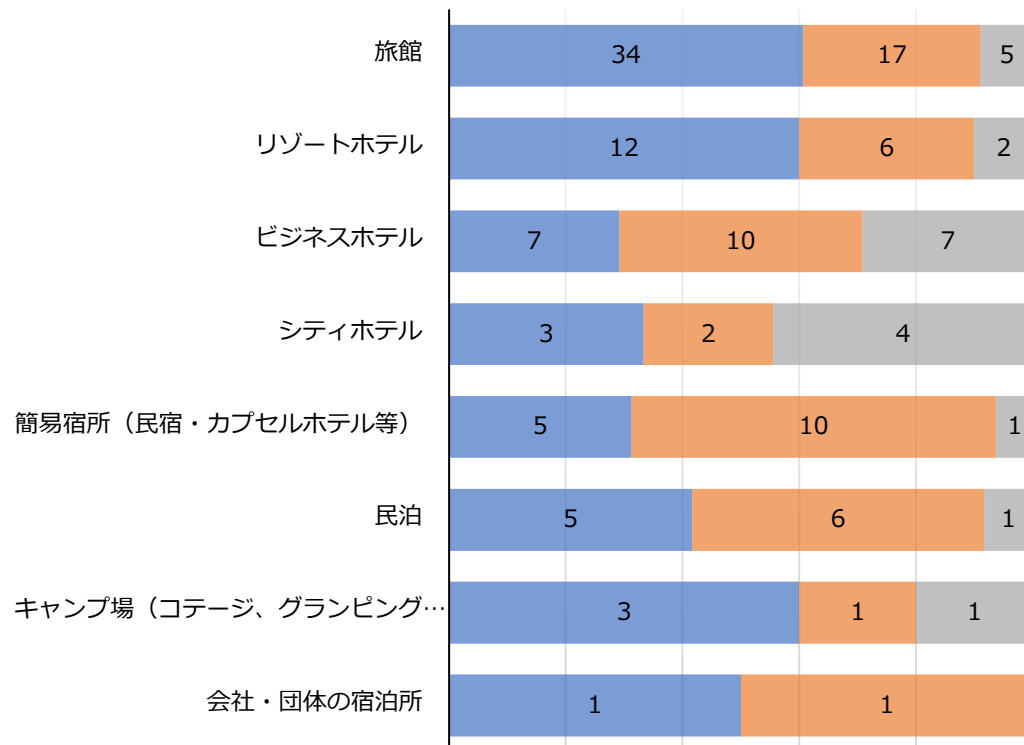
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 利用したい ■ 利用する予定はない ■ その他

施設別

0% 20% 40% 60% 80% 100%



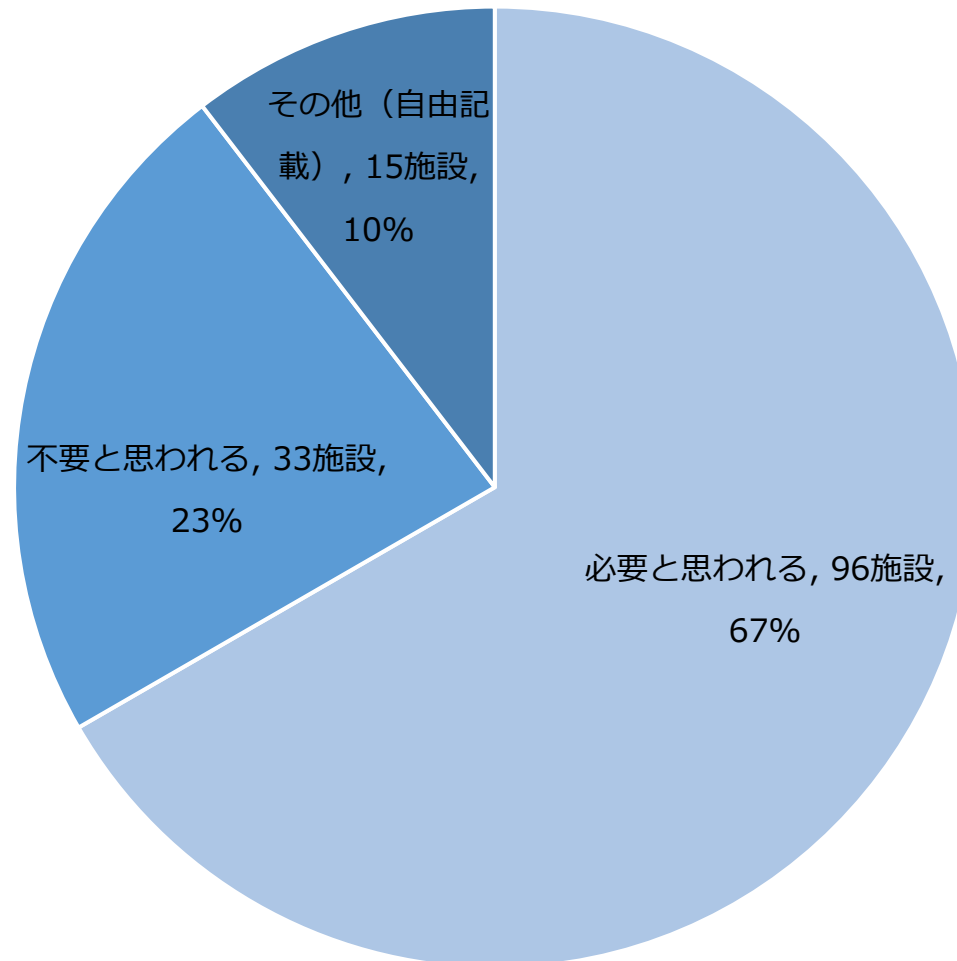
■ 利用したい ■ 利用する予定はない ■ その他

素泊まりの平均的価格

その他自由記載 【「eLTAX」での電子申告について】

- ・ 操作内容による
- ・ 税理士に任せている
- ・ そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・ 不明
- ・ 現時点では何とも言えない。
- ・ 徴収希望しない
- ・ 電子申告が義務化されるなら利用する。現在税理士に申告書の作成・送信を依頼している。
- ・ 全く未定
- ・ 詳細が不明のため、回答できません。
- ・ 宿泊税止めてください
- ・ 人員に余裕がないため、導入が簡易であれば検討させていただきます。
- ・ 不明
- ・ eLTAXがよくわかりません
- ・ わからない
- ・ 「eLTAX（※）」での税の電子申告と宿泊税は現時点で全く関係のない話だ。アンケートをとるなら言葉をならべろ。
例えば1.利用する予定。2.利用する予定はない にするべき。
- ・ 前項同様、宿泊税有りきの前提は反対。
- ・ 本社で管理しているのでホテルの方では対応については分かりません。
- ・ 可能となった時点で弊社経理部と協議、対応図る。
- ・ 可能の時点で弊社経理部と協議、対応図る。

その他自由記載 【貴施設で使用している会計システムの改修について】

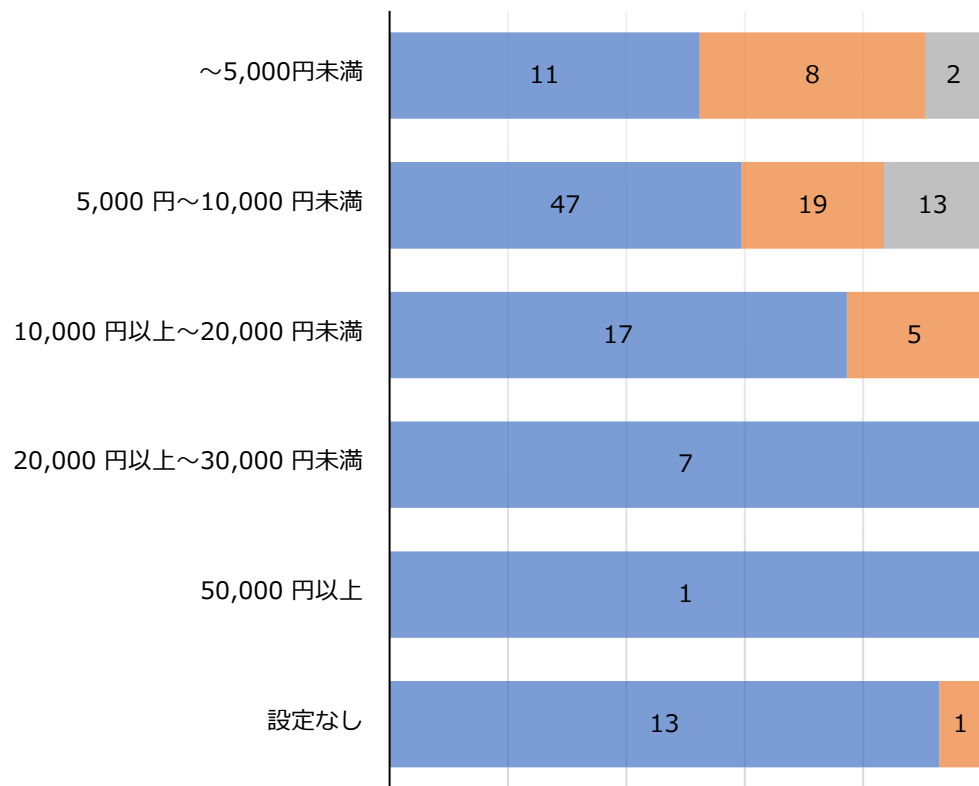


■ 必要と思われる ■ 不要と思われる ■ その他（自由記載）

【会計システム】クロス集計（価格帯別・施設タイプ別）

価格別

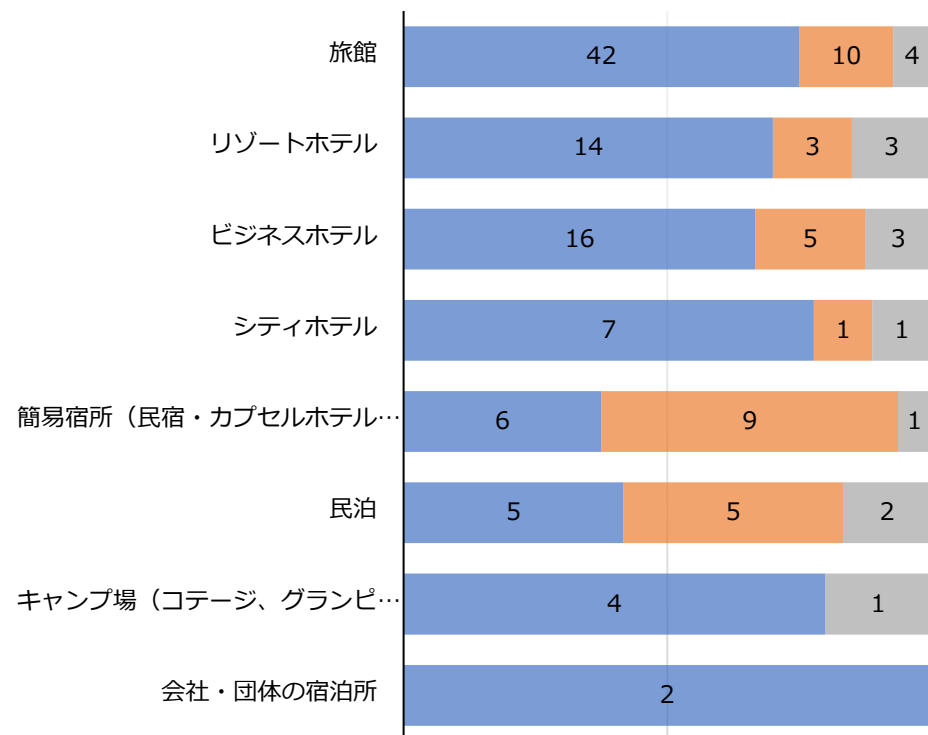
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 必要と思われる ■ 不要と思われる ■ その他

施設別

0% 50% 100%



■ 必要と思われる ■ 不要と思われる ■ その他

素泊まりでの平均的価格

その他自由記載 【会計システム改修】

- ・相当高額なシステム変更料となる（数千万）
- ・そもそも宿泊税は反対であるために上記には回答できない
- ・不明
- ・徴収希望しない
- ・全く分かりません。
- ・わからない
- ・わかりません。
- ・現時点では不明
- ・わからない
- ・システムを入れてない
- ・システム業者に確認が必要
- ・税務処理は税理士事務所をお願いしているので不要
- ・まだ分からない
- ・会計システム無し
- ・宿泊税導入にあたりシステム改修に費用がかかるようなら補助があれば助かる。
- ・宿泊税導入にあたり、既存システムの改修が必須。改修費用に伴う経費の優遇措置を受けることができれば助かります。

- 数百円単位の価格コントロールで1円でも多く利益を追求し事業回復を試みている現状に、実入りを減らす税の導入は容認できない。又、当施設に限らず、コロナ禍から続く経営難、人材難に直面している宿泊事業者にとっては、新たな税制を導入するためのソフト・ハード・金銭面の余裕は無い。
- 使用用途が明確でなく、「徴収ありき」になっている。このような内容であるならば反対
- 資料の使用用途を見る限り、「宿泊税ありき」にしか見えない。このような使用用途であるならば反対
- フロント業務に負担のかからない形を考えてほしい。
- 宿泊税の徴収は宿が行いお預かりした税金をどのように使われるのか？明確なビジョンもなくただ徴収してどのように還元されるのか。目的税といわれますがその地域で様々な事情がありどのように活用されるのか疑問はあります。またインバウンドでお客様が多く来る地域は観光客に観光費を負担させるのには良いが、元々、そのようなお客様がこない地域に必要なのかわからない部分はあります。
- インバウンド等、県内均等に回ってほしい。房総はなかなか実感できない。市町村の垣根を超えて県が主体となって何かやってほしい。東京から近い立地のなのに交通が不便
- このような経営が圧迫するような税であるのであればアンケート調査ではなく丁寧に説明すべきではないだろうか。税金の活用を問われているが原資が欲しい行政の案であればまずはどのような使い道を考えているという明確な定義があるからこそ宿泊税の案が出てくるのではないか。
- 持続可能な経営の為に補助金・助成金等の支援無くしての運用は困難である。
- 県税としての宿泊税徴収の制定は市町村自治体の宿泊税制定と調整しながらすすめることが大前提です。法定外目的税の存在意義からして、どちらかといえば、より各当該地の必要に応じた用途に応じて具体的に還元できる市町村税として制定されるのが優先順位として高いと思う。あえて県が制定するのであるならば、浦安市や南房総市、鴨川市等、宿泊税制定を検討している自治体に取り下げてもらおう交渉をするべき。また、千葉県は県民の県内宿泊旅行需要が首都圏の中でも高い県である特徴からして、県民が県内に泊るのに県税を払うことに抵抗を感じる。
- 宿泊税はご宿泊のお客様が支払うので、そのお金で日帰りの方や地元の方も使える海岸や公園のトイレの整備にあてるのは違うと思う。それをするなら、日帰りの方や地元の方からも「税」を取るべき。魅力ある宿泊施設をもっと増やす、または宿泊する方が、更に快適に過ごせるような宿泊施設にするための「お金」として使用すべきで、各宿泊施設のシステムや施設の改良、改善に対する支援金などにするのが好ましい。
このようなアンケートも良いが、担当者の方が、千葉県内を例えば銚子、九十九里、外房、南房、内房、東葛などいくつかのエリアに分けて、そこに
出向き、宿泊業者さんを集め、そこで直接生の声を聴く場を設けてほしい。会議室の中だけで限られた方だけの話し合いでは、決して宿泊施設の現状の諸問題、希望は掴むことができないと思います。また、コロナが明け、旅行支援などがなくなった今、日本人の宿泊者は全国的に減っていると思いますが、一方、インバウンドが入ってくるエリアではかつてないほどの高稼働を続けています。千葉県はご存じの通り、国内でインバウンド入込最下位ではないか、と思われるほど、入込が良くない。県独自の県民割やGOTOみみたいなものを宿泊税を原資として、実施していただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
- 用途については、それぞれのエリアの環境整備と個々の宿泊施設への補助を希望します。宿泊施設へ補助がいただけるのであれば、その予約、会計、仕入れ等のシステム改修や設備改修等の計画書と見積の段階で、補助金申請が可能かどうか事前に判断がいただけるようにしてほしい。以前、コロナ禍において、補助金の申請は事後だったため、改修や更新に踏み切れなかった施設もあった。

- 宿泊税が我々房総地区まで公平に回ってくるのかが疑問。成田空港整備に使用されてもインバウンドの少ない当地域への恩恵はない。例えば税金2000円のうち150円は徴収した地域に再交付、50円は県全域での使用というような形はいかがでしょうか？また、学生は100円を徴収、SDG's教育の教材や啓蒙に充てれば、学校関係者の理解も得られると思いますがいかがでしょうか？また、素泊まり3000円以下は免税とし、長期ビジネス滞在や大学生のサークル活動などを想定しています。あくまで、私見です。
- 千葉県はインバウンドが弱く他の県より厳しい状態なので国内のお客様が主体になっている、なので税金が取られる様なイメージが付いてしまう宿泊税は時期尚早だと思う。インバウンドを取りに行ける様な明確なプランがあるならば予算確保の為に賛成だが、今は先ず宿泊税を取る事だけしか議論されないのでは反対です。
- 既存の予算に対して、宿泊税での税収の付け替えでは全く意味がないと考える。あくまでも従来の観光予算に+宿泊税収で予算が増えることが前提で同意をします。千葉県の観光はまだ未知数の伸びがあると信じています。適切なプロモーションをしっかりとけていくことで、日本への玄関口から1泊ないし2泊をしてもらう。トランジットのための宿泊を房総半島への交通手段確保に充ててお客様を都内から都心から房総半島へ流してもらいたい。ベイエリアの賑わいではなく、外房内房を含む全域への誘客、送客を第1線に考えていただくことで、まだまだ未開の房総半島に大きな外資を含む企業も進出をする。同様に中小零細の我々業界にもその支援策が届いていくことを切に願います。
- お客様が宿泊税の徴収を精算時に初めて知るようなことのないように、県が主導となって周知する必要がある。宿泊金額に応じて宿泊税が変動すると、1つのグループの中で宿泊税に差が出てしまうので一律料金にしてほしい。宿泊税の多い地域ばかりに活用するのではなく、宿泊客の動線を具体的にイメージして県全体で活用してほしい。
- 例外対応を導入すると煩雑な作業を加速させるばかりで施設負担が増大します。結果的に人的ミスによる徴収漏れなどにつながる可能性大いす。一律徴収以外は正確な徴収は不可能と思います。
- 正直に申し上げますと、宿泊税の徴収に抵抗を感じています。宿泊税の徴収による顧客離れと他県との競争力に劣後する可能性を懸念しております。このアンケートについても、徴収が前提となっているので回答をいたしました。基本的には税配分の見直しによって宿泊業への支出をご検討いただければと思っております。今後の少子高齢化を迎えるにあたり、宿泊業はインバウンド需要を取り込む事で地域に大きく貢献できる産業である事を今一度ご認識いただければと思っております。また、交通インフラに関して当地域は重大な課題を抱えているため規制緩和と大胆な制度設計の再構築が必要となっております。
- 宮島では目的税として宿泊税を徴税すると首長は言っていたのに、一般財源化すると手のひらを返し現地では物議をかもしている。徴税すると行政は、目的税であっても一般財源的に使用する傾向が強い。入湯税も目的税にもかかわらず、一般財源化している温泉地がほとんどで、不信感はぬぐえない。厳密で明確な使用使途であるべきである。また宿泊税は定額制ではなく定率制にすべきである。セントラルフロリダ大学の原教授の講演で、定額と定率の税収インパクトの違いを痛感した。それをいかに地域DMOに回せるかによって、地域経営に差が出てくる事例を拝聴した。定額制宿泊税は世界の非常識であり、定率制宿泊税の優位性を認識すべきである。(『観光地経営でめざす地方創生』by 原忠之 参照)過疎地である観光地は労働力不足であえいでいる。地元からのマンパワーの供給は難しい反面、他地域または海外からのマンパワーは、住み込みであれば派遣社員も含めて確保できる。しかしながら住み込みのための部屋や寮がないと、客室の一部を使用させたりしている。交通機関が充足している都市部などでは、会社から離れた賃貸物件を借りて住ませることもできるが、過疎地では賃貸物件がなかったり、あっても宿泊施設から離れていたりすると、自家用車でも持ってきた社員以外、徒歩圏でないと利用することが難しい。そこで、館内の遊休空間を改装して居室にしたり寮を新設する場合は、資金的な公的補助をご検討願いたい。この10年間で社員寮を5棟建てた関西の同業の方を存じ上げているが、グループ会社全体では12棟の寮があるという。それだけ地域に流入人口を増やしたにもかかわらず、何の補助や助成も受けていないそうだ。結果として定住人口が増えるということは、過疎地にとって工場誘致などの地域活性化策と同等の意味があるのではないかと。

- 当社は主に学生向けスポーツ合宿施設です。宿泊税の導入は売上減少に繋がります。止めてください。
- ・導入されるのであればできる限り簡素にして頂きたいです。金額を変える事や一部除外する等の例外を設ける事等は、現在でも人手不足な上にただただ徴収に負担だけが増える結果になってしまうと思います。また、現在当社では人手不足解消をするべく外国人人材を率先して採用しております。その観点からも複雑なシステムはお客様だけではなく、徴収する側のホテルスタッフをも混乱してしまうのでやめて頂きたいと思っております。
- 宿泊税に対する認知を広めてください。実施される事が確定しましたら必ず「いつから・どこで・どのような理由で・いくらを」等の詳しい状況をテレビ・インターネット広告・youtube等を用いて広く認知させて頂きたいです。またその際決してホテル側のイメージが悪くなることの無い様に、国もしくは県が主導で徴収していることを認知を広めて欲しいと切に考えております。
- なるべく支援や制度に差を付けないで欲しいです。県により支援内容や制度内容に差が出てしまうのは、ある程度はしょうがない事だとは理解しております。ですが、市や区によって支援や制度【それに伴う宿泊税徴収額の差】が出てしまうのはやめて頂きたいです。お客様が流出する要因となってしまう可能性があります。
- 宿泊税の使用用途に関して、出来る限りどのホテルや旅館でも使われる用途にしてほしいと思います。
 - 1 例えば現在高騰している電気代やその他エネルギー費【ガス・重油や灯油・ガソリン等】、水道費等ホテルには欠かせない費用であり、また大きな負担になっていると思います。そこに対しての何らかの支援等を行って頂きたいと思います。各種セミナーや自動チェックインシステム、お掃除ロボ等はホテル・旅館等によってはいらぬ施設も多数あると思います。出来る限りどこの施設でも使用が出来、いつでも必要な事や物に対して支援して頂きたいと思っております。
 - 2 災害時に対する費用の助成もしてほしいと考えております。災害時受け入れに対する要請や最近よく聞いているミサイル発射時の避難先等への要請等を頂くのはもちろん結構な事だと思います。ですが、それにあたり準備や備蓄等どこの施設様でも十分にできていないと思います。従いまして、そこに対する助成金や準備金などを出して頂けると幸いです。
 - 3 徴収額に対して、余ったものは積立基金のような形で残してほしいと思っております。徴収した税に対して、余り分が出るようでしたらほかの事業等に回すのではなくあくまでも旅館・ホテル等の宿泊施設等に使えるように積立基金のような形で残してほしいと考えています。そして残した基金は、大地震や大雨・台風等の災害時復興支援や見舞金等へ宛てて欲しいと考えております。
- 宿泊税を徴収する立場としては、徴収条件が例外なく一律であり、よって徴収業務が限りなくシンプルであることを望みます。また、会計システムの変化に伴う経費についての補助を願います。税の用途としては、施設設備の補修改修費として補助金の申請等が認められれば有難いです。
- 導入前により具体的な市町村ごとの使用用途を提示した上で導入する事に関するアンケートを再度取って欲しい。現状だと、導入するメリットがあるのか正直不明確です。
- インバウンドで売上が上がった施設とそうでない施設がある。売上がコロナ以前に戻らず、経営が大変な施設、地域もある。千葉県をひとまとめにして宿泊税を設定するのは無理がある。
- ビジネスホテルの場合、予約者(会社)と宿泊者が違うことが往々にしてあります。現地で徴収の場合、どちらが支払いの対象となるかで揉めたりはないでしょうか。100円200円とはいえ、現金を一切持ち歩かないお客様も増えている中でカード決済されては、こちらの手数料分の持ち出しにも繋がります。せっかくOTAを使ってのカード決済が軌道に乗ってきたところで現金の徴収が始まるかと思うとうんざりです。そのための領収証を出す手間・保管などを考えるとインバウンドの恩恵もあまりない地域で納税してよかったと実感できる時が来るか甚だ疑問です。
- 一部の地域のみで行えば良いと思います。観光公害と言われるほど千葉にお客様が来てもらう方が先だと思います。大都市に比べてコロナ禍前よりもまだ回復してません。観光を呼ぶ努力が先だと感じます。
- 業務がプラスになるのならば、施設整備費(修繕、バリアフリー化のための費用、システム導入費)や外国語研修を受けられるなど、お客様にも施設にも県にも、メリットがあればいいと存じます。

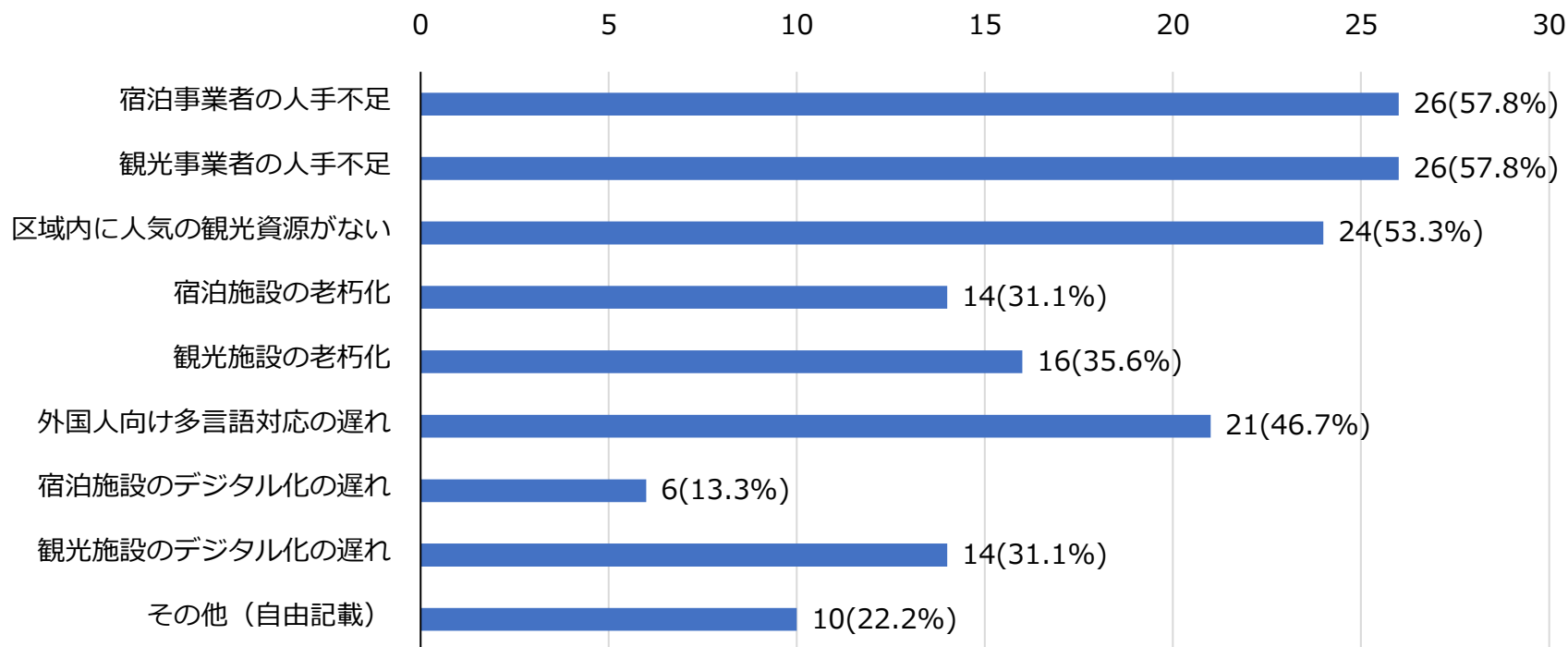
- 行政側で取り組めるインバウンドを増やすための税金の使いみちがあまりにもお役所側の観点であり、旅行客側の目線に立った魅力のある観光リソース作り役に役立つようなものになっているとは思えない。むしろその地域地域の歴史や文化や特産物等にしっかりとフォーカスし、そちらの魅力を増やすことによってインバウンドひいては国内旅行者の活性化を図るための税金であれば望ましいと思う。
- 宿泊税を取るのであれば、全ての施設で取った方が良いと思う。必ず不平不満が出てくる。会計システムの改修が必要になった場合の費用は誰が支払うのか？
- 長い長いアンケートでした。今未定なのに色々質問ありましたが参考になりますでしょうか？もう少し具体的な方法で良かったのではと思われました。私はAirbnbという企業と民泊を事業をしています。手数料等支払いしていますが、税の事について問い合わせしてみようと思います。
- 専業事業者ではなく、民泊であり、利用日数も年間50日程度の規模なので、ホテルなどと同じように、税を徴収するのは、不公平だ。また、税の使い道についても、恩恵を受けるとは、考えにくい。払うにしても、振り込み手数料の方が、上回る可能性が高い。コロナの際も、持続化給付金など、受け取っていない。よって、規模の大きいホテルや旅館から、徴収すべきで、民泊については、除外すべき。
- 宿泊税の利用用途について、広く使用用途の情報を得るために、年1回などの定期的な情報収集の場・機会を設けて欲しい。また、その使用用途については、県全体の宿泊施設が情報共有出来る様、使用施策について共有して欲しい。
- 長崎市や北九州市など参考にして欲しい。各施設への利用ではなく、観光事業の整備に県内・市町村内で有効に活用して欲しい
- ディズニーランド周辺の宿泊施設だけで導入すれば良い。安房郡市は宿泊者で混雑していない。
- 老朽化した観光施設の改修や、観光業に携わった経験者などを地元観光協会などへ雇い入れて、観光に特化して且つ地元精通した団体に生まれ変わる資金の一部にしてほしい。
- 南房総の観光業は相当大がかりな手を打たなければ、徐々に衰退していくと思われまます！例えばですが宿泊税だけでは到底無理だと思えますが、房総、そして千葉県全体を考えた時に三浦半島から館山にアクアラインを開通させるくらいの事をしない限り、君津以南は存続の危機です。いくら小手先で対応しても限界があると思えます。本来のアンケート目的と異なってしまっして申し訳ありません！
- 早急な必要性もないのに宿泊税を県が徴収することはないと考えている。
- 前項でも意見したように宿泊税は目的税、全国的にオーバーツーリズムの影響で対策が必要になれば千葉県は海に囲まれているので海岸清掃、インバウンド対応のガイド料等に人件費補助として使うべき。そのような議論を経たうえで導入するのであれば県民に賛否を問うべき。宿泊税ありきのアンケートには反発を覚えます。
- 宿泊税はお客単価にかかわらず不公平なく一律を望みます。高めのお客単価を頂くにはそれなりの理由があり、また更に単価を上げにくく今までの料金に含めてしまうことが予想されます。お客単価の低いお宿様も色々理由があると思えます。なので不公平なくお仕事で来ている方、観光で来ている方、当宿は食事にいらっしゃる方です。高校生までは半額でも良いかもしれませんが（親御さんからのお支払になると思えますので・・・）たくさんの方から徴収できればひとり当たりの税額も少なくなると思えます。
- 地域や宿泊施設の大小問わず平等に税金を活用してもらいたい。導入後に県の職員だけでなく、宿泊業の代表する方も制度にかかわってもらいたい。千葉県は島なので、交通を便利になるよう車（レンタカーや観光タクシー）を増やすための施策をしてもらいたい。
- しっかりと宿泊事業者を交え、検討会を開いていただきたいです

- 基本的には県での宿泊税の導入には反対です。各市町村で行うことには、大賛成です。徴収額の多いベイエリアに税金の多くを還元されることを懸念しています。（金額が多いので当然ですが、）それでもやるなら、一律金額にしなければ、人手不足の中、また煩雑な業務が増える。
- 専門家の派遣やコンサルタントは無意味だと思う 他の制度を使えば同じようなものが沢山ある。千葉県は広くて観光地の特色も様々なのでその地域に必要とされる政策をしてほしい。もっと各地域の声を聞いて欲しい。千葉県には多くの観光客が来るが東京や神奈川から近い立地のため日帰り客が多くいます その日帰り客を泊まりに誘導する事が宿泊税の使い方のひとつだと思う。
- 当社の立地する地域は観光客が少ないので、観光目的の税金と言われても正直ピンとこない。ビジネス目的で宿泊するお客様は、なぜ観光振興のために税金を負担しなければならないのでしょうか？観光振興が目的であるならば、観光施設から広く税金を徴収するのが本来あるべき正しい姿かと思います。取りやすい税金の有り様が「宿泊税」なのであれば、税金の用途を宿泊インフラを整備する目的（宿泊振興に資する観光産業育成や行政サービス提供を含む）に限定すべきだと思います。
- 導入に際して、各種システム(会計、予約、自動チェックアウトなど)改修は必須となり、支援を希望します。ご利用者の負担になる施策、認知および理解促進のPRが必要。
- 資料には、宿泊税に関して「補足しやすい、相対的にコストも少ない」という行政側のメリットが記載されていました。一方徴収者側には「運営スタッフへの周知(お客様への説明・理解)、各システムの改修など」デメリットも存在する。デメリット緩和およびメリットを実感できる施策をお願いしたい。特に、コロナ対策として「GO TO」「県民割」など多大なる支援策に感謝しているが、手続き上の複雑さや窓口業務の対応(土日休み、相談時間短い等)など、運営スタッフには根強い不信と不安が残っている。
- 当館は成田空港に近い立地にありますが、二次交通がなくインバウンド集客は0%の現状です。過去には海外OTAに掲載すればご予約は頂いていたが、深夜に送迎を依頼されることがほとんどで、NoSHOW率が100%であったため、現在は掲載していません。送迎については、最寄り駅までが基本であると思いますが、最寄り駅から成田空港は電車で60分であるため、空港直接のほうが近いですが、小規模の宿単独では往復60分の送迎はそもそも現実的ではありません。また、最寄りのバス停がある地域内の循環バスは休日が運行しているというソモソモ論の課題もあります。こういった課題から、バス移動の中小規模の海外団体客を誘客していきたいと考えているところです。エリア内には、コロナを経て宿泊施設が急増しており、国内OTAの競合店舗数だけで3倍以上になっており、少ない観光客を取り合っている状況と考えています。さらに一部の施設では、定員オーバーでの運用、周辺住民への配慮がない、フロントに管理者が居ないなどが散見され、宿泊事業への地域の偏見が増えており、大変残念な現状です。新規の民泊や簡易宿所は、地域外の方が運営していることがほとんどですが、地元の一般住民に管理を委託しているため、改善されていないことがほとんどです。また、物価高騰等の影響があるにもかかわらず、多くの施設が値上げをしていない。値上げをしてお客様が減るのであれば、薄利でも客室稼働率を高めなければ、施設のランニングコストを賄えないからです。
- このような状況の中で、宿泊税を導入していく場合、平等な課税が望まれると考えています。最も気になったのが、宿泊施設の立地している市町村で課税されるのか？本社所在地で課税されるのか？勉強不足で恐縮ですが、重要なことと思います（当エリアの新規宿泊施設は県外の方が運営されている）。また、実際には外国籍の方が経営されている民泊などもあるようですが、その場合はどうなるのか。二つ目としては、宿泊者名簿を整備していない施設もあれば、また人数が正確ではない施設（予約者人数とチェックイン人数が異なるのだが、ネットでのチェックインのため実際の人数が正確に把握できていない）も多く、そういった平等な課税への前段階の課題があります。例外は望ましくないとはいえませんが、団体旅行では、添乗員の宿泊は対象なのか？なども懸念されることです。また千葉県ならではの懸念かもしれませんが、過去の県民割のような設計では、都市部のホテル、特にテーマパーク周辺のホテルに予算が偏りがちになってしまいます。現状の宿泊情勢では、インバウンドに弱い地域はじり貧であり、インバウンドに強い地域が活性しているため、これらの予算も宿泊活性の強い個店に流れてしまうことが考えられます。宿泊税の活用については、個店として大変苦しい現状にあり、新たな施策に手をあげたいのはもちろんですが、台風→コロナ→競合爆増→お客様の取り合い→返済開始という流れにあり、当館としては新たな取り組みをやっていきたいのですが、人的・資金的リソースがないというのが実情です。
- エリアとして集客力が弱いように感じるので、導入は不安です。

2. 市町村アンケート集計結果

市町村における宿泊・観光業の課題

(市町村数)

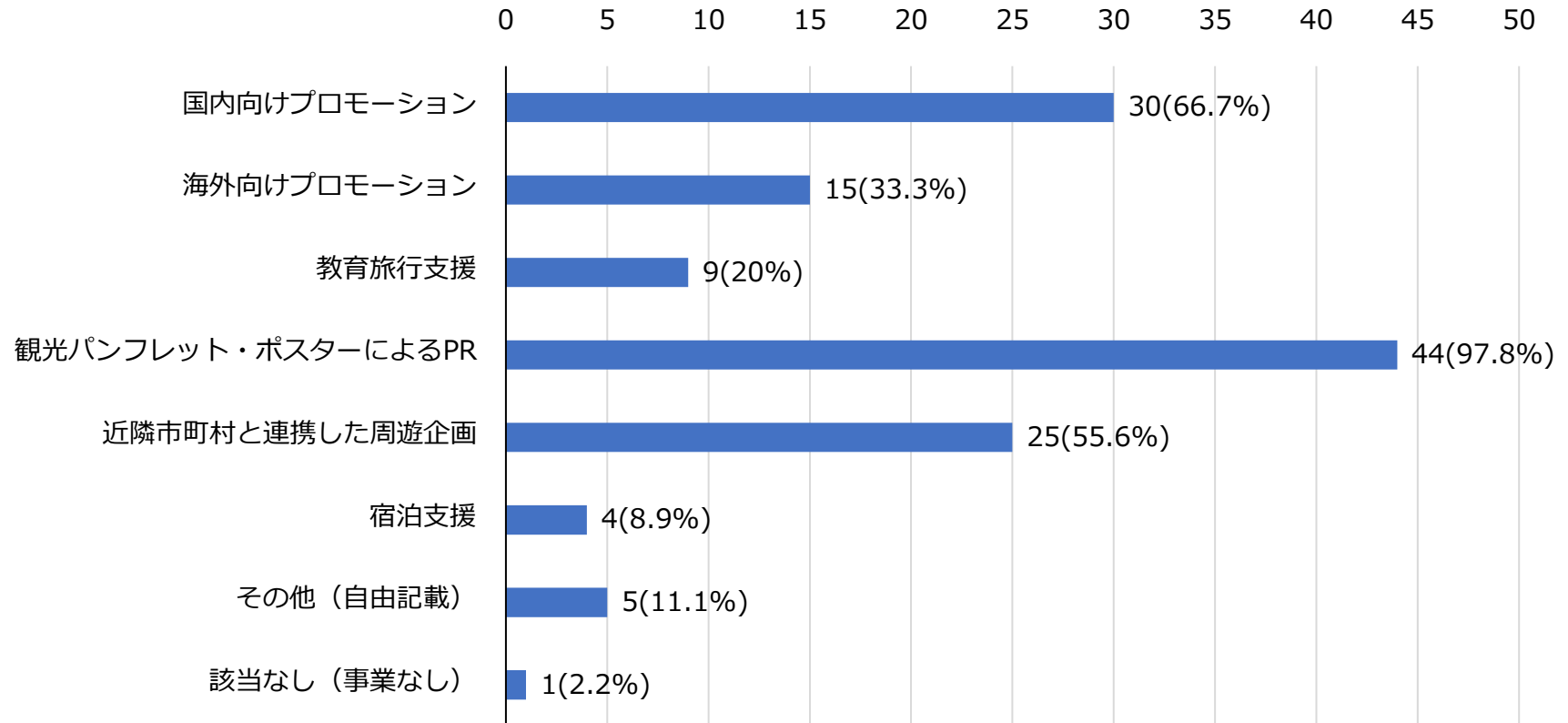


【その他（自由記載）】

- ・観光資源の周辺に宿泊施設が少ない。
- ・観光地経営人材不足、観光まちづくり法人等の観光地経営に関する組織が無い。
- ・観光マーケティング不足
- ・通過型観光が主であり、滞在につながるコンテンツが少ない
- ・観光事業者自体の数が少ない
- ・二次交通の充実
- ・交通網の整備 ・ゴミ収集問題 ・喫煙問題 ・授乳室対策 ・コインロッカー不足
- ・宿泊と観光が結び付いていない、宿泊場所の不足
- ・観光資源の発掘
- ・大衆向け宿泊施設がない

現在実施している観光振興事業

(市町村数)

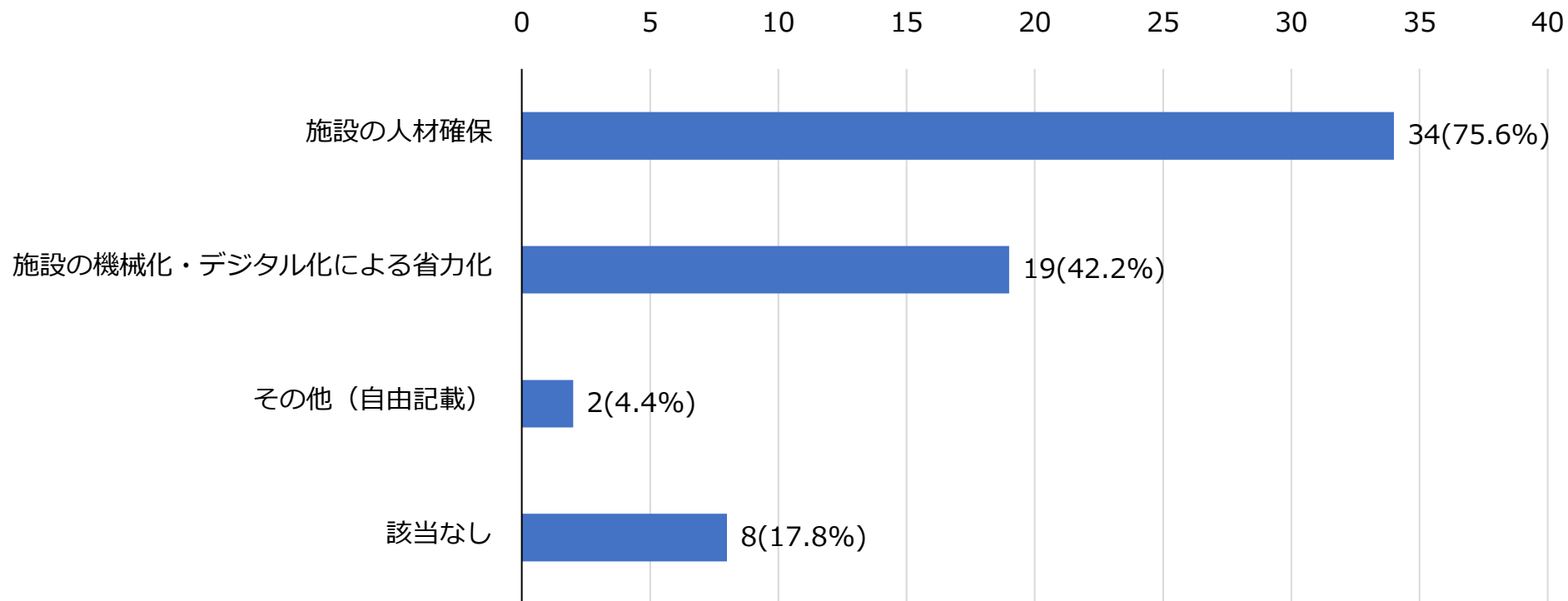


【その他（自由記載）】

- ・ MICE誘致事業
- ・ 国際会議観光都市としてMICE誘致の推進
- ・ 観光に関するイベントや物産展への参加
- ・ 観光案内所運営、DMO設立推進、イベント主催・補助、施設運営、会議開催
- ・ イベント支援

宿泊税の使途のイメージについて、活用を希望する事業【観光人材確保・育成・定着】

(市町村数)

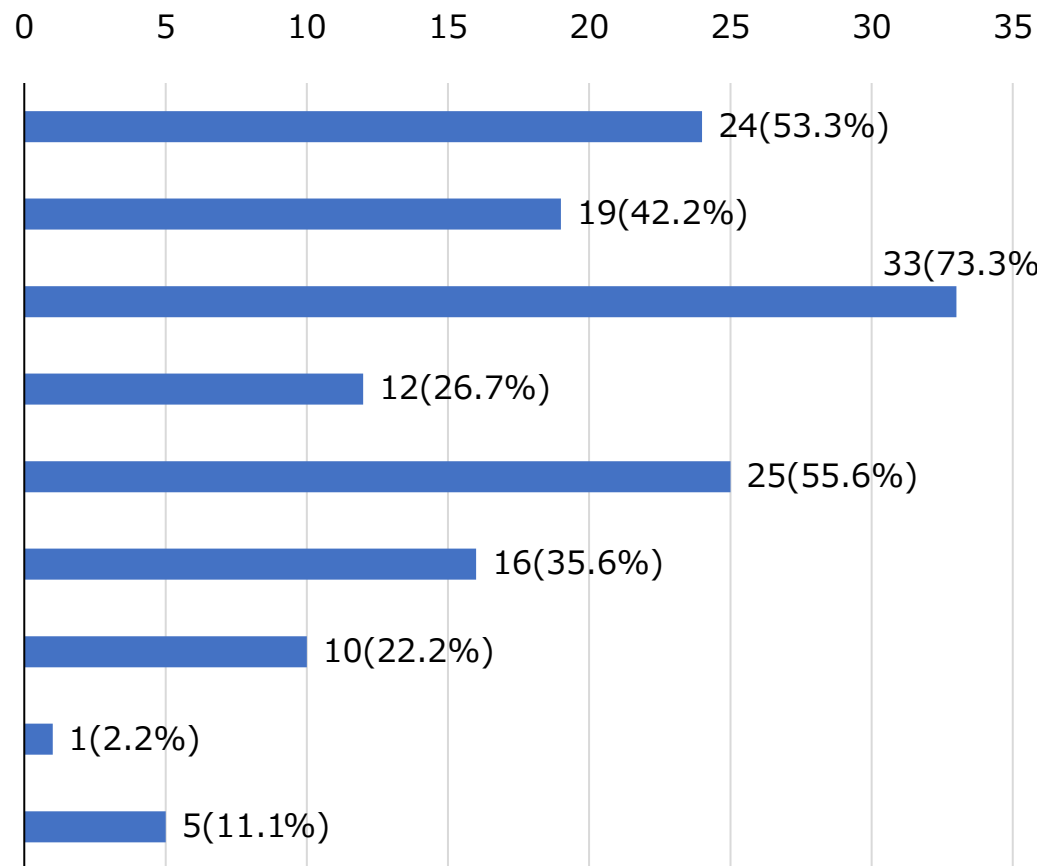


【その他（自由記載）】

- ・レジ等のシステム改修
- ・地域DMOの財政的支援、ガイドの育成・支援、従業員研修の機会の提供

宿泊税の使途のイメージについて、活用を希望する事業【持続可能な地域づくり】

(市町村数)

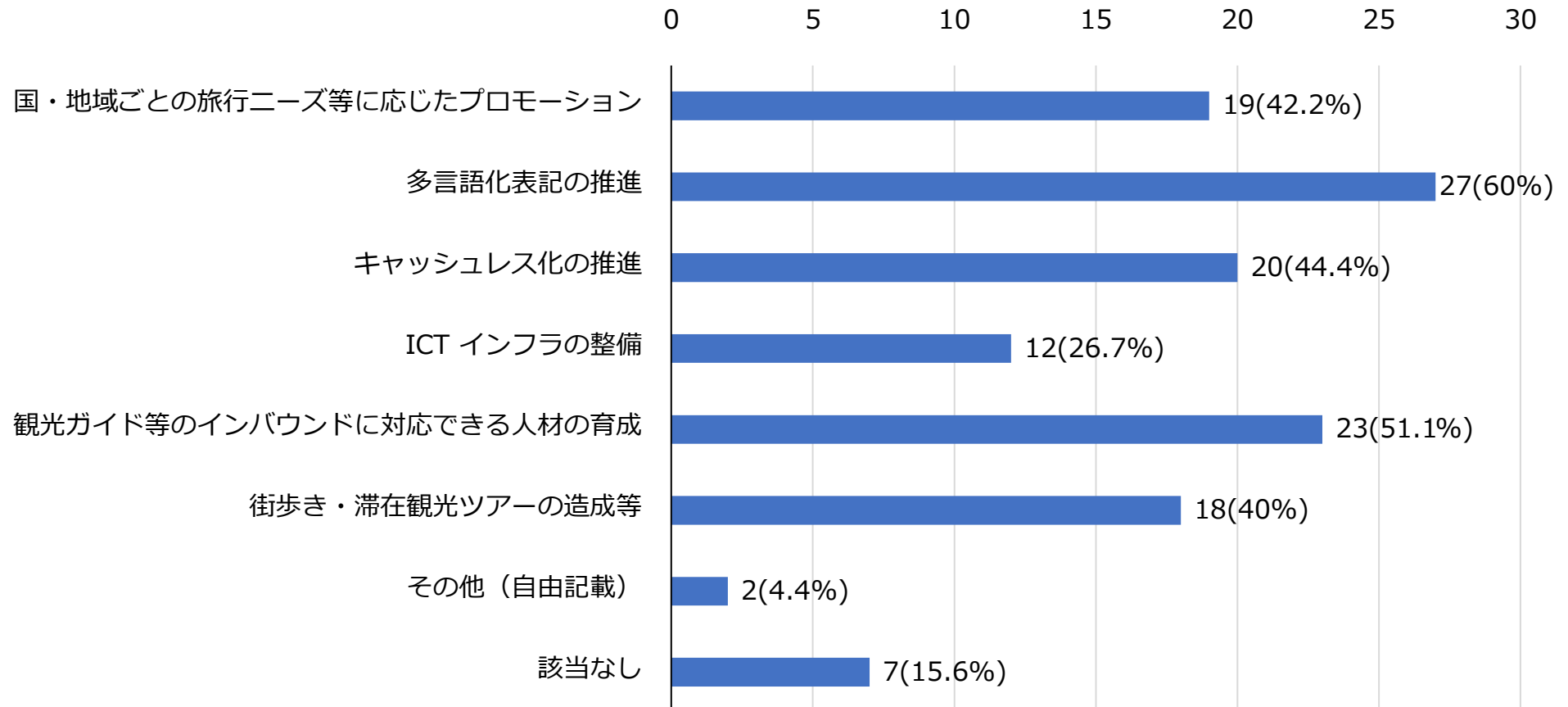


【その他（自由記載）】

- ・文化財の保全、ナイトタイムエコノミー支援

宿泊税の使途のイメージについて、活用を希望する事業【インバウンドの推進】

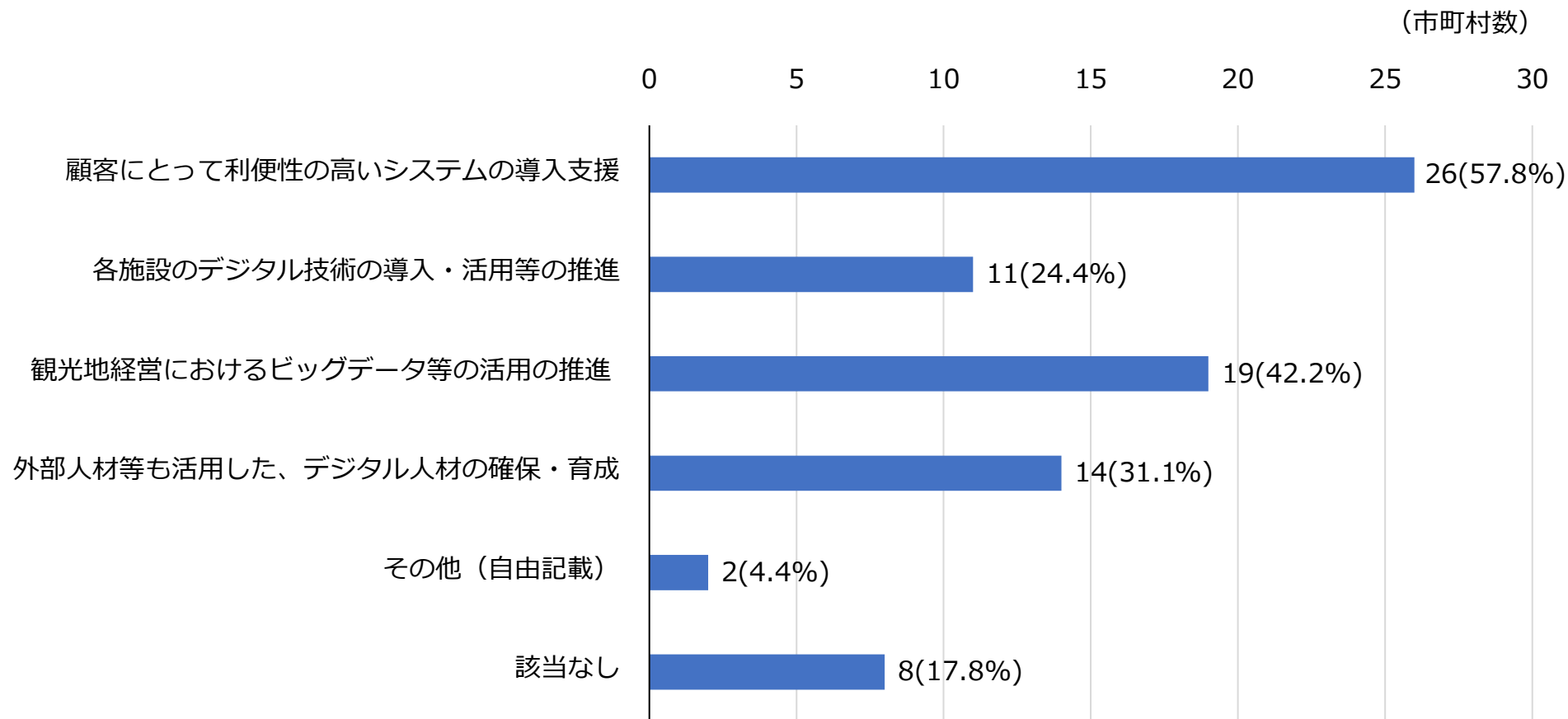
(市町村数)



【その他 (自由記載)】

- ・ 県域全体の出入りを含む人流データ、消費データなどの取得と分析結果の共有
- ・ 受け入れに対する補助

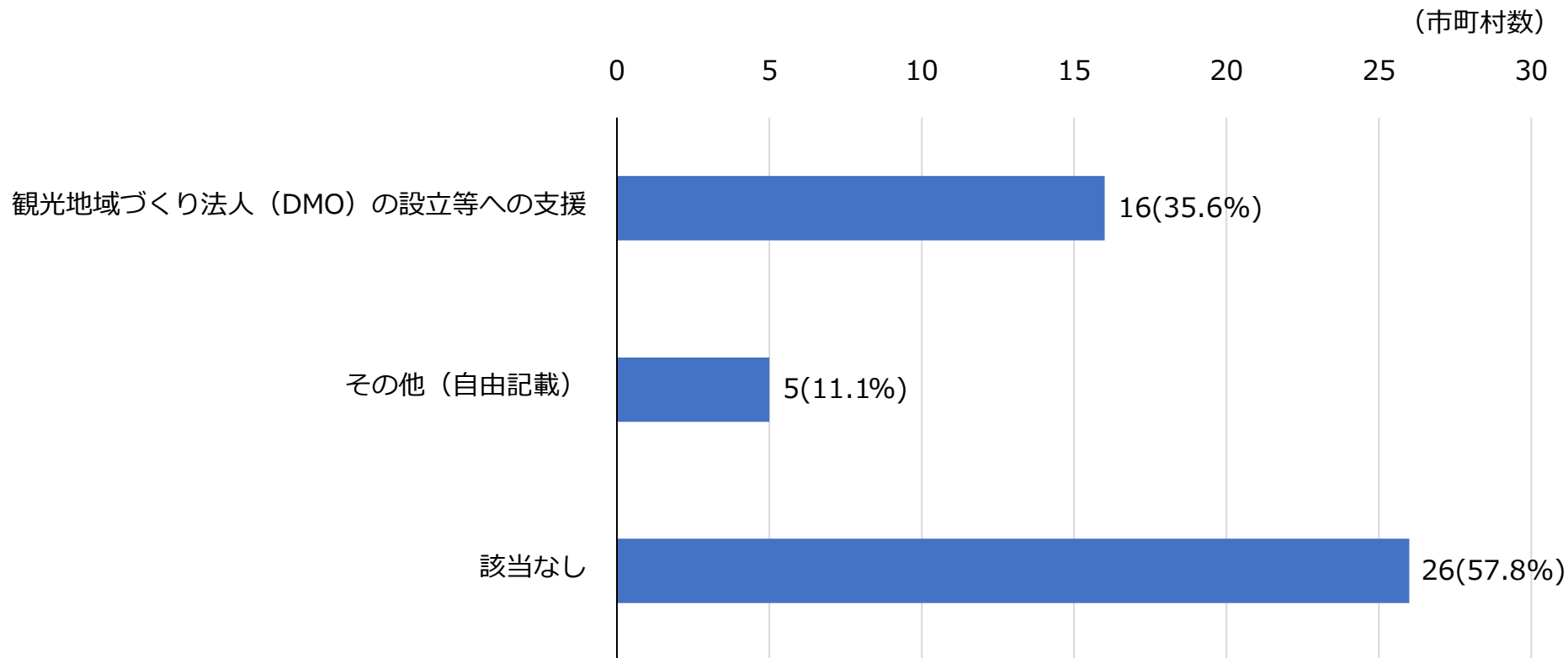
宿泊税の使途のイメージについて、活用を希望する事業【デジタル技術の活用】



【その他（自由記載）】

- ・ビッグデータの取得にあたっては、特にインバウンドの県内回遊状況、東京への出入り、消費行動を含めたデータとすること
- ・単なるデータの取得、提供にとどまらず、データマーケティングを行い、その分析結果を共有すること。
- ・SNSの活用推進

宿泊税の使途のイメージについて、活用を希望する事業【DMOの設立】



【その他 (自由記載)】

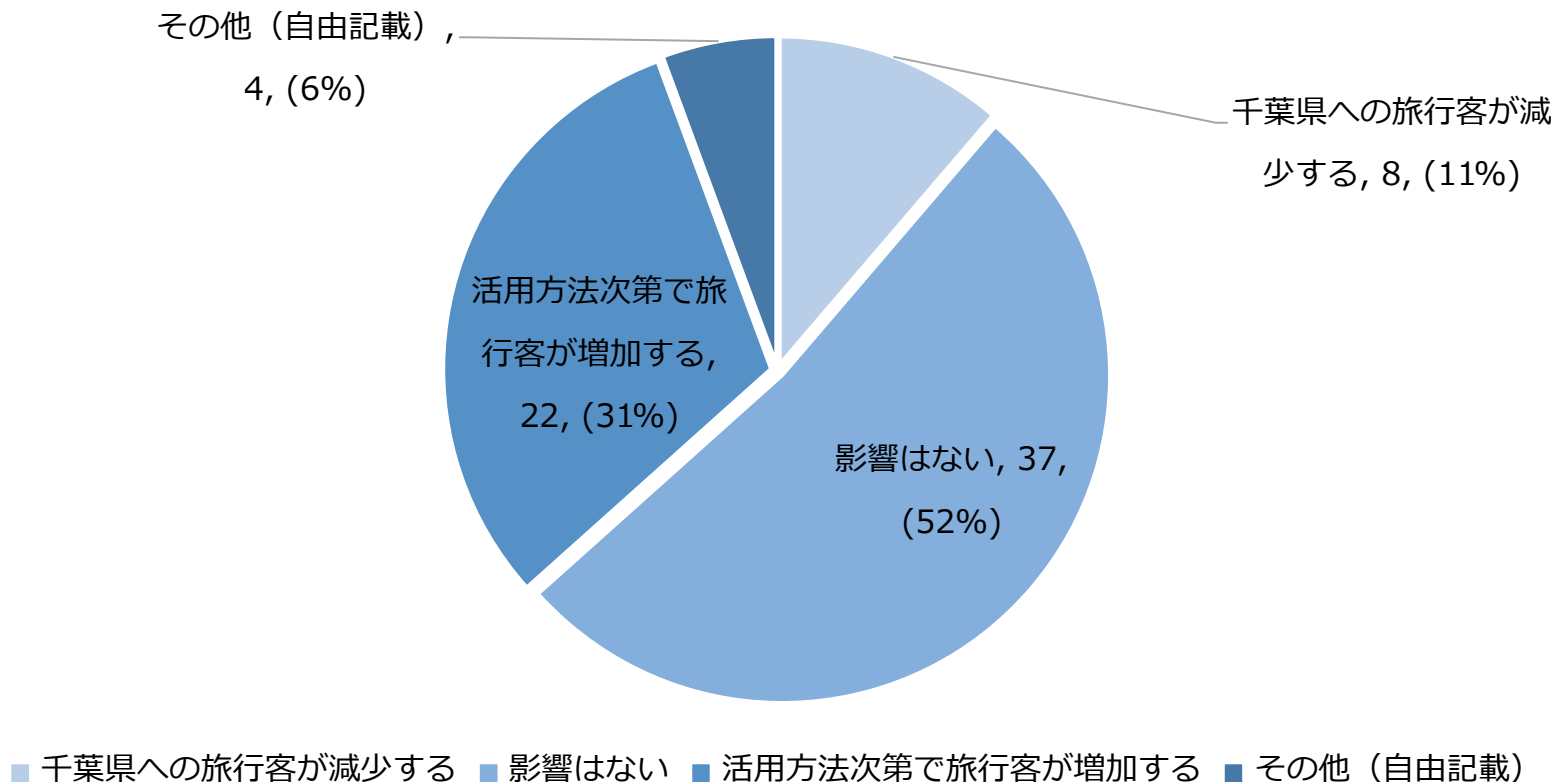
- ・ 既存のDMOの体制強化 (人材含む)
- ・ DMO設立後も、継続して運営に必要なマンパワー、人件費を確保することが全国的にも課題となっている。設立することが目的とならないように、設立後の支援を手厚くするなどDMOの活動が活発になるように支援してほしい。
- ・ 既設のDMOに対する支援
- ・ 地域DMOへの財政的支援
- ・ 観光地域づくり法人 (DMO) の運営に対する支援

- 税の導入について
宿泊税の導入に当たっては、その用途を明確にするとともに、納税者をはじめ、観光事業者等の十分な理解が得られる制度とするとともに、各自治体により観光行政における課題は異なることから、地域に合った取組みに柔軟に対応できる運用とするため、適正な方法により算出した交付金を各自治体に配分する制度とするよう要望します。
また、当該交付金は各市町村の理解を得た県と市町村間での配分割合とするとともに、市町村間の交付金の配分に当たっては、各市町村の宿泊者数等を考慮するよう要望します。
- 福岡県のように納税額に応じて宿泊税の一部を各市町村に分配するような方式の実現を強く要望する。
(分配等がなければ、市独自で宿泊税を課税したほうが良いという意見がある。)
 - 千葉県と市町村の二重課税とならないよう調整していただきたい。
- ※関係団体から聴取
 - 本来、補助事業やプロモーション事業の増強ではなく、観光インフラを充実させることで、観光産業の高度化、ひいては消費者の満足度向上にあたるものが宿泊税ではないか。
 - 千葉県内は地域ごとの違いや魅力があるため、全体的な話の中で、それに対応できるのか。
- 本市に所在するテーマパーク等への来場者は、年間約3,000万人を超え、宿泊者も年間800万人以上が滞在している。これに伴い、救急需要、インフラ整備、ごみ処理体制など、来訪者から生じる行政需要に対応するための財源の確保が課題となっている。そのため、当市による宿泊税導入に向け取り組んでいる。
- 当地域は、人口減少が急激に進んでおり、観光により交流人口を増加させ、地域経済の活性化及び移住定住につなげていかなければならないという危機感をもって観光事業に取り組んでいる。首都圏及び県内東葛地域から誘客できるような事業に使用したい。
 - 市町村が自由に使える財源がほしい。
 - 当市は、観光協会がDMO登録し行政主導ではなく観光協会が中心となり、地域の事業者と連携して時代のニーズに合わせて柔軟に事業を実施できる体制としたい。
 - 当市も宿泊税の導入を検討しており、県との2階建てで導入することは困難なため、市との調整に配慮いただきたい。
 - 当市観光協会は、協会内の組織である宿泊部会で宿泊税について協議されているが、県の宿泊税の動向や用途が見えないため、県の宿泊税導入については反対意見が多く理解が進んでいない。
- 観光事業全般に使われるべきだが、宿泊施設事業者が税の徴収や対外的な影響（宿泊代の支払額に反映等）で最も関りが深いので、その意見を最優先に尊重すべき。
- 用途のイメージではないが、宿泊税はオーバーツーリズムが起きている地域で導入しているイメージがある。現状の感覚としてはオーバーツーリズムが起きているように感じない。導入することにより現状来ている日本人観光客が減少しないか不安である。
- 用途のイメージについては意見はないが、宿泊税の導入について、北部の大規模宿泊施設と、南部の中小宿泊施設との取り扱いを同一とした時に、南部地域観光にマイナスのインセンティブを与えてしまわないか懸念している。

- 適切な方法により算出した交付金を各自治体に配分する制度とするよう要望します。
- ・補助金対応ではなく、交付金対応として各市町村の自由度を高くできるようにしていただきたい。
 - ・宿泊施設の理解を得るためにも県内市町村の均等割りではなく、宿泊税の徴収額に応じた額の配分にしていただきたい。
 - ・県内市町村が独自に宿泊税の導入を行おうとする場合の対応として、どのように想定しているのか、お示しいただきたい。
- 宿泊税を設けるのは、宿泊施設の直接支援を目的とするのではなく、地域経済の発展に繋げる大目標でなければならないと考えます。
宿泊施設を増やして運営できる人を雇う事も最低限大切な事ではありますが、まずは地域に継続的に人が訪れる需要を持続可能な方法で増やす事が最重要課題と考えます。
利益を生む需要があれば、宿泊施設は誰かが新たに造ったり、賃金労働条件の改善等も有り得る話しとなるのではないのでしょうか。
- また、千葉県内の宿泊ニーズには極めて大きな地域差があり、地域の事情も様々です。
海外プロモーション等、県域として広域的に取り組むべきことには戦略的に取り組むこととして、それ以外の具体的な用途は、なるべく地域に密着したDMOや地域の協議体等に公平に委ねるべきと考えます。
- ・宿泊施設への施設改修、先端設備導入の際などの助成制度
 - ・本市が実施している海辺の魅力づくり推進事業など、観光地域としての活性化を図るための事業助成
 - ・DMOの安定財源に関すること
 - ・温泉源の維持管理に関すること
 - ・観光地の環境整備に関すること（海岸美化 など）
 - ・国外プロモーションに関すること（市で予算確保が難しいもの）
 - ・観光統計の統一化（ビッグデータを活用し、県内自治体の観光入込客数等の収集を行う）
- 現在の道路網・鉄道網などの条件が不利であり、競争力の脆弱な当地域における宿泊税の導入について、宿泊事業者から否定的な意見がありました。
- 過疎地域の条件不利地域でない為特別交付税が受けられない制度が多い。
そのため、宿泊税の一部を自治体に流し森林環境譲与税のようなイメージで使えるようにしていただきたい。※DMOの設立・運営にかかる経費など
- 長期にわたりコロナの影響を受けた宿泊業ですが、未だにその影響も残る中で、更に、宿泊税の制定に伴い他県と比較しお客様の選択肢として不利になる可能性が懸念されます。また、観光業の影響を大きく受ける地方自治体も同様かと思えます。宿泊施設及びその地元が宿泊税の見返りを感じることがなく、使用状況に賛同されない状況に陥らない様な用途が望ましいと考えます。つきましては、宿泊税の一部を、徴収する宿泊施設や地域DMO等の運営に対する補助金等としていただき、実際に徴収実績のある宿泊施設や地域の設備投資や誘客支援に充ててもらいたい。
- 観光地のごみ処理など市町村の負担を踏まえると、一部については宿泊者数に応じ特定財源として、市町村に分配することが望ましいのではないかと。

3. 旅行事業者アンケート集計結果

数百円程度の宿泊税を導入した場合に想定される影響



【その他（自由記載）】

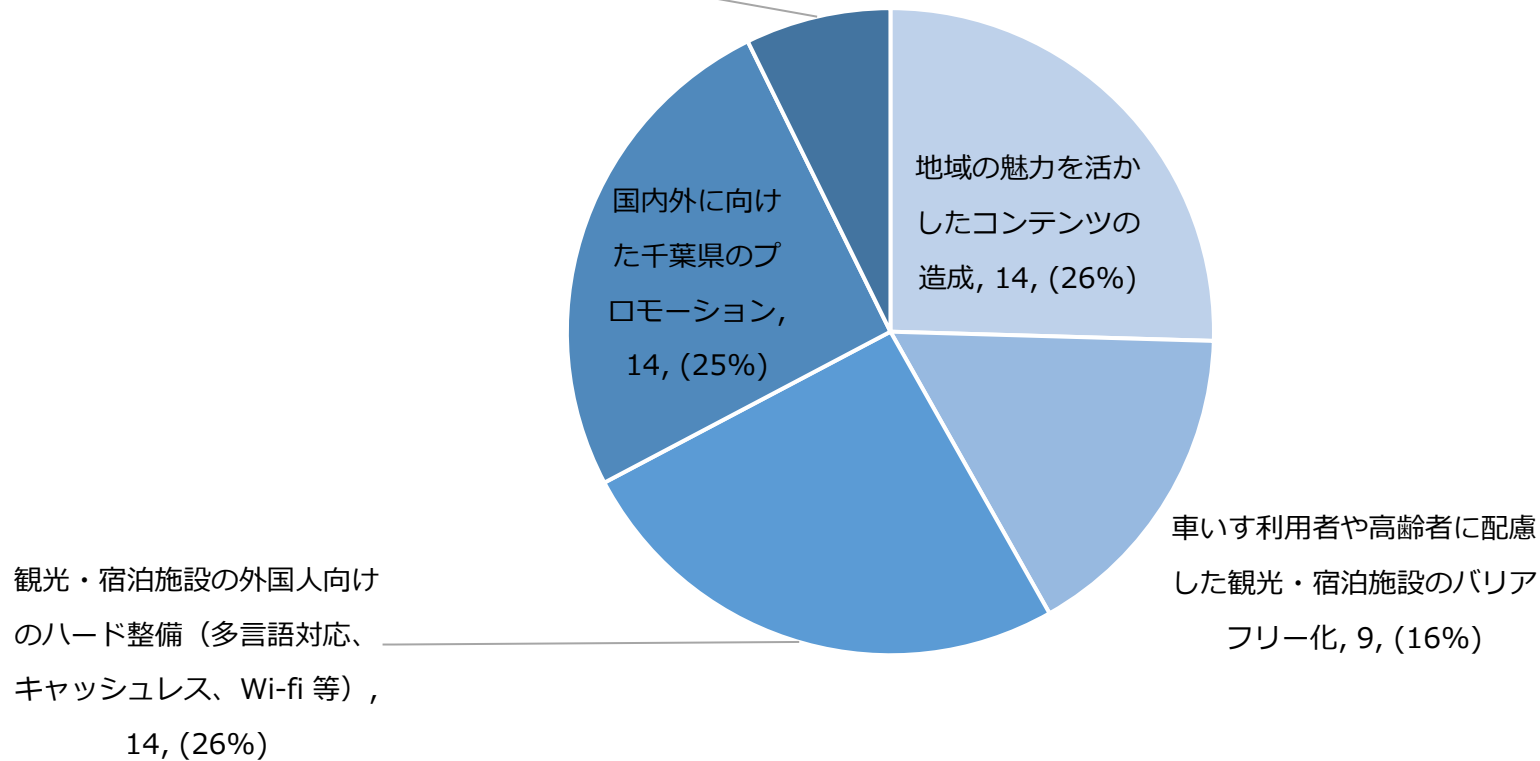
- ・ 修学旅行等、教育旅行関係は長年にわたって積立金額の増加が無く過去15年以上積み立て金額は変わっておりません。昨今のバス代金・宿泊金額の増加に伴い旅行会社の利益率を下げて実施をしている現状を鑑み宿泊税の負担に関しては強く反対したい。
- ・ 幕張・浦安などの都市部に限定するべきである。
- ・ 宿泊税の必要性をわかりやすく説明する事が必要かと。
- ・ 数百円がわからない。100円200円ならば影響はないのではないかと予想します

「千葉県への旅行客が減少とする」と回答した場合の想定される影響（自由記載）

- 販売データに宿泊税を入力しないといけない為、ひと手間かかるようになる。オーバーツーリズムにならないように、抑制するためなら賛成です。コロナが明けてから年々宿泊料金の高騰化が続き国内の旅行客様が離れてしまってきている状態で、たとえ数百円であっても旅行代金が上がってしまうとより誘客が困難になってくると考えられる。物価高が上昇している中での宿泊税負担はあきらかにマイナスとされます。
- 千葉県と他県を比べて検討しているお客様が来県されなくなる可能性がある
- 長期間の出張や業務で滞在するお客様には、減税、免税の措置がなければ金額面で折り合いが付かなくなる（その分当社や宿泊業者の値下げという本末転倒の可能性も出てくる）
- 今、物価が値上げしている中、娯楽である旅行などは少しでも安く済ませたいお客様は少なくないと思います。全国で、統一して宿泊税を取るならいいですけど、千葉県だけ宿泊税がかかるとなるとお客様は千葉県の宿は宿泊税がかかるから高いというイメージがつくような気がします。それでなくても増税増税で騒がれてる昨今、税という言葉に国民は敏感になってるような気がします。じゃあ、その宿泊税で環境がよくなったとしてもよっぽど、他県より魅力を感じさせなければならぬと思います。千葉県の宿泊が勧めづらくなります。
- 千葉県自体の旅館の減少などあり選択肢の少ない中、宿泊税の金額によっては御案内しにくくなる。
- 県内の有料道路が充実していないため、昨今のバス代高騰の影響で県内旅行離れが出ている。そこに宿泊税（金額による）が加算となると、どう影響してくるのか。
- 日帰り旅行は、旅行資格のないバス会社でも催行できるため、千葉県内の旅行会社としては宿泊を伴った県内旅行を少しでも安く提案できるのが望ましい。
- 近隣他県との相見積時に、流出の可能性が有ります。

「活用次第では旅行客が増加する」と回答した場合の千葉県に求める施策

その他（自由記載）, 4, (7%)



- 地域の魅力を活かしたコンテンツの造成
- 車いす利用者や高齢者に配慮した観光・宿泊施設のバリアフリー化
- 観光・宿泊施設の外国人向けのハード整備（多言語対応、キャッシュレス、Wi-fi 等）
- 国内外に向けた千葉県のプロモーション

【その他（自由記載）】

- ・ 団体送客のための足掛かりとして誘客助成金の設定など
- ・ 観光客のデータ分析の強化などデータ活用
- ・ 幕張メッセ開催のイベント・学会等で宿泊される方に対する施策
- ・ 県や地域の観光・環境保全に対する取り組みが観光客に伝わり、国内・インバウンド含めて、波及効果に繋がると考える。

- プランや旅行会社によって事前支払い、現地支払いといったバラつきがあると精算面での手間が増えると思うので、宿泊税の徴収方法は統一していただくとう助かります。
- 宿泊税の導入については需要にはほとんど影響はないと思われるが、そもそも財政が厳しいので宿泊税を徴収するとした方がわかりやすいのではないかと。いろいろ使い道を示してしまうと後でいろいろ言われるのではないのでしょうか。入湯税も温泉に入浴した方は使い道など関係なく支払っていると思います。
- 魅力創出およびコンテンツのアピール（認知度UP）、2次交通の利便性・安定性向上（移動手段の安定性）の再検討
- 過去に宿泊税を取られるから目的地を変えるという判断に至ったことはない。千葉県はディズニー、幕張メッセ、蘇我スポーツ公園（音楽イベント）、房総地区など、集客力があるエリアを有しており、交通ルートも東京方面からが主となり、東京からも近いというメリットがあります。税金により、交通の整備や、コンテンツの開発をすすめていくということに意義はあるかと考えます。
- すでに多くの自治体で実施されていたり、検討していると思いますので千葉県として導入されることは基本的には賛同いたします。利用目的の内容も理解できます。
- いつも大変お世話になっております。宿泊事業者様の負担がプラスになるような使途を検討していく必要があると思います。そのためにはデータの根拠を示すべくBIツールの導入など検討いかがでしょうか。宜しくお願い致します。
- 各自治体のご当地グルメや食材の開発（千葉県、●●市ならと言ったらこれ！！）
 - ・国内外へプロモーション
 - ・二次交通（ライドシェア、バス等）の仕組みやそれに関わる人材育成・確保など
- 現在団体を受入可能施設が減少してます。原因は人員不足です。対応施設が増えるように分配してください。
- 千葉県は京都などに比べオーバーツーリズムの状態とは思わない。その中で宿泊税導入となるともう少し他自治体の状態を見てから始めた方がいいのではないかと思います。また、浦安市が先行して検討に入っていると聞いているがそれとの関連性はどうかの関連性はどうかの関連性はどうなっているのでしょうか。
- 宿泊税の導入により、ハード整備をする原資が増えるのは間違えない上に現在導入していない他の自治体に対する契機となり、インバウンドに対する良い循環になると考えるが現在導入している他の自治体と比較して千葉県はインバウンドの受け入れが少ないので、慎重に対応及び告知に努める必要があると考える。
- やはり慎重にお考えの上進めるべきだと思いますが、必要なものと考えます。
- 旅行会社と宿泊施設の精算（クーポン等）で煩雑にならないようにして頂きたいです
 - ・特例（学生団体、金額等による課税など）の扱い
 - ・全県一律ではなく、黙っていても稼働率が高い、舞浜地区だけにするなどの工夫があっても良いかと思えます。
- 宿泊税に関しての導入はしっかり周知されていけば問題ない。できれば宿泊税の目的を明確化し、千葉県としてその財源をしっかりと活用する旨を公表すればいいのではないかと。
- インバウンドの対応も大事ですが、今後国内で超高齢化社会を迎えるにあたって、高齢者向けのバリアフリーの対応はより重要と思えます。（高齢者は健康者に比較して、階段や段差等足元が悪い場所は行きたいが、行けないといった事象が多々あると思えます）
- 宿泊料金も年々かなり増加しておりますので、負担金額や内容によっては千葉県への旅行客が減少することも予想されます。
 - ※海浜幕張のホテルはここ数年で宿泊費が1.5倍になっている施設もあります
- 数百円程度では旅行の阻害要因にならないと推察します。
- 千葉県の場合には必要なかわかりません。今まで、観光事業で活発なイメージがありませんので。

- 是非、地元中小旅行会社の活用をお願いします
地元旅行会社は特別な業務形態でなければ（多少の県内はありますが）大半は地元県内から他県・海外に送客します
他県での企画に参加の機会が多いので千葉県でも出来るのでは？といった体験やアイデアを多く持ち合わせています
行政の観光という名目にはほぼ地元旅行会社が関われるものが少ないです
行政はいつも大手にまかせきりですが比べて地元旅行会社は地元密着で仕事をしていますので地元との関わりは多いです
それを活用しない手はないのではないのでしょうか
大手には大手で得意なところもあり地元中小はそれなりに得意なところもあります
中小旅行会社の集合体である全国旅行業協会を利用したらいかがでしょうか？
千葉県にも支部（千葉県旅行業協会＝県旅協）がありますし所属会社は全国旅行業協会の保証社員となっていますので補償の面でも安心かと思えます
また、たとえば東京都のはとバスの都内定期観光ツアー、京都の観光タクシーなどのような県外の方が気軽に県内を回れるようなプランを地元旅行会社に造成させたりとそのサポートや仕組み造りをしてもらうなど
地産地消と言われますが「旅行企画の地産地消」を官民一体のオール千葉で企画して頂きたい
地元交通・ボランティア・歴史研究会・シニアサークル・地元企業・コラボすれば他にも色々出来ると思えます
当社もそうですが地元中小旅行会社は経験や知恵・アイデア・地元のつながりはありますが宣伝広告の面で大変ハードルが高いです
行政も大手ばかりに頼らず納税者である地元企業を率先利用し税金を有効活用していただく為にもそのサポートや仕組みを考えていただければある部分の県内循環型ビジネスができるのではないかと思います
旅行企画の地産地消、他県では例はないかと思えますので是非千葉県がさきがけとなって下さればと期待します
- 徴収した宿泊税は、まずはDMOの安定財源として活用し、意欲あるDMOの活動を下支えすることに割り振る。DMO組織が無い地域では、継続できる観光地作りに向け本格的にDMO構築に着手し、県全体での観光客受入れに向けた意識向上に繋がる。その結果、地域住民にも恩恵やメリットが還元され、「住んでよし、訪れてよし」の継続できる地域作りに繋がる。これと並行して、環境保全に対する取り組みを義務化し、地域全体での意識向上と取組を促進させ、国内他地域との差別化を図る。上記取り組みにより、宿泊客が増え（宿泊税収入の増加）上記推進により力を注ぐことで、好循環を生み出す。
- コロナが5類に移行し、動き始めましたが従来の宿泊客が帰ってきた感はないです。取り合いだったオンシーズンの土日のバスはどこもガラガラです。宿泊代も上がりました。
バス代の最低単価も引き上げられ、お客様の行き先の選択肢も狭まりました。旅行業者も現状維持の我慢のしどころ、コロナ禍を思い出せば天国のようかもしれません。
コロナ禍は、お得に旅ができるシステムがあり、普段旅などしない方々がうごいたように思います。また、いまだに、まだ割引きがあるのか？の問い合わせの電話もきました。
お得だから宿泊旅行はしても、お高くなった千葉県を敢えて選ぶお客様は多いのでしょうか？
旅行会社も、進んで紹介しますでしょうか？正直、不安要因しかありません。